

八尾市こころの健康に関する市民意識調査 結果報告書

令和 5 年 11 月

八尾市

目次

I 調査概要.....	1
1. 調査目的.....	1
2. 調査設計.....	1
3. 回収結果.....	1
4. 報告書の見方.....	1
II 回答者の属性.....	2
(1) 性別.....	2
(2) 年齢.....	2
(3) 家族構成.....	3
(4) 職業.....	3
(5) 精神的健康状態.....	4
III 調査結果.....	5
1 ころの健康について.....	5
(1) ころの健康への関心度.....	5
(2) 最近2週間の精神状態.....	6
(3) 実施しているストレス解消法.....	12
(4) 「自分の居場所(ころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか.....	19
(5) ソーシャルキャピタル.....	20
2 日常の悩みやストレスについて.....	29
(1) 悩みやストレスの有無.....	29
(2) 悩みやストレスの内容.....	30
(3) 悩みやストレスの相談状況.....	33
(4) 悩みやストレスの相談相手.....	34
(5) インターネットの利用状況.....	37
(6) インターネットを介したコミュニケーションの頻度.....	38
(7) インターネットを介した悩みの相談状況.....	39
(8) ソーシャルサポート.....	40
(9) 新型コロナウイルス感染症流行による影響.....	46
3 自殺について.....	55
(1) 自殺に関する認識.....	55
4 相談することについて.....	66
(1) 自殺を考えたことがあるか.....	66
(2) 自殺を考えたときに相談をしたか.....	67
(3) 自殺を考えたときにだれに相談したか.....	68
(4) 自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか.....	70
(5) 八尾市保健所の相談窓口の認知度.....	72
(6) 相談窓口の認知度.....	74
5 自殺対策・予防等について.....	86
(1) 身近な方の自殺を経験した方の有無.....	86
(2) 身近な方の自殺を経験した方に起きた影響.....	87

I 調査概要

1. 調査目的

本市における自殺対策を推進していくための総合的な計画「八尾市自殺対策推進計画(第2次)」を策定するにあたり、こころの健康に関する市民の現状や考えなどを調査し、自殺対策に限らず、総合的なこころの健康づくりを推進するための基礎資料として活用するために実施したものです。

2. 調査設計

- ①調査対象：八尾市在住の18歳以上市民3,000人を無作為抽出
- ②調査期間：令和5(2023)年8月10日から8月25日
- ③調査方法：郵送による配布・回収

3. 回収結果

配布数	実質配布数	有効回答数	有効回答率
3,000 通	2,992 通	882 通	29.5%

【年齢別 母集団人口・標本数・有効回答数】

	18・19 歳	20 歳代	30 歳代	40 歳代	50 歳代	60 歳代	70 歳代	80 歳以上	不詳	合計
母集団人口	4,945 2.2%	26,527 11.9%	26,741 12.0%	34,331 15.4%	41,356 18.6%	27,957 12.5%	33,879 15.2%	27,124 12.2%	- -	222,860 100.0%
標本数	73 2.4%	336 11.2%	384 12.8%	478 15.9%	566 18.9%	372 12.4%	418 13.9%	373 12.4%	- -	3,000 100.0%
有効回答数	18 2.0%	49 5.6%	84 9.5%	122 13.8%	155 17.6%	128 14.5%	170 19.3%	128 14.5%	28 3.2%	882 100.0%

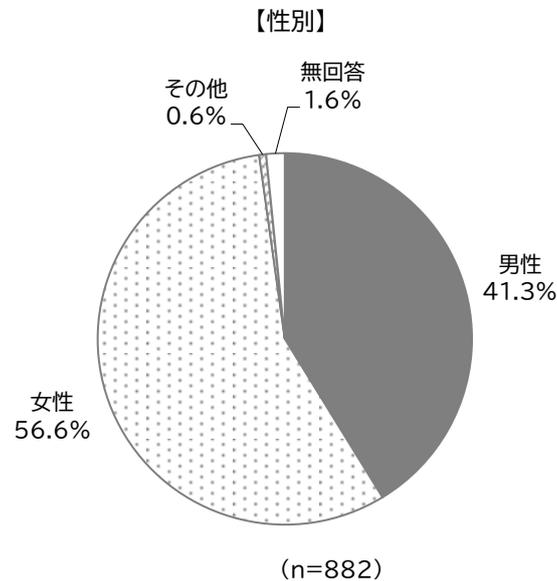
4. 報告書の見方

- ・ 図表中の「n」とは、集計対象者実数(あるいは該当者対象実数)のことです。
- ・ 図表の数値(%)は、すべて小数点以下第2位を四捨五入して表示しました。四捨五入の結果、個々の比率の合計と全体を示す数値とが一致しないことがあります。
- ・ 1つの設問に2つ以上の回答を求めた設問では、比率の合計が100%を超える場合があります。
- ・ 母集団人口の年齢構成と有効回答数の年齢構成を比較すると、50歳代以下では母集団人口の構成比に比べて有効回答数の構成比が下回っており、60歳代以上では上回っていることから、全体の回答結果は60歳代以上の回答の影響がやや大きいといえます。

II 回答者の属性

(1)性別

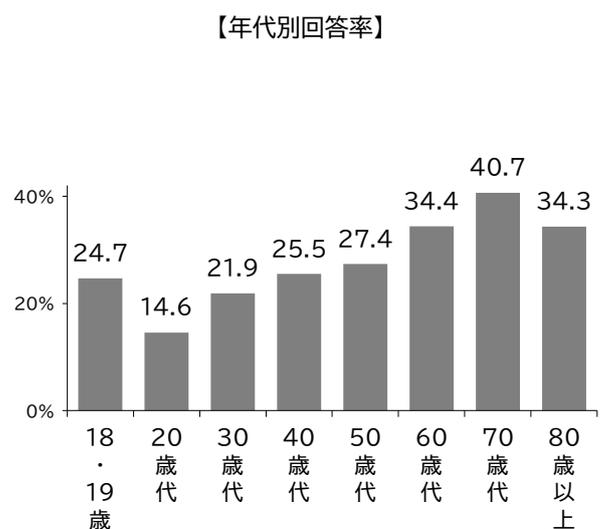
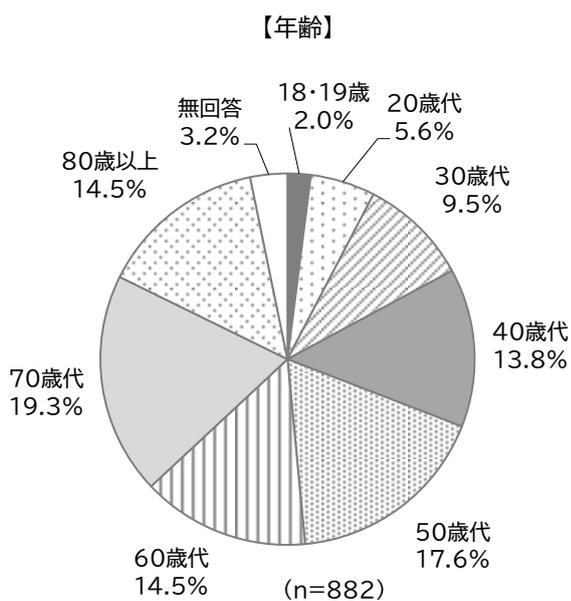
回答者の性別をみると、「男性」の割合が41.3%、「女性」の割合が56.6%、「その他」の割合が0.6%となっています。



(2)年齢

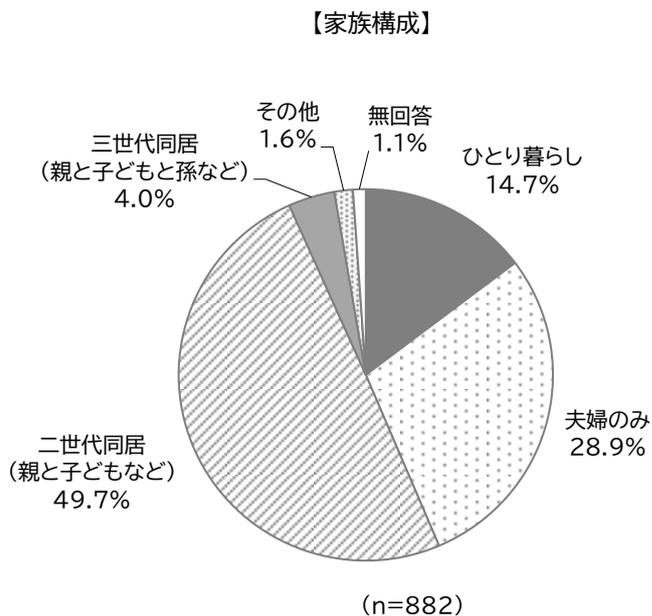
回答者の年齢をみると、「70歳代」の割合が19.3%で最も高く、次いで「50歳代」の割合が17.6%、「60歳代」と「80歳以上」で回答した割合がともに14.5%、「40歳代」の割合が13.8%、「30歳代」の割合が9.5%となっています。

年代別の回答率をみると、「70歳代」の割合が40.7%で最も高く、次いで「60歳代」の割合が34.4%、「80歳以上」の割合が34.3%、「50歳代」の割合が27.4%、「40歳代」の割合が25.5%となっています。



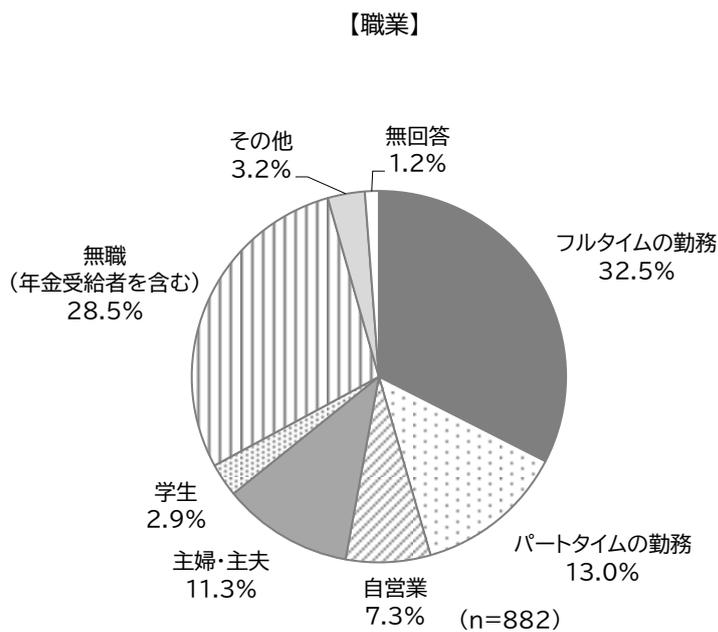
(3) 家族構成

回答者の家族構成をみると、「二世世代同居(親と子どもなど)」の割合が 49.7%で最も高く、次いで「夫婦のみ」の割合が 28.9%、「ひとり暮らし」の割合が 14.7%、「三世世代同居(親と子どもと孫など)」の割合が 4.0%となっています。



(4) 職業

回答者の職業をみると、「フルタイムの勤務」の割合が 32.5%で最も高く、次いで「無職(年金受給者を含む)」の割合が 28.5%、「パートタイムの勤務」の割合が 13.0%、「主婦・主夫」の割合が 11.3%、「自営業」の割合が 7.3%となっています。



(5) 精神的健康状態

本調査では、属性(性別・年齢等)の他にWHO-5精神的健康状態表¹の5つの設問を用いて、精神的健康状態の「スコアが高いグループ」と「スコアが低いグループ」の2群に分けてクロス集計を行いました。

最近2週間の精神状態について、5項目の各選択肢に対して配点し、数値が高いほど精神的健康状態が高いことを示しています。

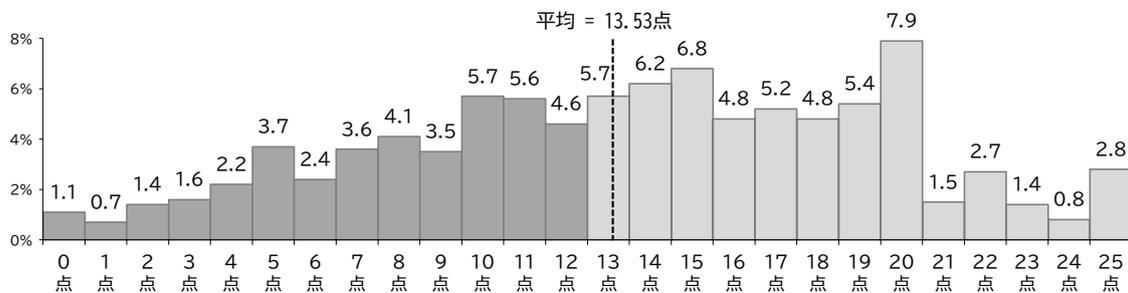
5項目の回答の点数を合計した合計点数の範囲は0～25点で、13点以上を「スコアが高いグループ」、13点未満が「スコアが低いグループ」とされます。

(WHO-5 精神的健康状態表の5項目)

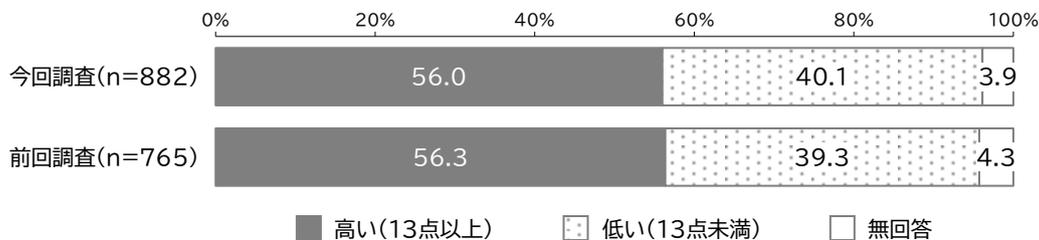
- ① 明るく、楽しい気分で過ごした
- ② 落ち着いた、リラックスした気分で過ごした
- ③ 意欲的で、活動的に過ごした
- ④ ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた
- ⑤ 日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

精神的健康状態の得点の分布は以下のとおりで、「スコアが高いグループ」と「スコアが低いグループ」の割合は、前回調査結果と大きな違いはありません。他の研究²と比較して平均得点が低く、得点分布にバラつきはみられますが、データ上間違いはありませんでした。自殺予防に役立つ重要な情報であり、クロス集計に用いて分析を行いました。

【精神的健康状態得点の分布】



【精神的健康状態】



¹ WHO-5 精神的健康状態表：WHO（世界保健機関）が開発し、使用を推奨している簡便な精神的健康の測定尺度です。

² 地域在住高齢者における日本語版「WHO-5 精神的健康状態表」(WHO-5-J) の標準化 岩佐 一、稲垣 宏樹、吉田 祐子、増井 幸恵、鈴木 隆雄、吉田 英世、栗田 圭一

Ⅲ 調査結果

1 こころの健康について

(1)こころの健康への関心度

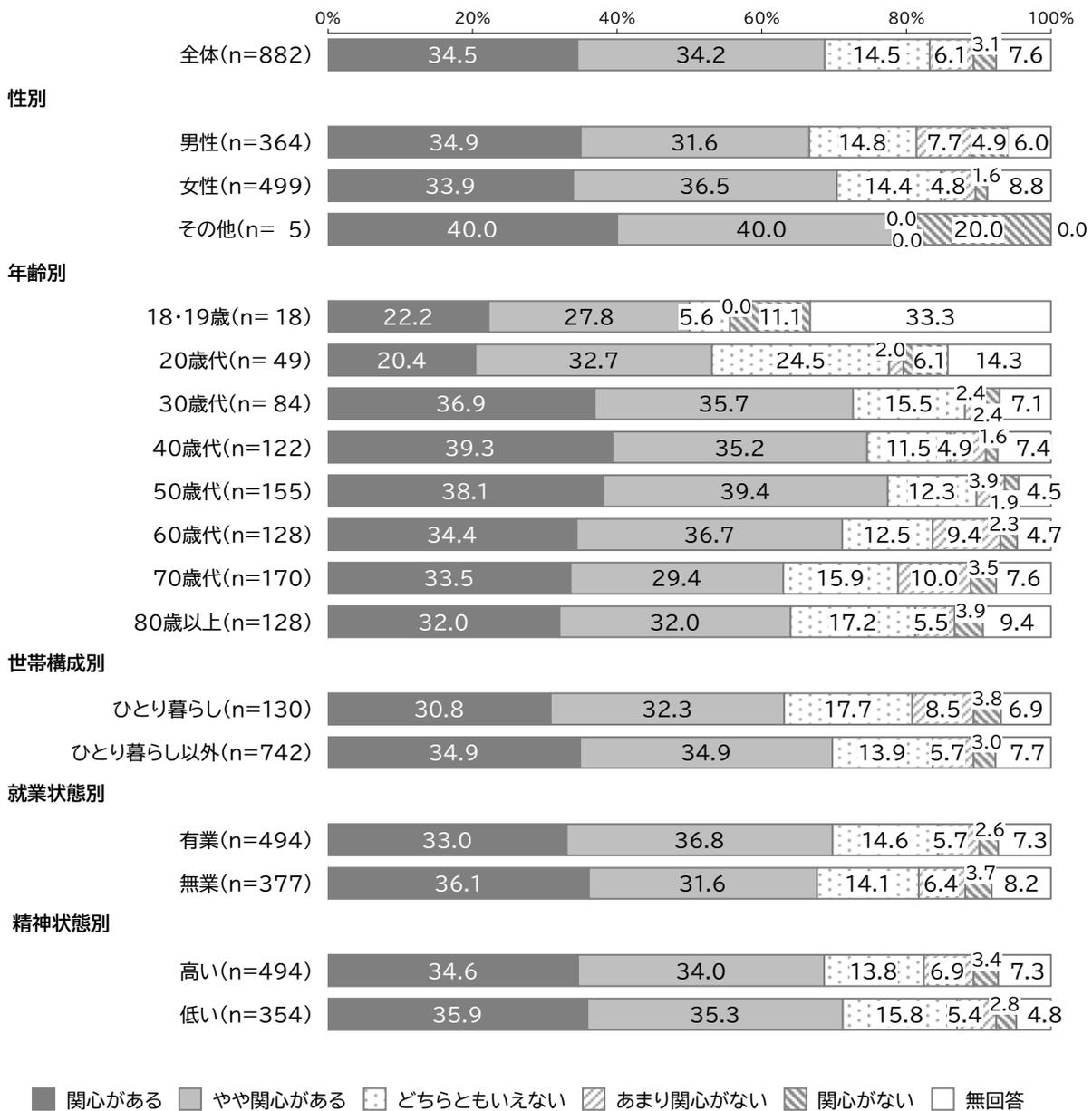
問1 あなたは、こころの健康にどのくらい関心がありますか。(〇は1つ)

こころの健康への関心度をみると、「関心がある」の割合が 34.5%で最も高く、次いで「やや関心がある」の割合が 34.2%、「どちらともいえない」の割合が 14.5%となっています。「関心がある」と「やや関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が約7割を占めています。

性別にみると、女性の“関心がある”の割合が、男性よりも 3.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、“関心がある”の割合は 30 歳代～60 歳代が他の年代に比べて高く、50 歳代で 77.5%となっています。

【こころの健康への関心度】

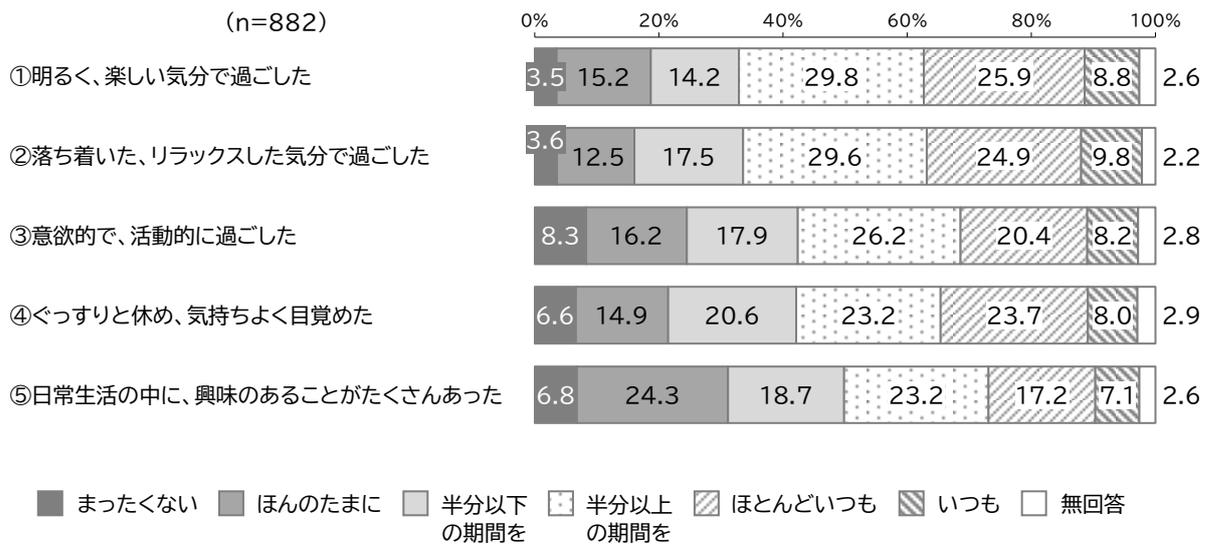


(2)最近 2 週間の精神状態

問2 以下の5つの各項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください。(①から⑤について○はそれぞれ1つ)

最近2週間の精神状態をみると、いずれの項目も「まったくない」と「ほんのたまに」と「半分以下の期間を」をあわせた“期間が1週間以下”の割合が3割以上を占めており、「⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった」における“期間が1週間以下”の割合は約半数となっています。

【最近2週間の精神状態】



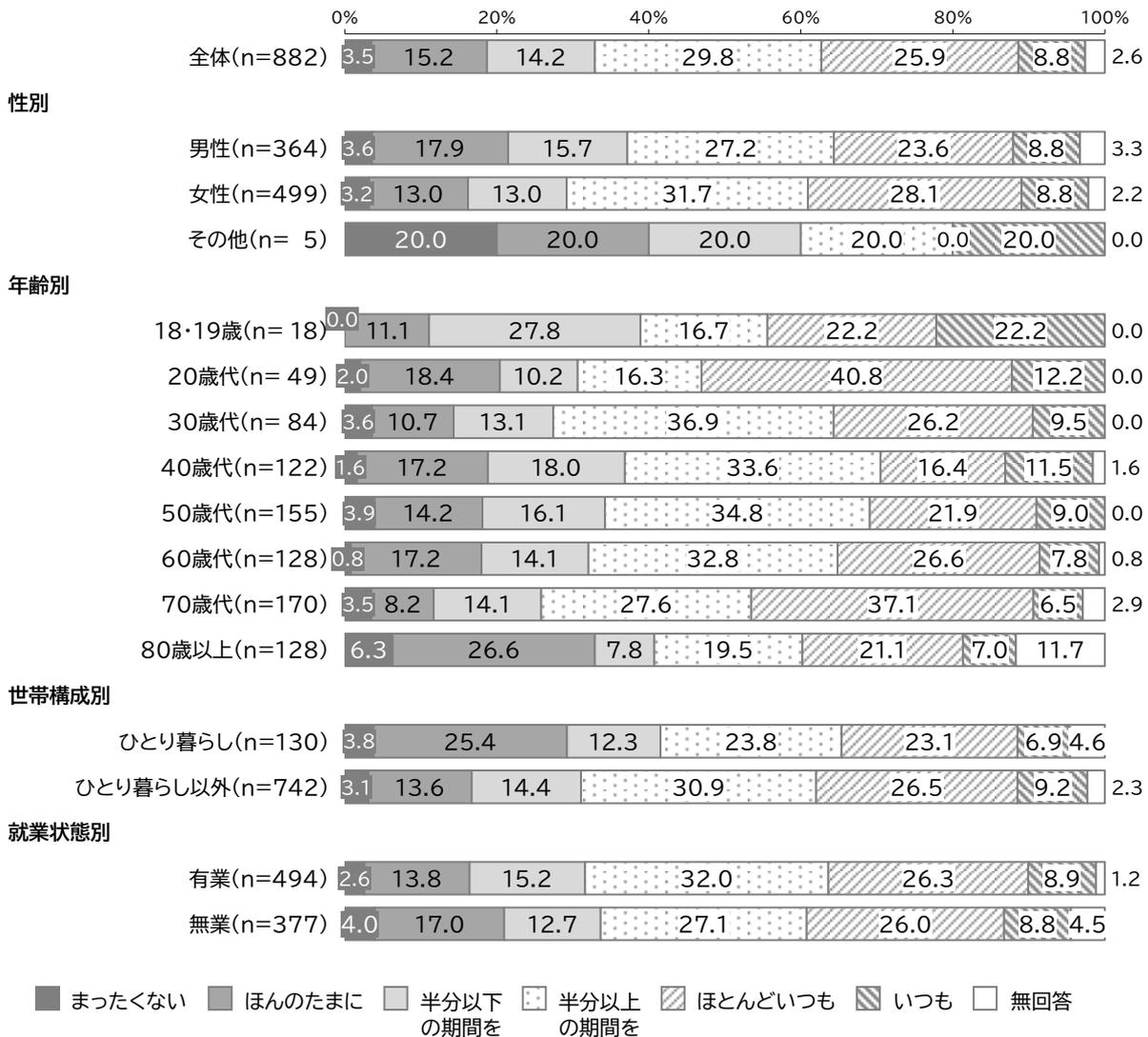
①明るく、楽しい気分で過ごした

最近2週間で明るく、楽しい気分で過ごしたことについて、「半分以上の期間を」の割合が 29.8%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」の割合が 25.9%、「ほんのたまに」の割合が 15.2%となっています。“期間が1週間以下”の割合が 32.9%となっています。

性別にみると、男性の“期間が1週間以下”の割合が、女性よりも 8.0 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

【①明るく、楽しい気分で過ごした】



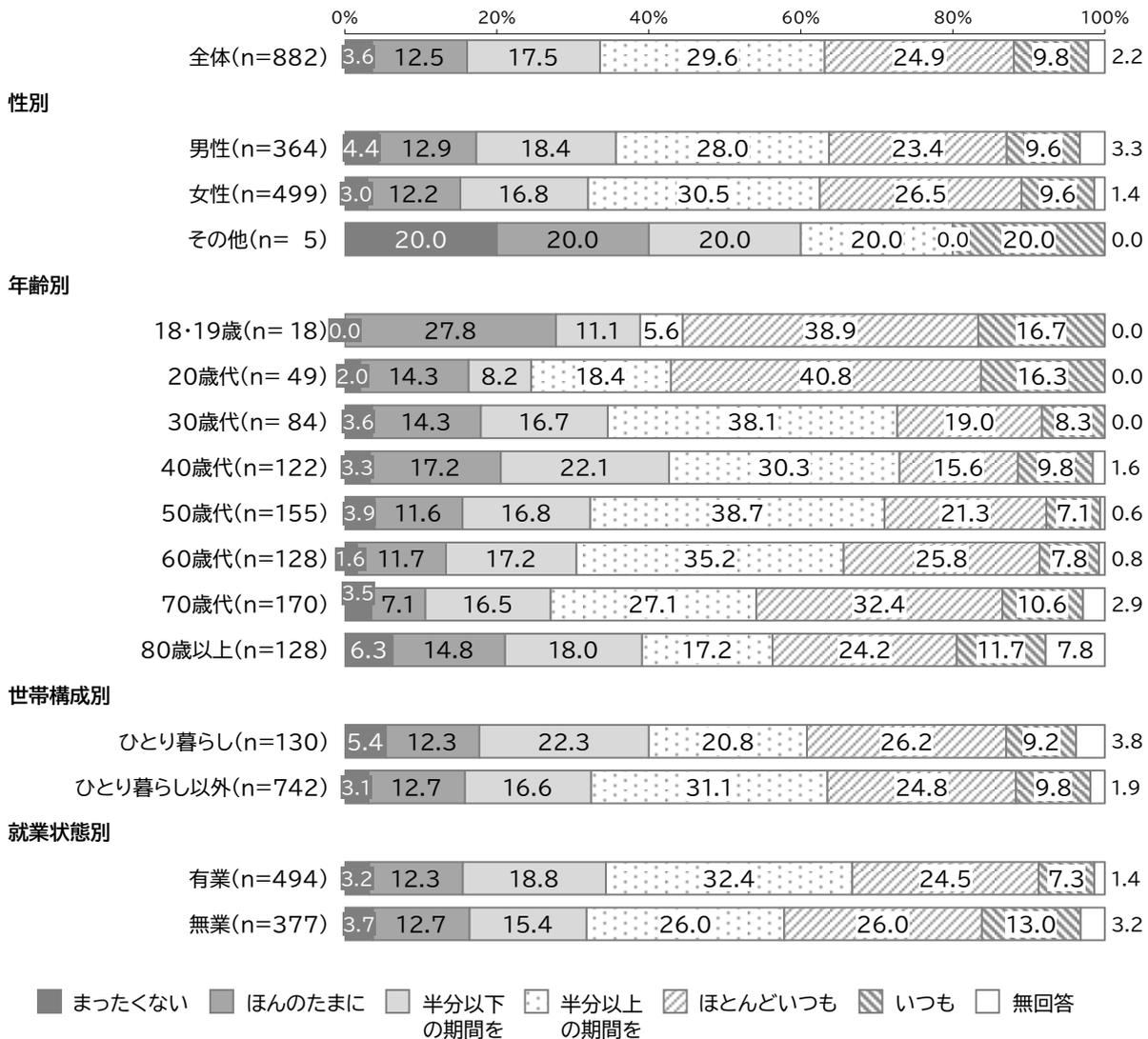
②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした

最近2週間で落ち着いた、リラックスした気分で過ごしたことについて、「半分以上の期間を」の割合が29.6%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」の割合が24.9%、「半分以下の期間を」の割合が17.5%となっています。“期間が1週間以下”の割合が33.6%となっています。

年齢別にみると、40歳代で“期間が1週間以下”の割合が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも7.6ポイント高くなっています。

【②落ち着いた、リラックスした気分で過ごした】



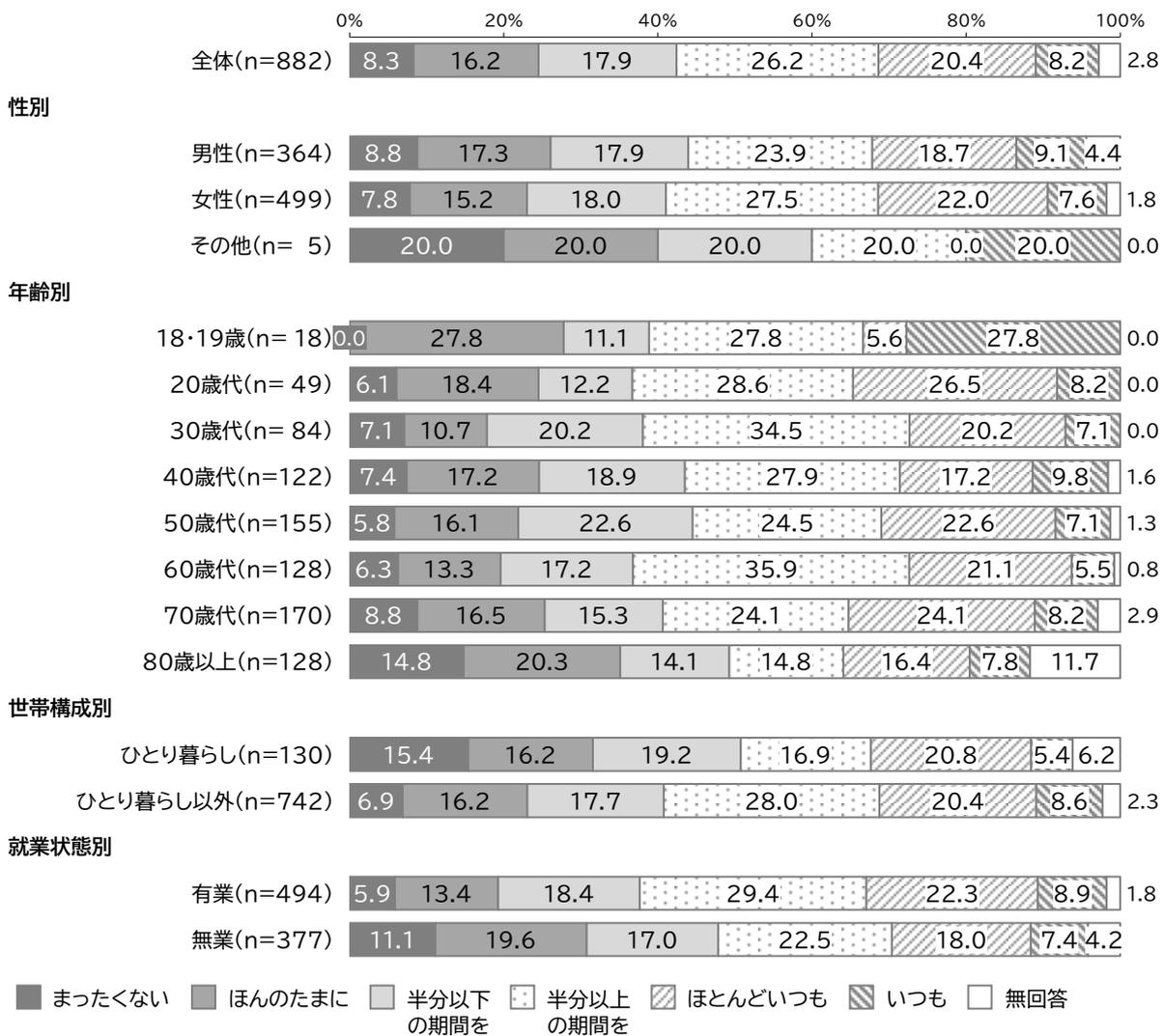
③意欲的で、活動的に過ごした

最近2週間で意欲的で、活動的に過ごしたことについて、「半分以上の期間を」の割合が 26.2%で最も高く、次いで「ほとんどいつも」の割合が 20.4%、「半分以上の期間を」の割合が 17.9%となっています。“期間が1週間以下”の割合が 42.4%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“期間が1週間以下”の割合は高くなる傾向にあり、80歳以上で約半数となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10ポイント高くなっています。

【③意欲的で、活動的に過ごした】

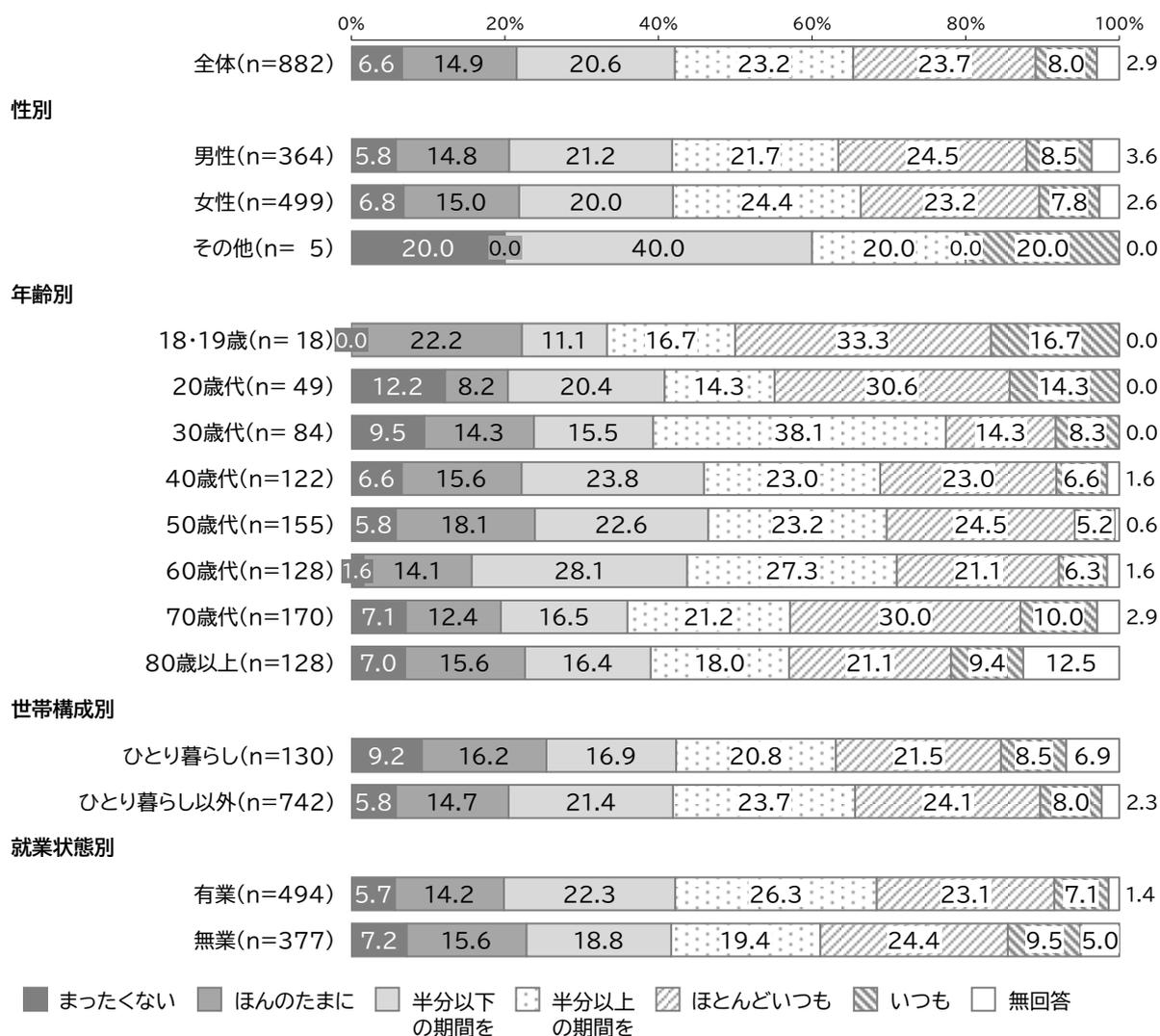


④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた

最近2週間でぐっすりと休め、気持ちよく目覚めたことについて、「ほとんどいつも」の割合が 23.7%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」の割合が 23.2%、「半分以下の期間を」の割合が 20.6%となっています。「期間が1週間以下」の割合が 42.1%となっています。

年齢別にみると、「期間が1週間以下」の割合は 40 歳代～50 歳代が他の年代に比べてやや高く、50 歳代で 46.5%となっています。

【④ぐっすりと休め、気持ちよく目覚めた】



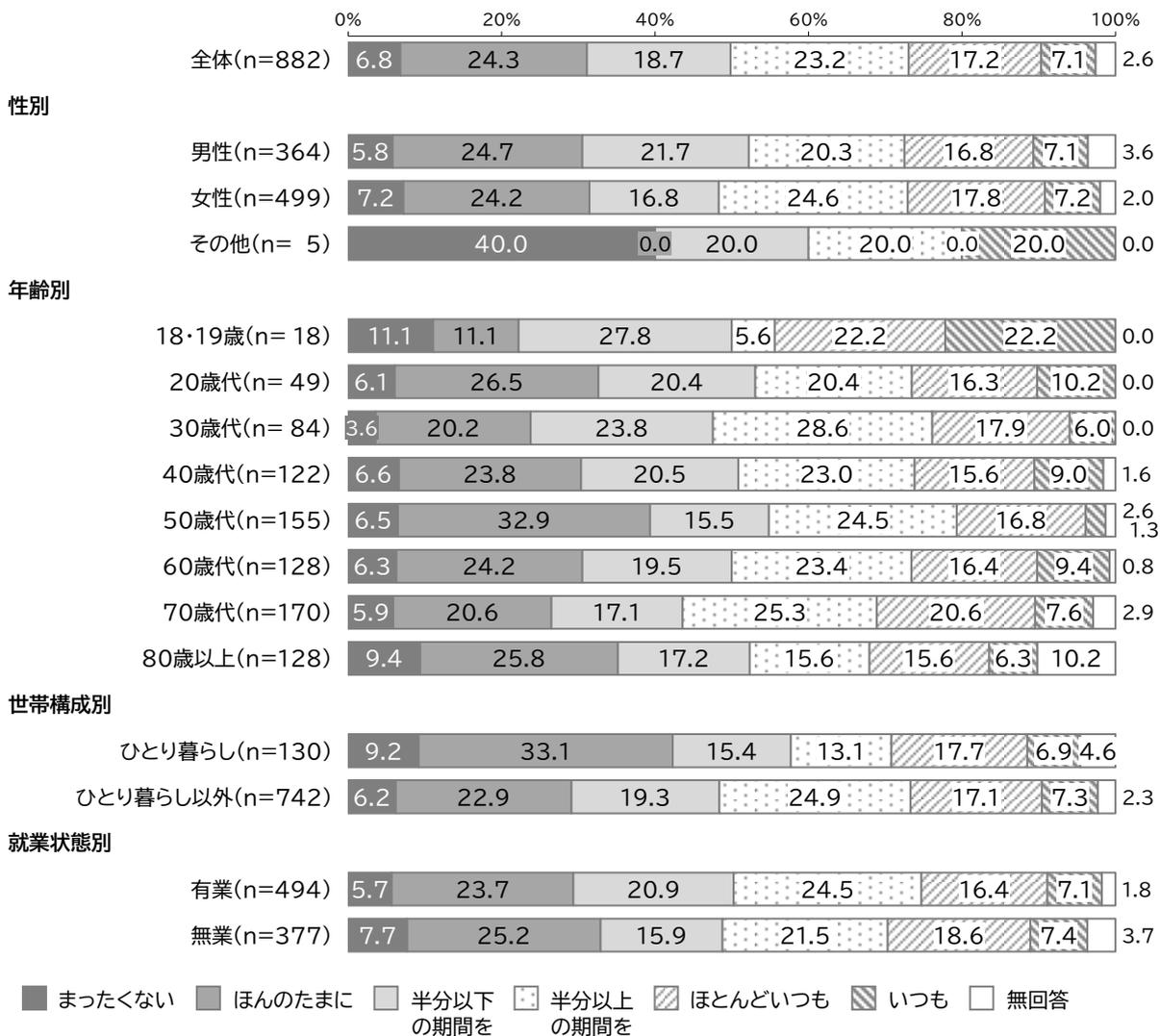
⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった

最近2週間で日常生活の中に、興味のあることがたくさんあったことについて、「ほんのたまに」の割合が24.3%で最も高く、次いで「半分以上の期間を」の割合が23.2%、「半分以下の期間を」の割合が18.7%となっています。“期間が1週間以下”の割合が49.8%となっています。

年齢別にみると、50歳代で「ほんのたまに」の割合が3割台と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“期間が1週間以下”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも9.3ポイント高くなっています。

【⑤日常生活の中に、興味のあることがたくさんあった】

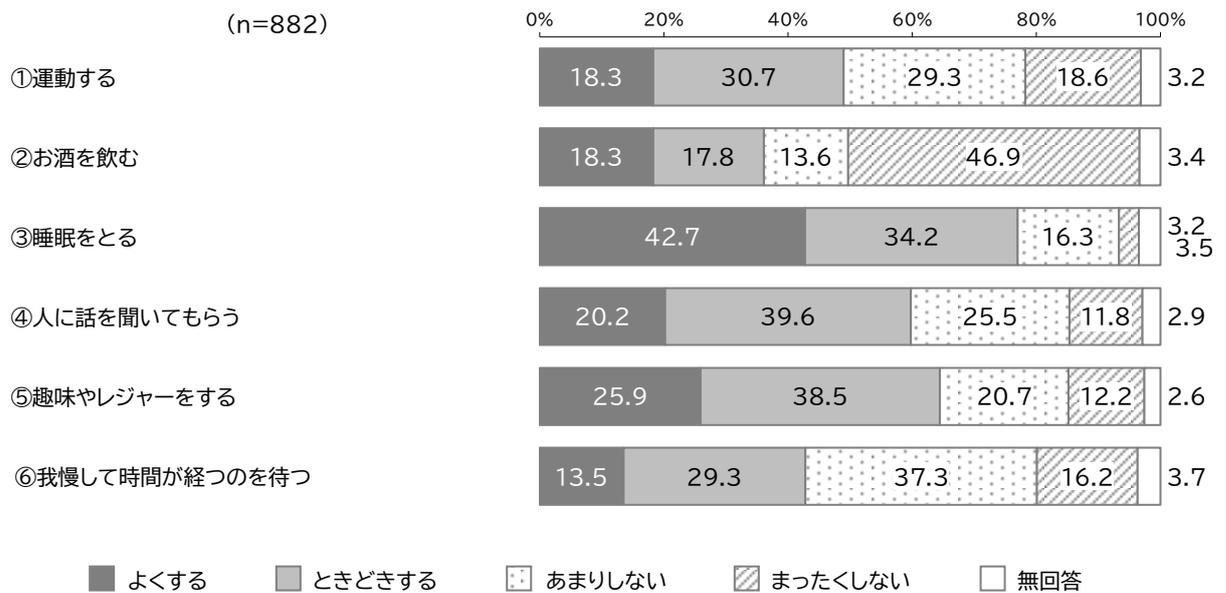


(3)実施しているストレス解消法

問3 あなたは、日常生活の不満、悩み、苦勞、ストレス等を解消するためにどのようなことをしていますか。(①から⑥について、それぞれ〇は1つ)

実施しているストレス解消法をみると、「よくする」と「ときどきする」をあわせた“実践している”の割合が、「③睡眠をとる」(76.9%)、「⑤趣味やレジャーをする」(64.4%)、「④人に話を聞いてもらう」(59.8%)の順で高くなっています。

【実施しているストレス解消法】



①運動する

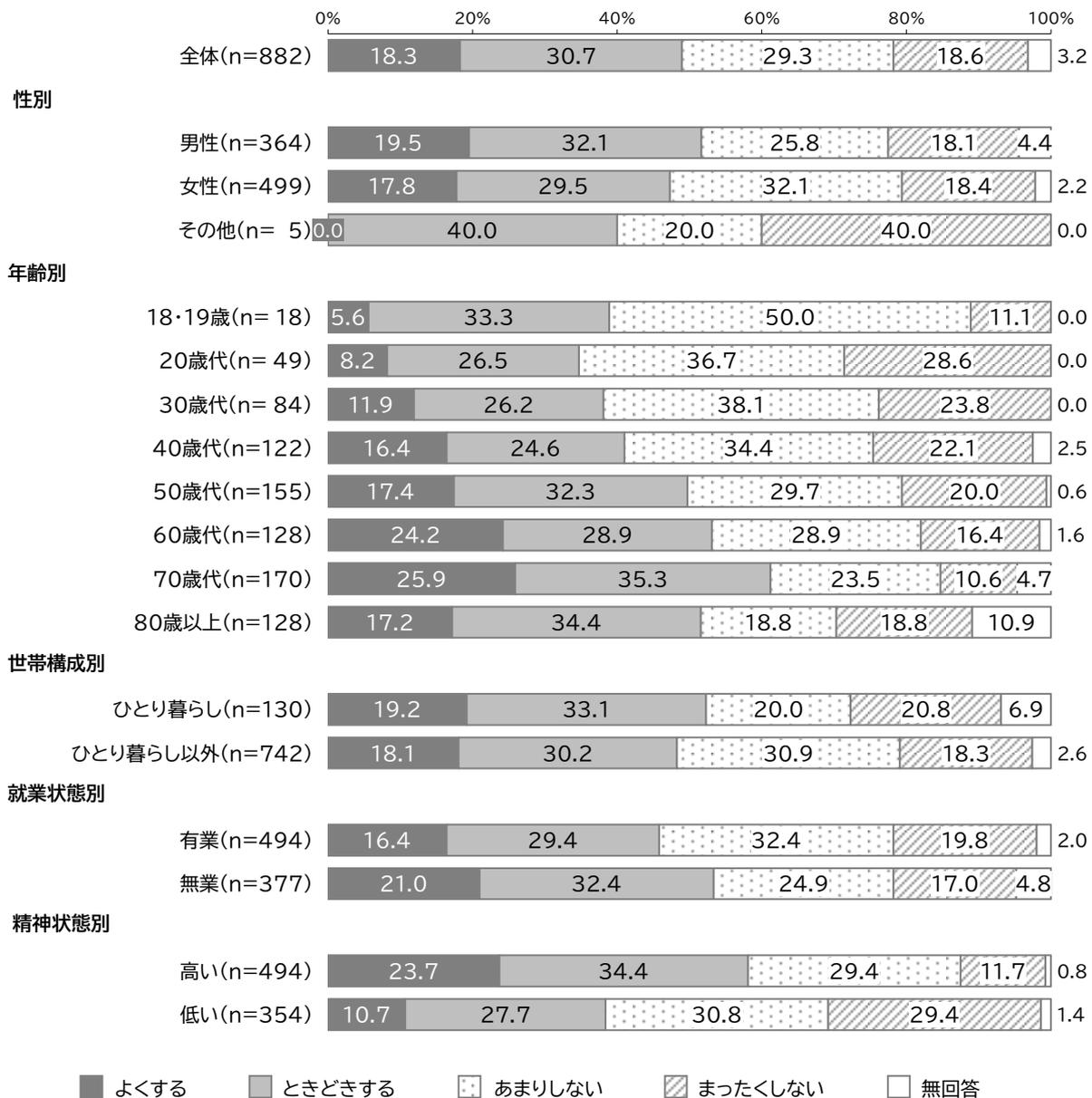
実施しているストレス解消法として運動することについて、「ときどきする」の割合が 30.7%で最も高く、次いで「あまりしない」の割合が 29.3%、「まったくしない」の割合が 18.6%、「よくする」の割合が 18.3%となっています。「実践している」の割合が 49.0%となっています。

性別にみると、男性の“実践している”の割合が、女性よりも 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳代で6割程度となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“実践している”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 20 ポイント低くなっています。

【①運動する】



②お酒を飲む

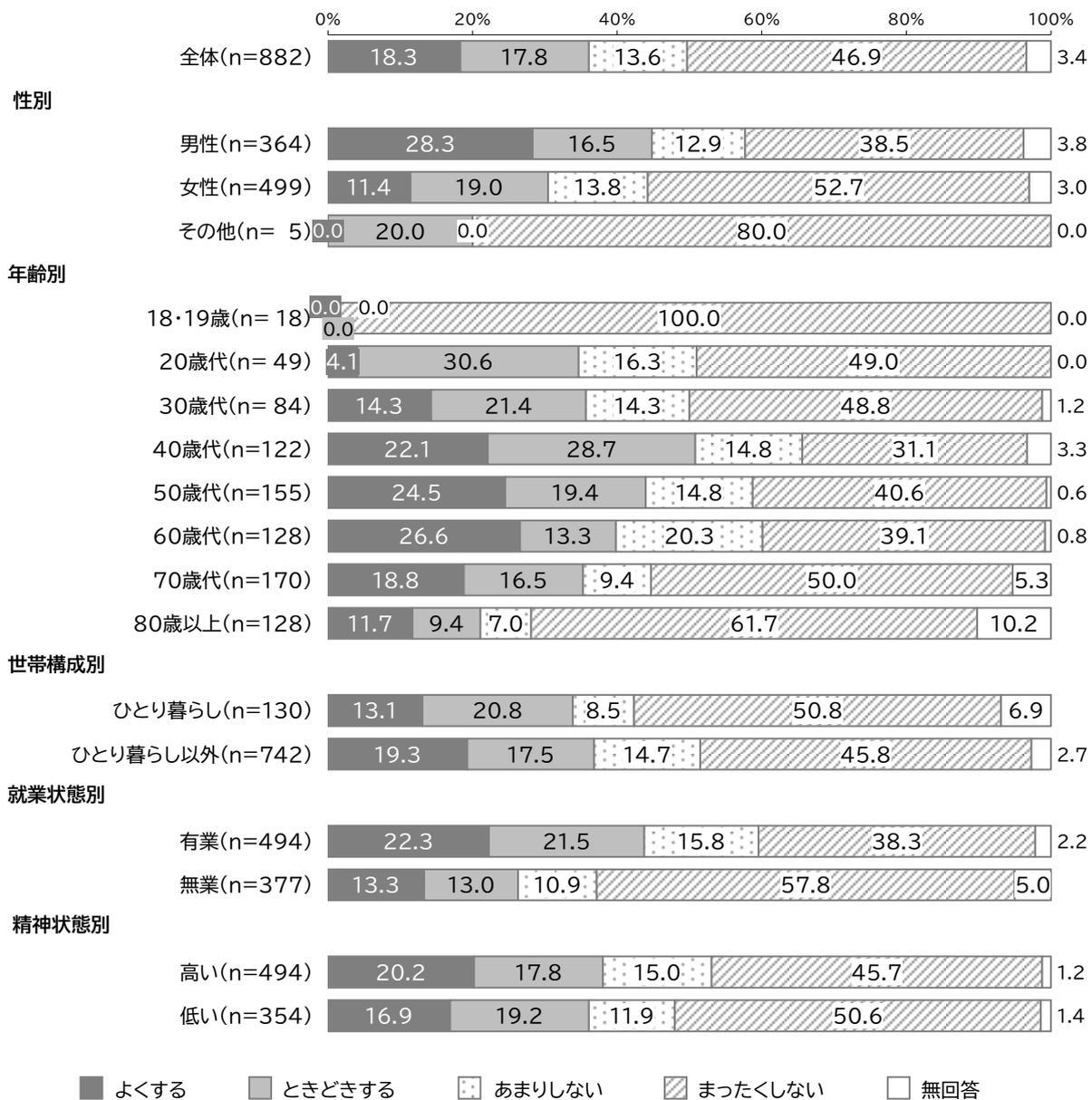
実施しているストレス解消法としてお酒を飲むことについて、「まったくしない」の割合が 46.9%で最も高く、次いで「よくする」の割合が 18.3%、「ときどきする」の割合が 17.8%、「あまりしない」の割合が 13.6%となっています。“実践している”の割合が 36.1%となっています。

性別にみると、男性の“実践している”の割合が、女性よりも 10 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、“実践している”の割合は 40 歳代～50 歳代が他の年代に比べて高く、40 歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の“実践している”の割合が、無業者よりも 17.5 ポイント高くなっています。

【②お酒を飲む】



③睡眠をとる

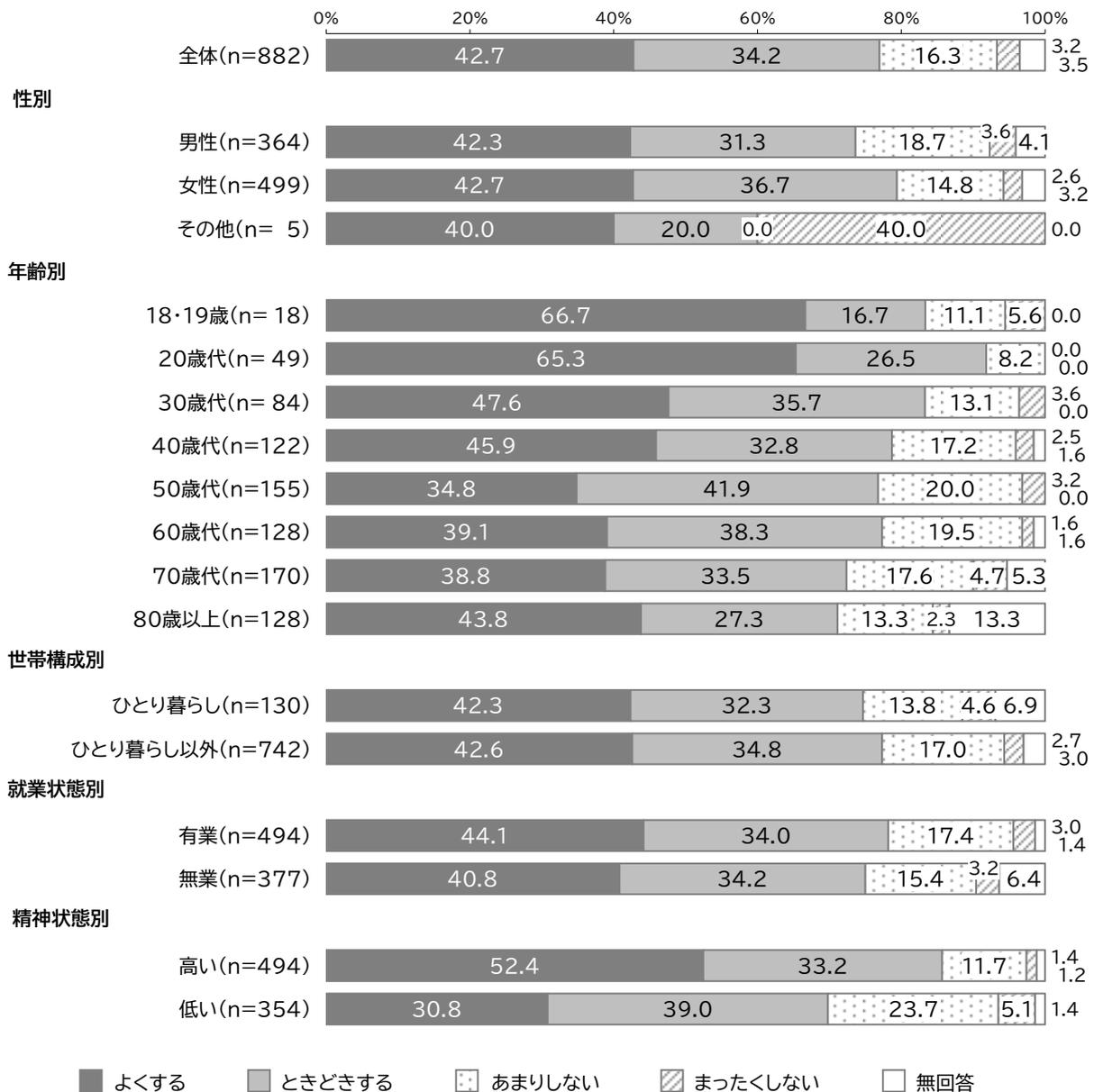
実施しているストレス解消法として睡眠をとることについて、「よくする」の割合が 42.7%で最も高く、次いで「ときどきする」の割合が 34.2%、「あまりしない」の割合が 16.3%となっています。“実践している”の割合が 76.9%となっています。

性別にみると、女性の“実践している”の割合が、男性よりも 5.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で9割以上となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“実践している”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 15 ポイント低くなっています。

【③睡眠をとる】



④人に話を聞いてもらう

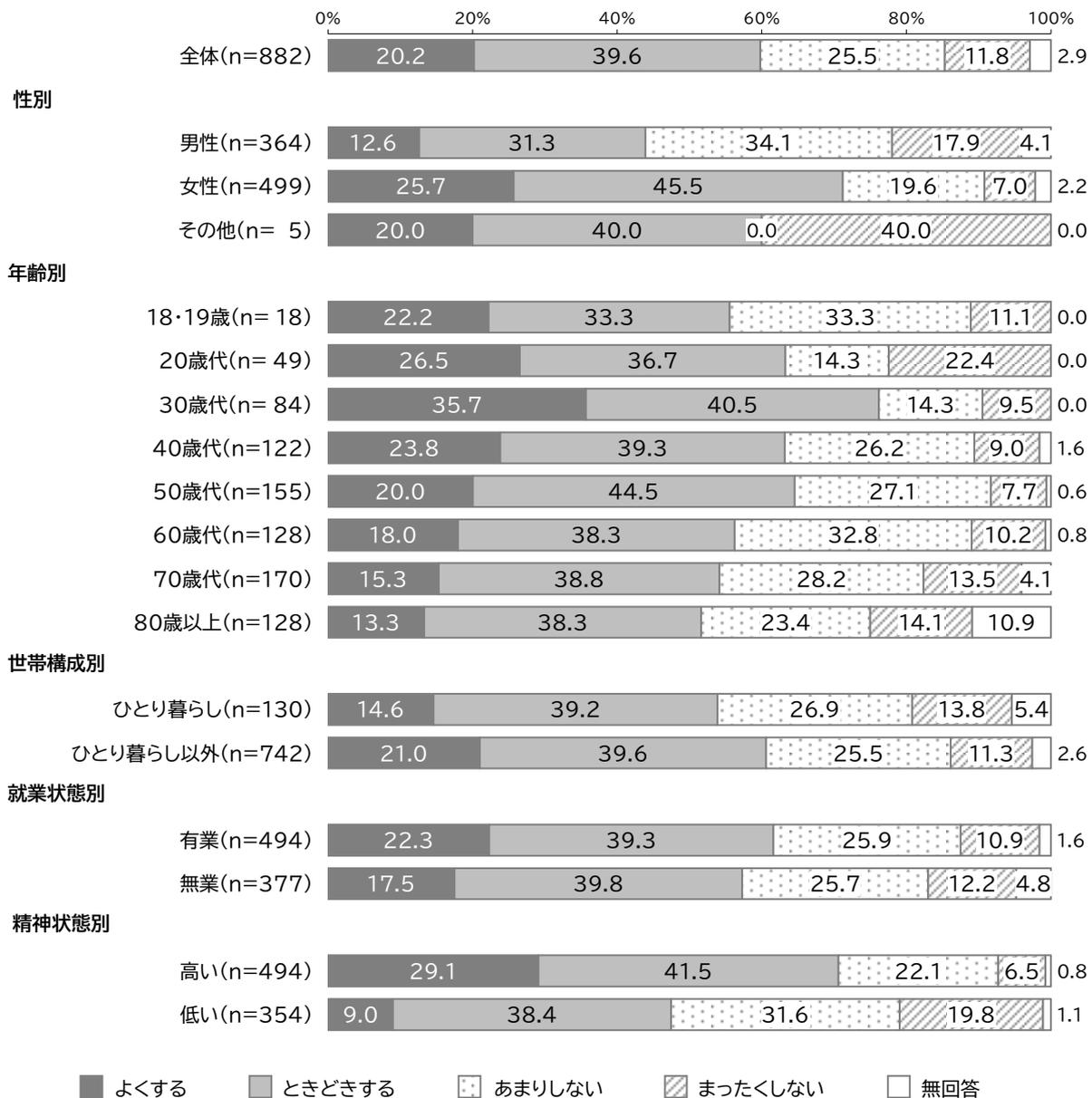
実施しているストレス解消法として人に話を聞いてもらうことについて、「ときどきする」の割合が 39.6%で最も高く、次いで「あまりしない」の割合が 25.5%、「よくする」の割合が 20.2%となっています。“実践している”の割合が 59.8%となっています。

性別にみると、女性の“実践している”の割合が、男性よりも 20 ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、30 歳代で7割台となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“実践している”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 20 ポイント以上低くなっています。

【④人に話を聞いてもらう】



⑤趣味やレジャーをする

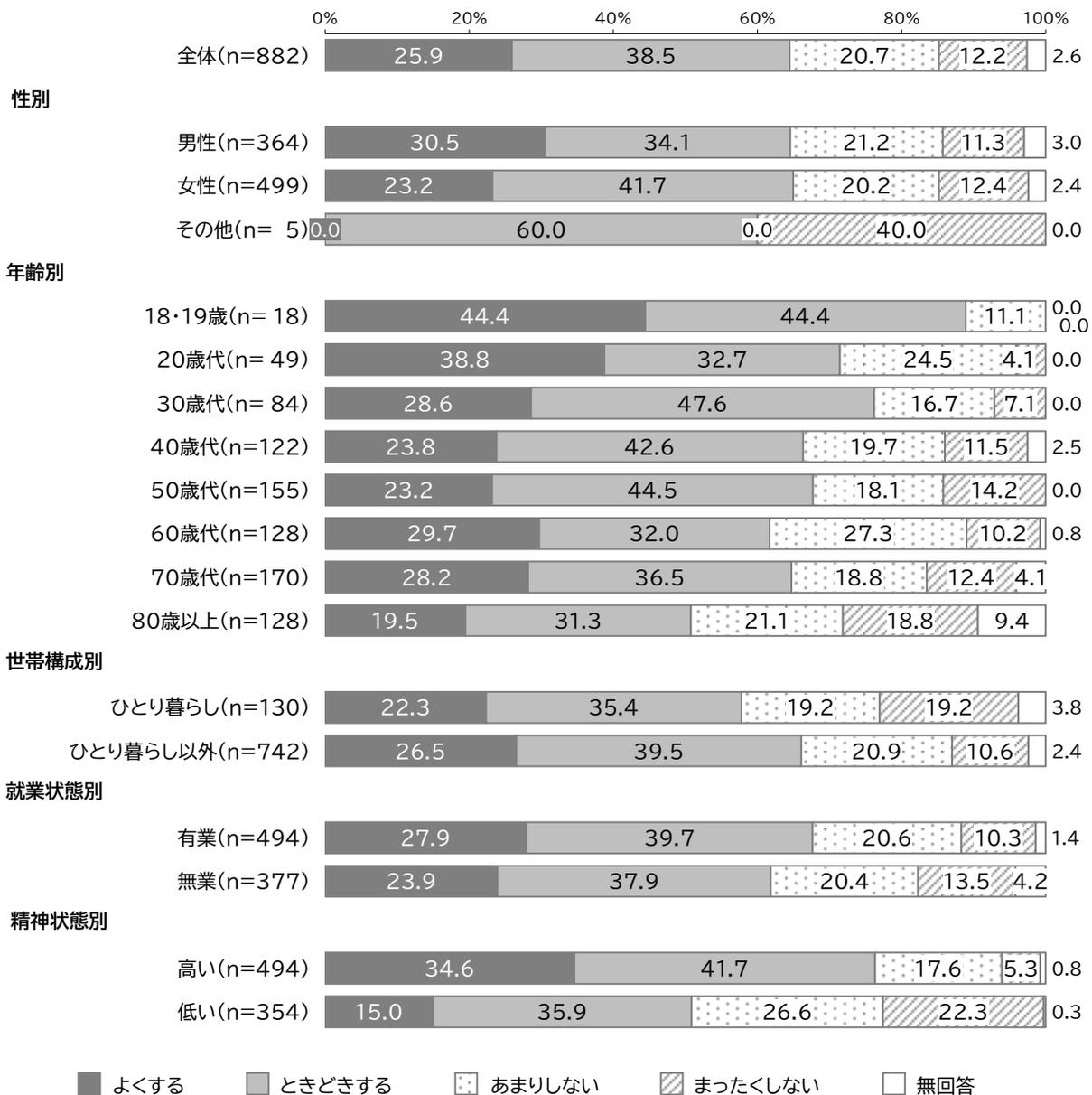
実施しているストレス解消法として趣味やレジャーをすることについて、「ときどきする」の割合が 38.5%で最も高く、次いで「よくする」の割合が 25.9%、「あまりしない」の割合が 20.7%となっています。“実践している”の割合が 64.4%となっています。

性別にみると、男性の「よくする」の割合が、女性よりも 7.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“実践している”の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で9割程度となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“実践している”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 20 ポイント以上低くなっています。

【⑤趣味やレジャーをする】



⑥我慢して時間が経つのを待つ

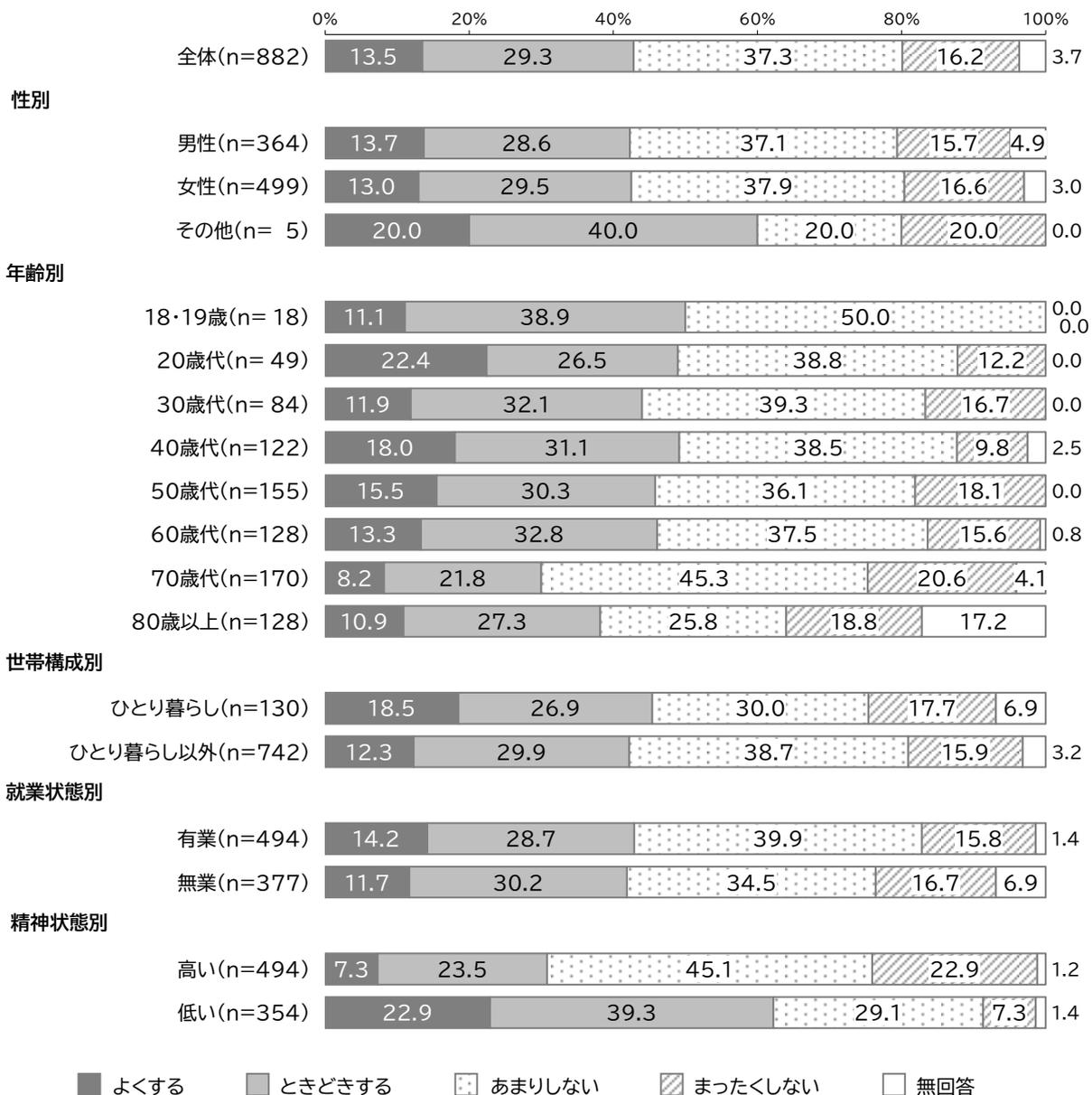
実施しているストレス解消法として我慢して時間が経つのを待つことについて、「あまりしない」の割合が37.3%で最も高く、次いで「ときどきする」の割合が29.3%、「まったくしない」の割合が16.2%、「よくする」の割合が13.5%となっています。“実践している”の割合が42.8%となっています。

年齢別にみると、70歳以上で“実践している”の割合が他の年代と比べてやや低く、70歳代で3割となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「よくする」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.2ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“実践している”の割合が、「スコアが高いグループ」の2倍以上となっています。

【⑥我慢して時間が経つのを待つ】



(4)「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか

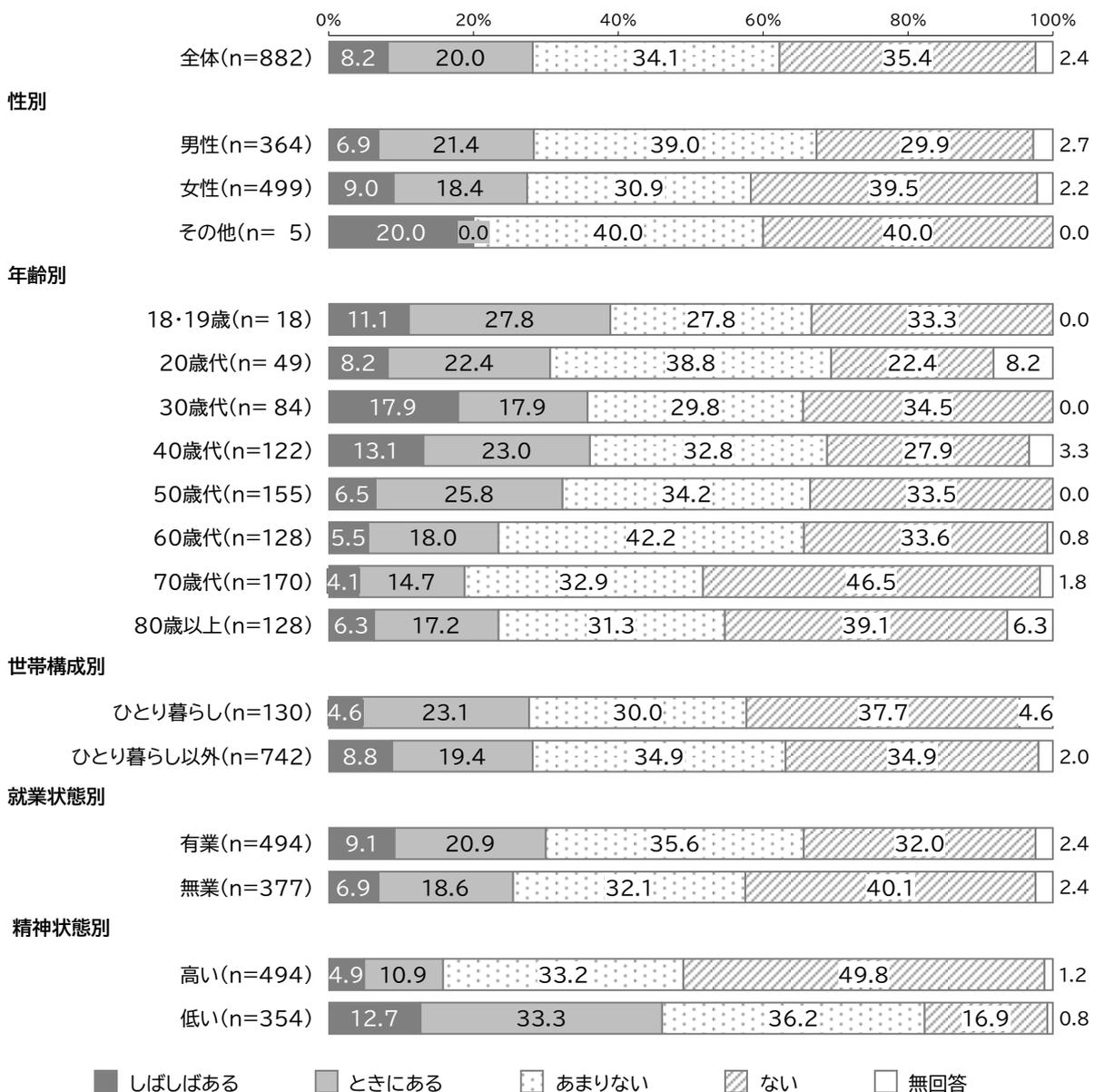
問4 あなたは、普段の生活の中で「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることはありませんか。(〇は1つ)

「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることをみると、「ない」の割合が 35.4%で最も高く、次いで「あまりない」の割合が34.1%、「ときにある」の割合が20.0%となっています。「しばしばある」と「ときにある」をあわせた“感じることもある”の割合が3割弱を占めています。

性別にみると、女性の「しばしばある」と「ない」の割合が、それぞれ男性よりも高く、2極化の傾向があります。年齢別にみると、年代が低くなるほど“感じることもある”の割合は高くなる傾向にあります。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“感じることもある”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 30 ポイント以上高くなっています。

【「自分の居場所(こころの安らぐ場所)がない」と感じることもあるか】

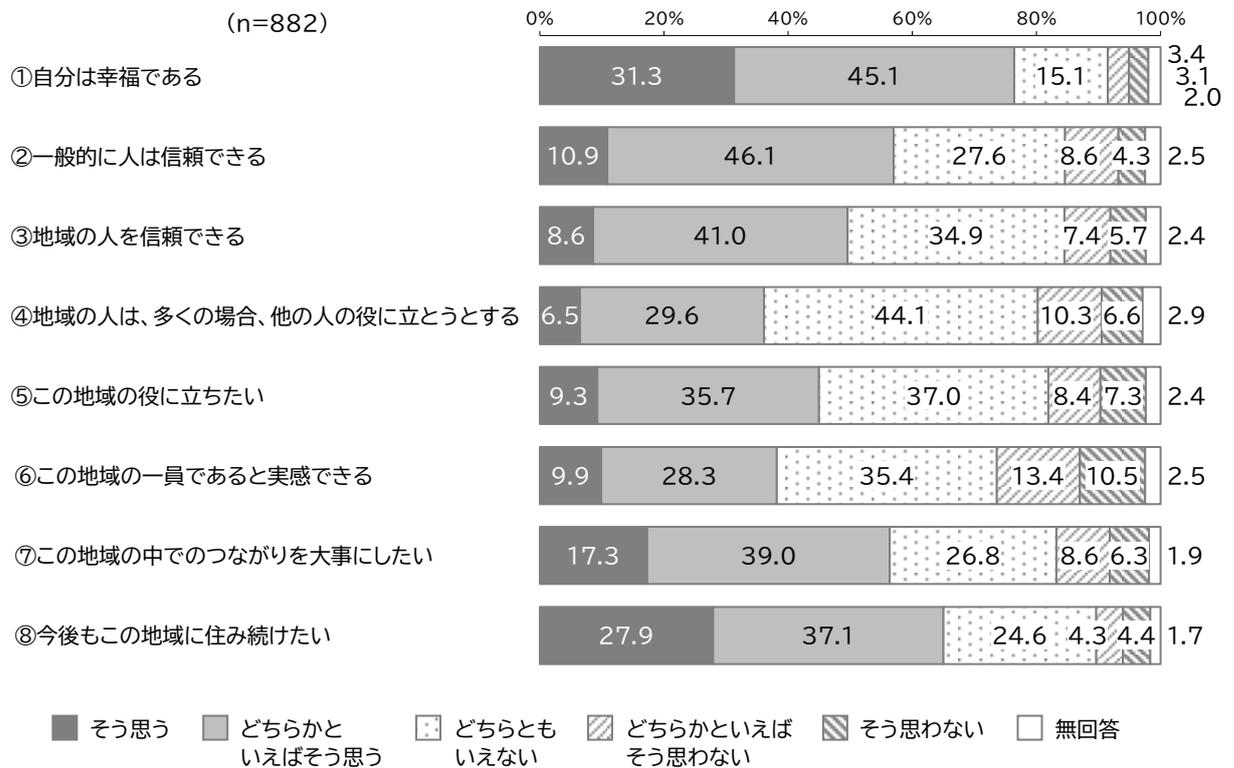


(5) ソーシャルキャピタル

問5 次の項目について、あなたの考えに最も近い番号を選んでください。「地域」とは、お住まいの「町内」をイメージしています。(①から⑧について、それぞれ〇は1つ)

人との関係性や社会的なつながりを資源としてとらえる概念である社会関係資本(ソーシャルキャピタル)について8項目でたずねたところ、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が「①自分は幸福である」「②一般的に人は信頼できる」「⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい」「⑧今後もこの地域に住み続けたい」で半数を超えています。

【ソーシャルキャピタル】



①自分は幸福である

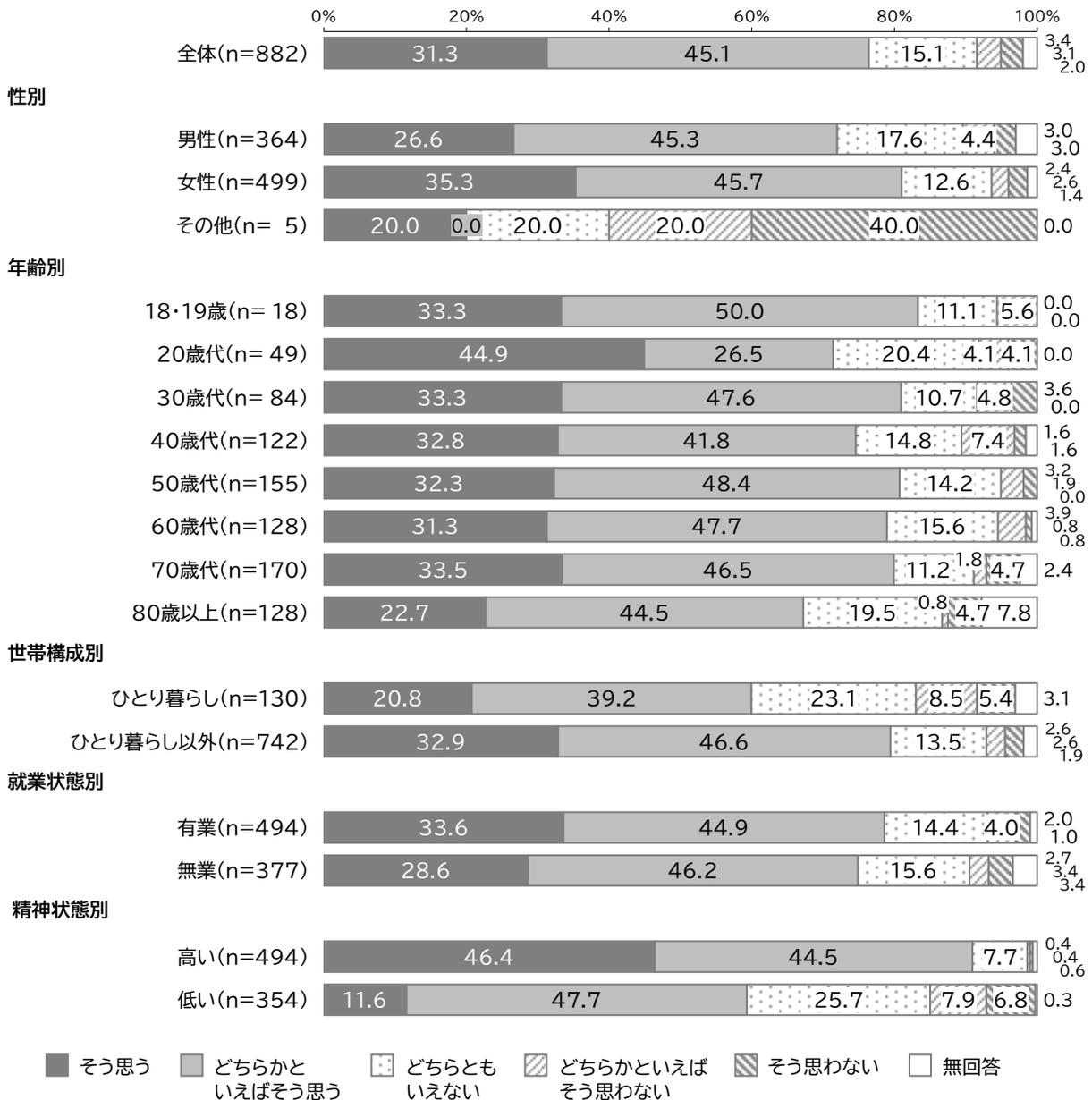
自分は幸福であるということについて、「どちらかといえばそう思う」の割合が 45.1%で最も高く、次いで「そう思う」の割合が 31.3%、「どちらともいえない」の割合が 15.1%となっています。「そう思う」の割合が 76.4%となっています。

性別にみると、女性の「そう思う」の割合が、男性よりも 9.1 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「そう思う」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 20 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「そう思う」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 30 ポイント以上低くなっています。

【①自分は幸福である】



②一般的に人は信頼できる

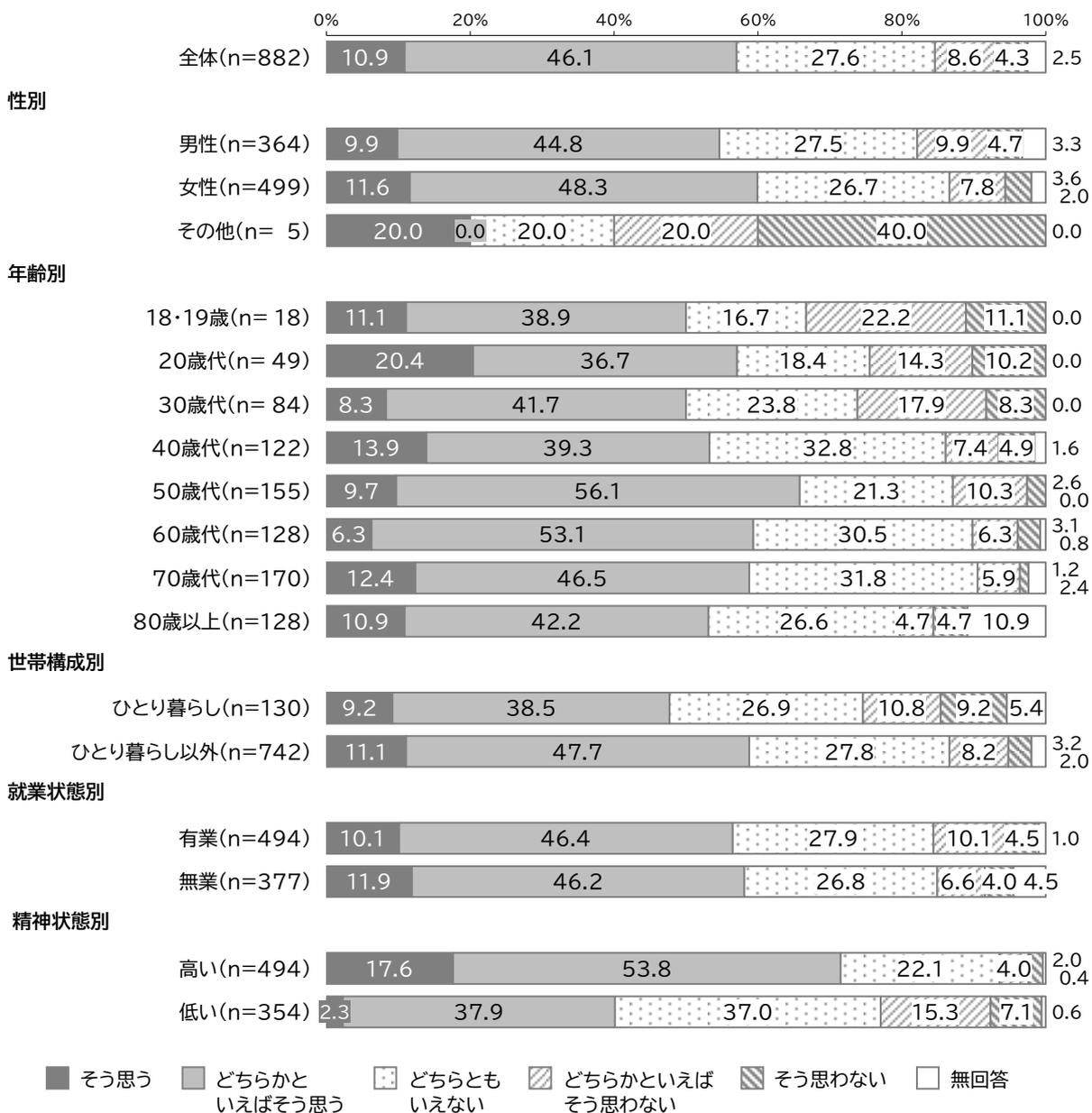
一般的に人は信頼できるということについて、「どちらかといえばそう思う」の割合が 46.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 27.6%、「そう思う」の割合が 10.9%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 8.6%となっています。“そう思う”の割合が 57.0%となっています。

性別にみると、女性の“そう思う”の割合が、男性よりも 5.2 ポイント高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そう思う”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント程低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 30 ポイント以上低くなっています。

【②一般的に人は信頼できる】



③地域の人を信頼できる

地域の人を信頼できるということについて、「どちらかといえばそう思う」の割合が 41.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 34.9%、「そう思う」の割合が 8.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 7.4%となっています。「そう思う」の割合が 49.6%となっています。

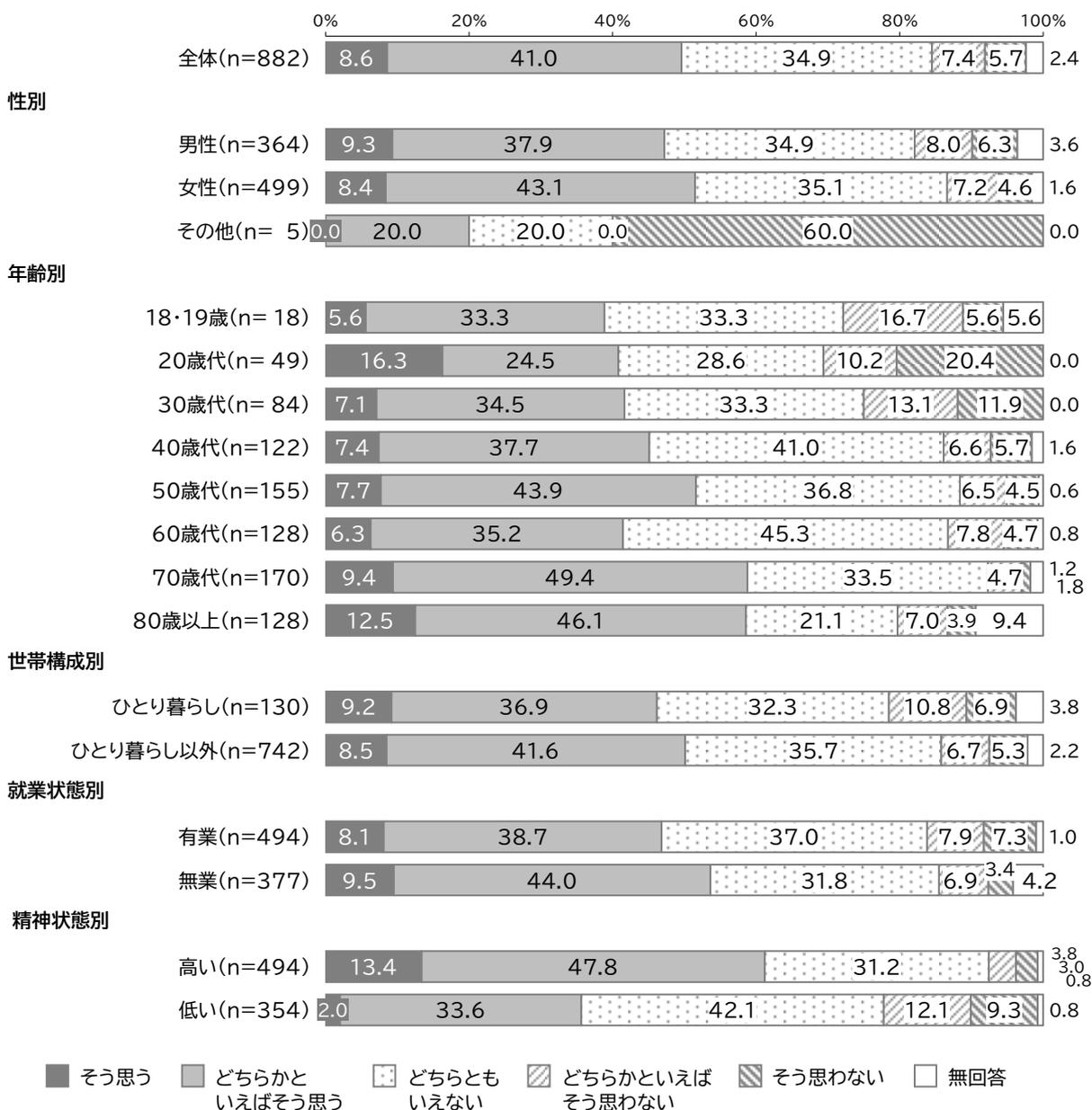
性別にみると、女性の“そう思う”の割合が、男性よりも 4.3 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で6割近くとなっています。

就業状態別にみると、無業者の“そう思う”の割合が、有業者よりも 6.7 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 25 ポイント低くなっています。

【③地域の人を信頼できる】



④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする

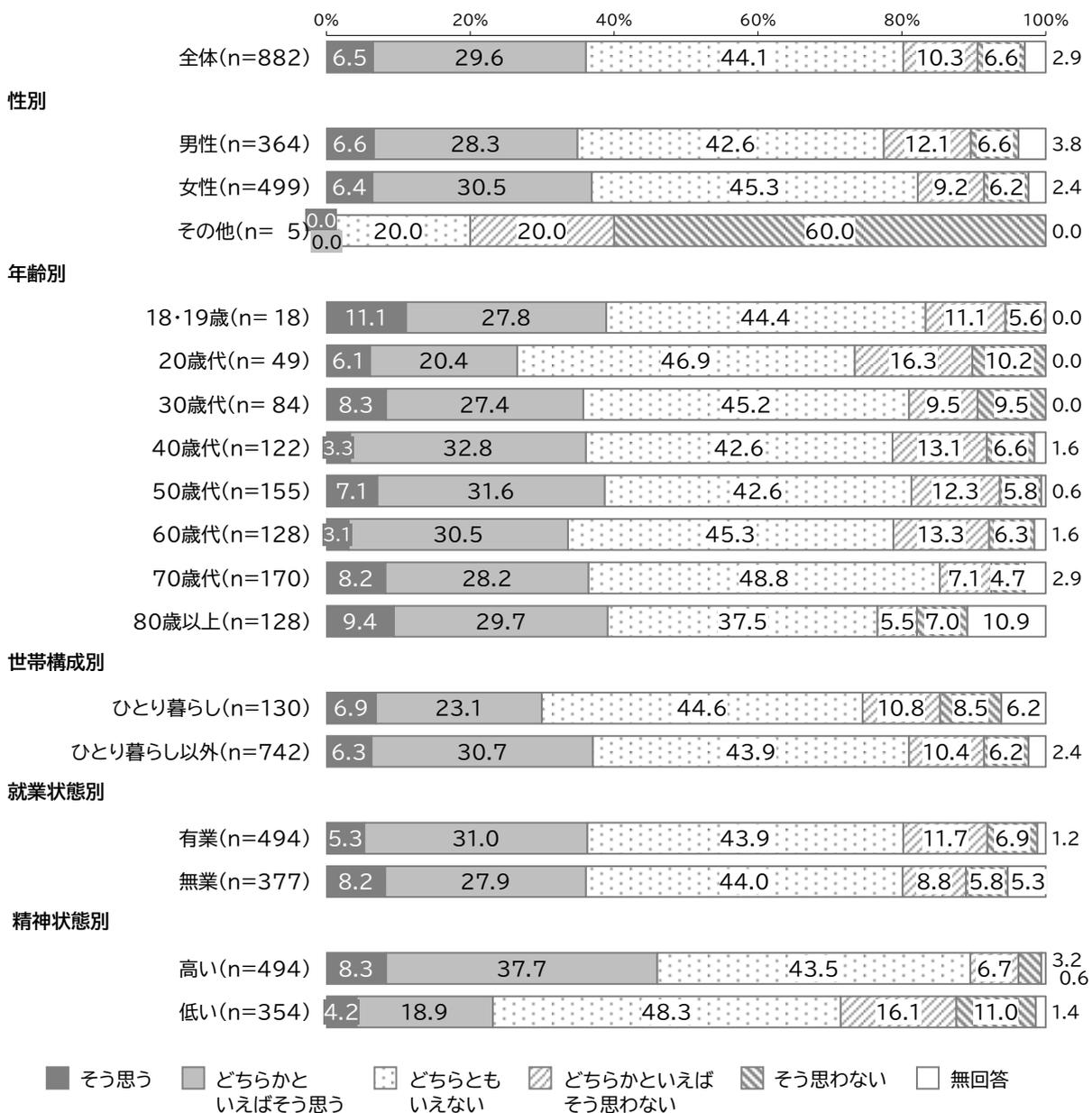
地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとするということについて、「どちらともいえない」の割合が44.1%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が29.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が10.3%、「そう思わない」の割合が6.6%となっています。「そう思う」の割合が36.1%となっています。

年齢別にみると、20歳代で「そう思う」の割合が26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも7.6ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「そう思う」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも20ポイント以上低くなっています。

【④地域の人は、多くの場合、他の人の役に立とうとする】



⑤この地域の役に立ちたい

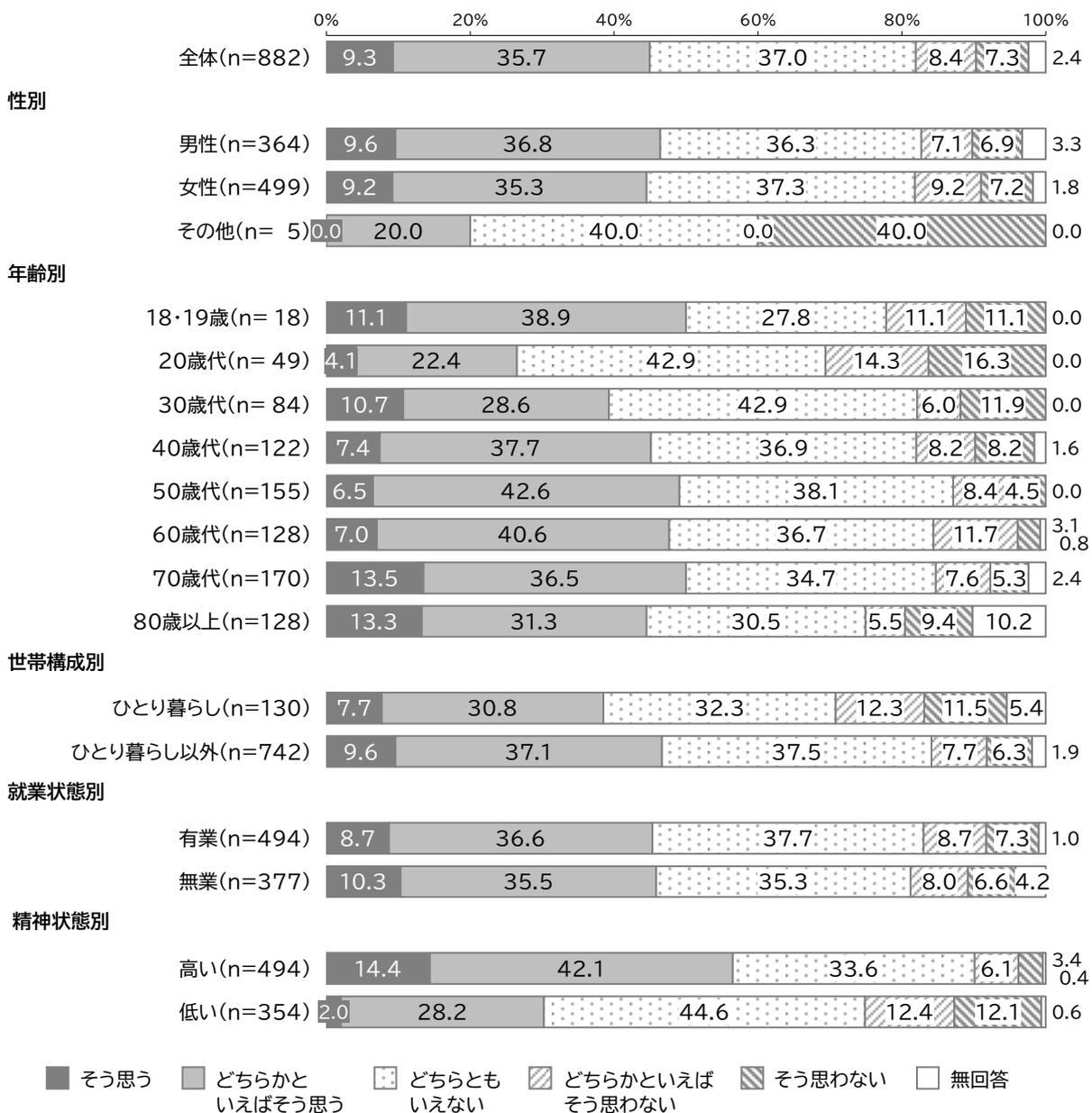
この地域の役に立ちたいということについて、「どちらともいえない」の割合が 37.0%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 35.7%、「そう思う」の割合が 9.3%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 8.4%となっています。「そう思う」の割合が 45.0%となっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そう思う”の割合が 26.5%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「どちらかといえばそう思う」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 6.3 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 25 ポイント以上低くなっています。

【⑤この地域の役に立ちたい】



⑥この地域の一員であると実感できる

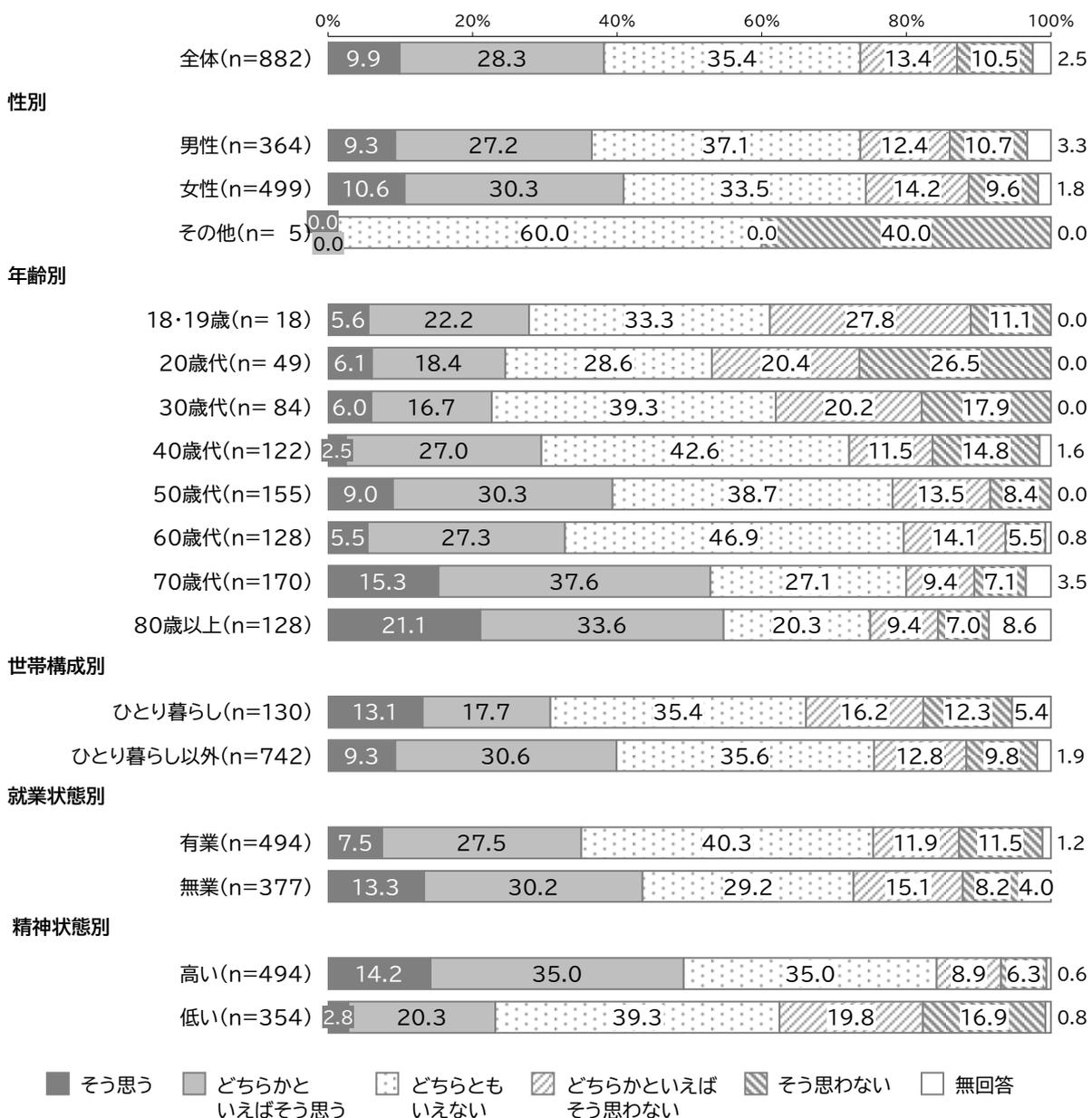
この地域の一員であると感じることができるということについて、「どちらともいえない」の割合が 35.4%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 28.3%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 13.4%、「そう思わない」の割合が 10.5%となっています。“そう思う”の割合が 38.2%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、70歳以上で5割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そう思う”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 9.1 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 25 ポイント以上低くなっています。

【⑥この地域の一員であると実感できる】



⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい

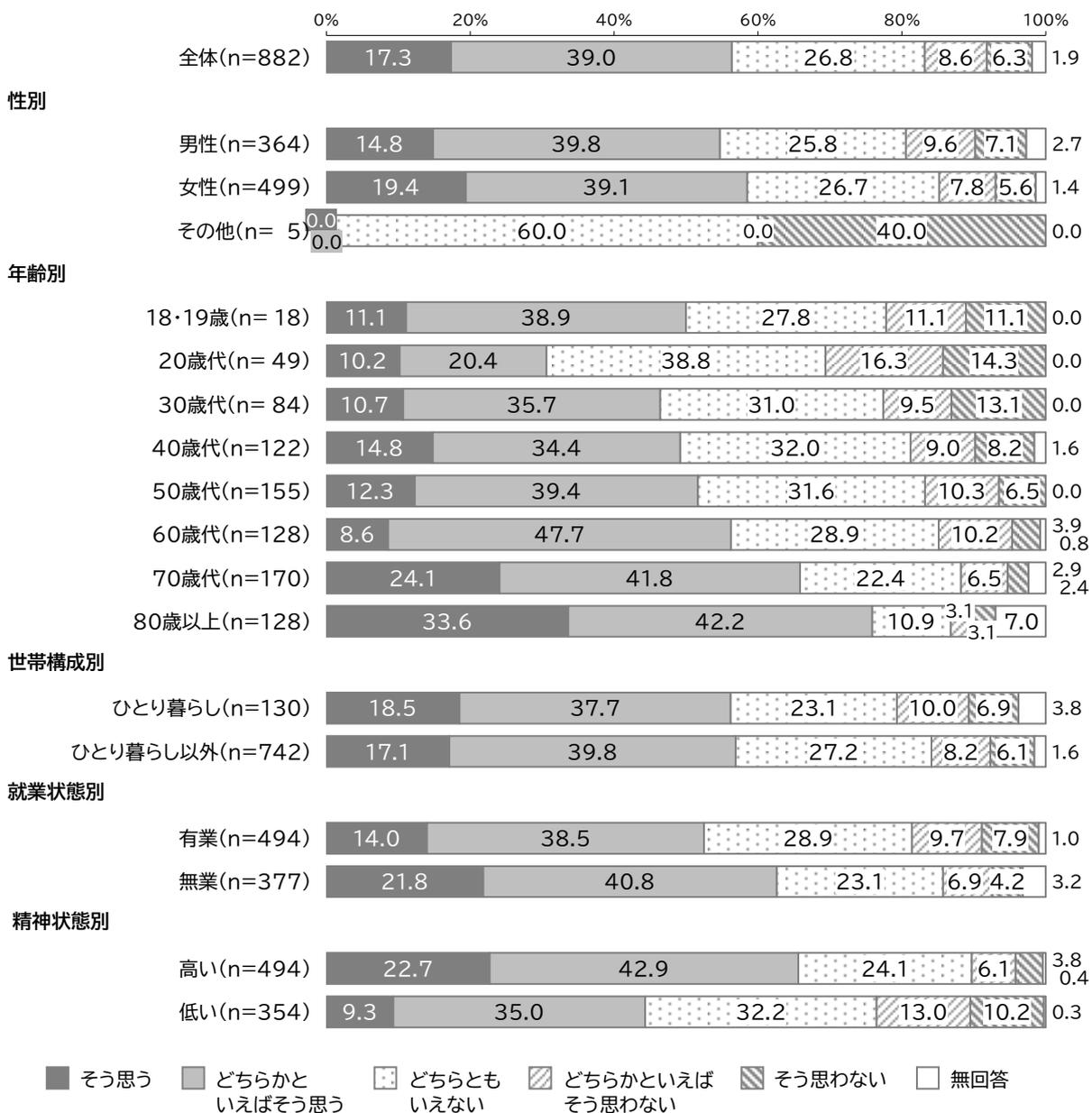
この地域の中でのつながりを大事にしたいということについて、「どちらかといえばそう思う」の割合が 39.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 26.8%、「そう思う」の割合が 17.3%となっています。“そう思う”の割合が 56.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、80歳以上で7割台となっています。また、20歳代で“そう思う”の割合が3割程度と、他の年代に比べて特に低くなっています。

就業状態別にみると、無業者の“そう思う”の割合が、有業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 20 ポイント以上低くなっています。

【⑦この地域の中でのつながりを大事にしたい】



⑧今後もこの地域に住み続けたい

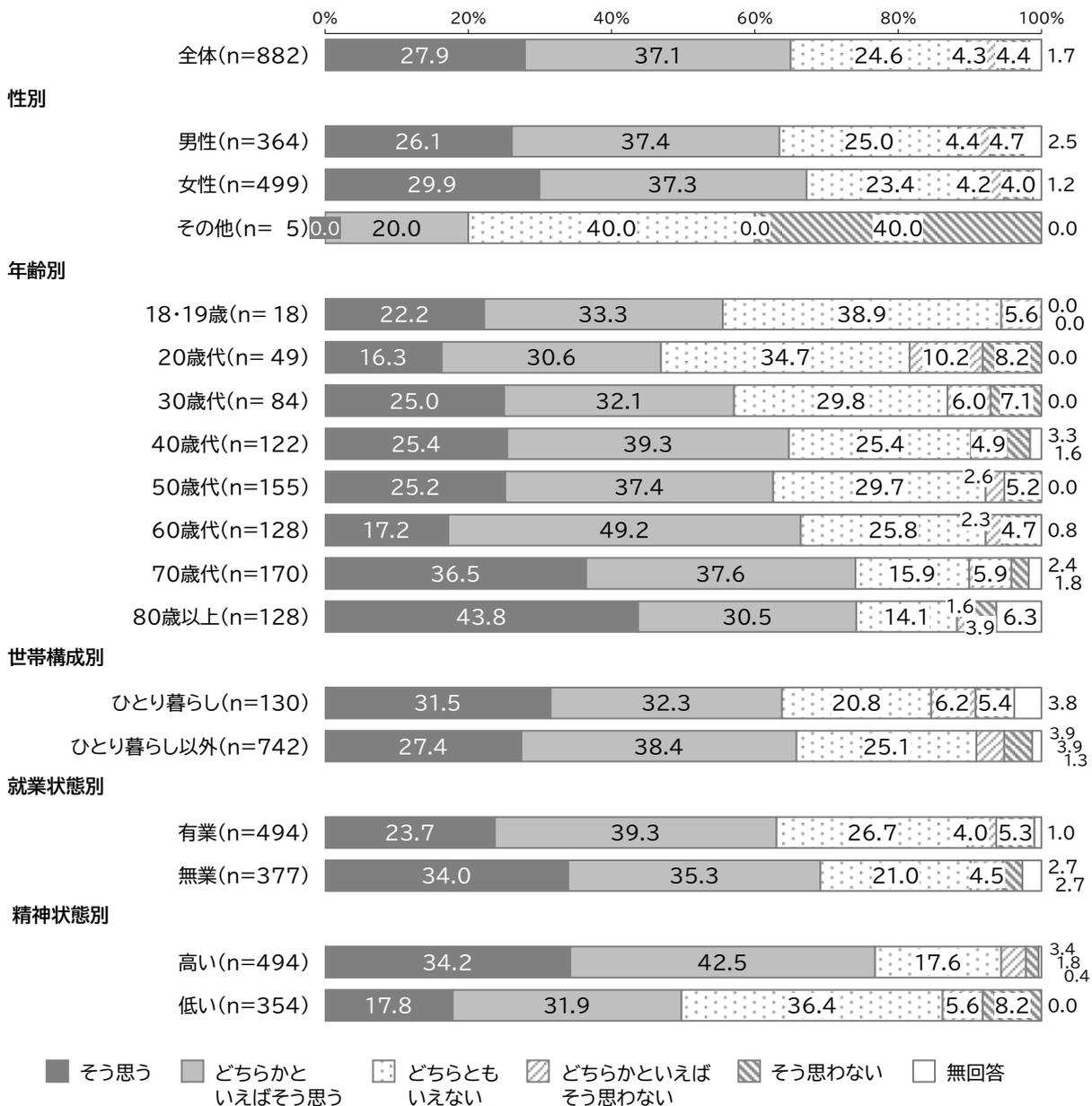
今後もこの地域に住み続けたいということについて、「どちらかといえばそう思う」の割合が 37.1%で最も高く、次いで「そう思う」の割合が 27.9%、「どちらともいえない」の割合が 24.6%となっています。“そう思う”の割合が 65.0%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そう思う”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で7割台となっています。

就業状態別にみると、無業者の“そう思う”の割合が、有業者よりも 6.3 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そう思う”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 25 ポイント以上低くなっています。

【⑧今後もこの地域に住み続けたい】



2 日常の悩みやストレスについて

(1) 悩みやストレスの有無

問6 あなたは現在、日常生活で悩みやストレスがありますか。(〇は1つ)

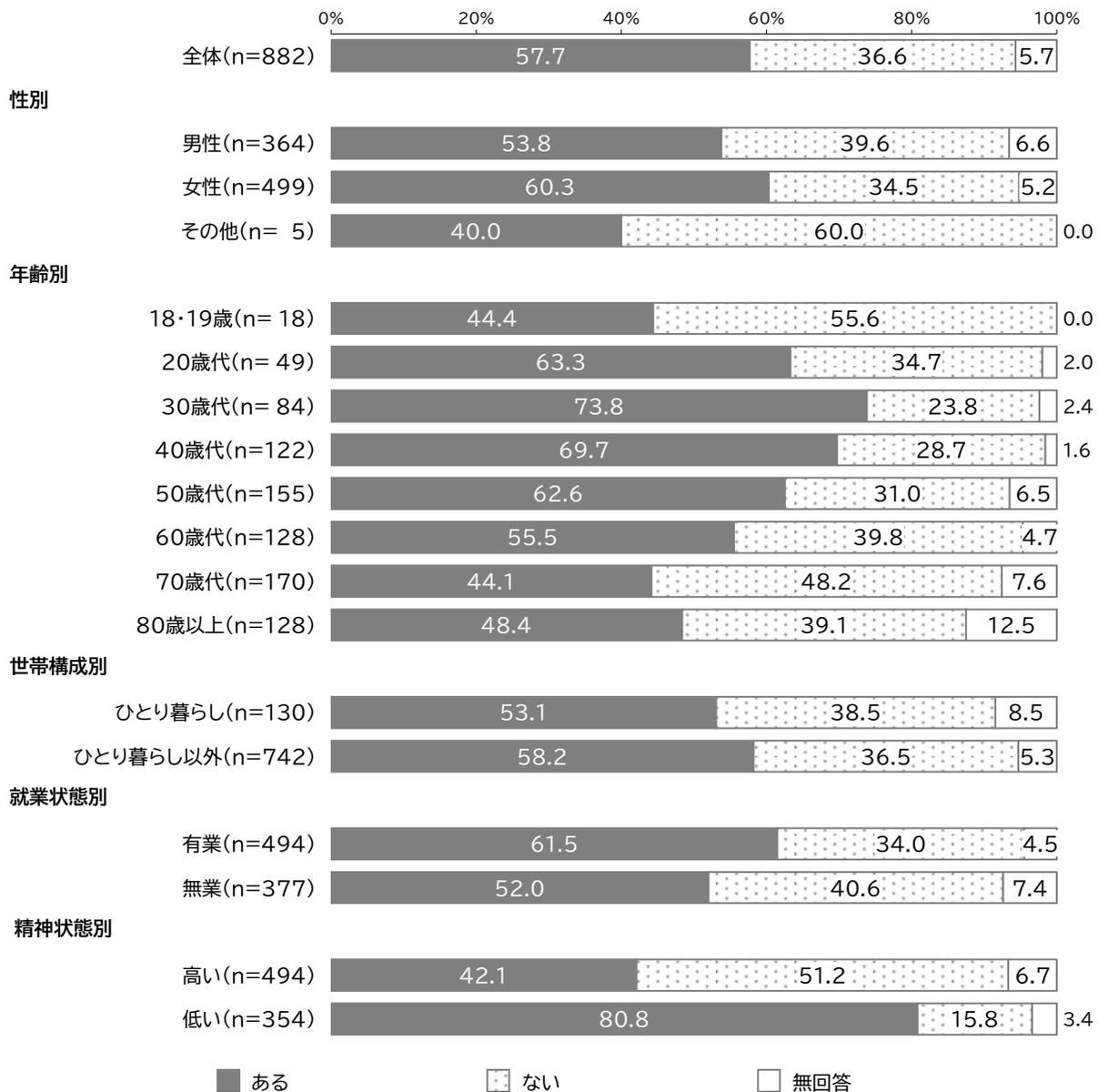
悩みやストレスの有無をみると、「ある」の割合が 57.7%、「ない」の割合が 36.6%となっています。

性別にみると、女性の「ある」の割合が、男性よりも 6.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代～50 歳代で「ある」の割合が他の年代に比べて高く、30 歳代で7割台となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「ある」の割合が、「スコアが高いグループ」の約2倍となっています。

【悩みやストレスの有無】



(2) 悩みやストレスの内容

問6で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

問7 どのような悩みやストレスがありますか。(〇はいくつでも) その他の回答がある場合は、「20」に記入してください。

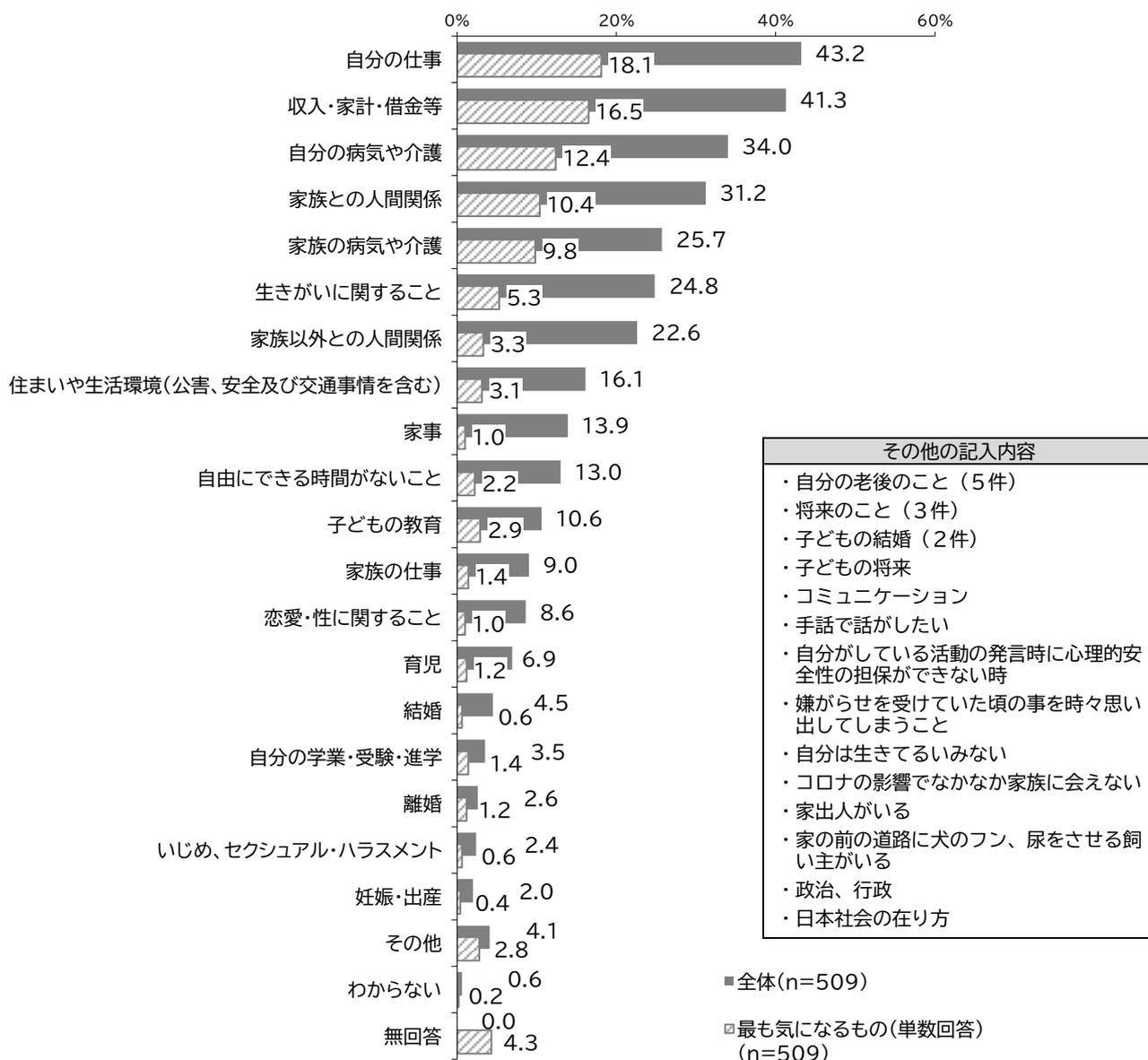
問7-1 問7で回答した中で、最も気になる原因の番号を番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの内容をみると、「自分の仕事」の割合が 43.2%で最も高く、次いで「収入・家計・借金等」の割合が 41.3%、「自分の病気や介護」の割合が 34.0%、「家族との人間関係」の割合が 31.2%となっています。最も気になる悩みやストレスの要因も、同様の順番で高くなっています。

性別にみると、男性は「自分の仕事」「収入・家計・借金等」「家族以外との人間関係」の割合が、女性より10ポイント以上高くなっています。

年齢別にみると、30歳代～40歳代で「自分の仕事」、80歳以上で「自分の病気や介護」の割合が特に高くなっています。

【悩みやストレスの内容】



【悩みやストレスの内容】

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関する こと	家族以外との人間 関係	住まいや生活環境 (公害、安全及び交通 事情を含む)	家事	自由にできる時間 がないこと	子どもの教育
全体		509	43.2	41.3	34.0	31.2	25.7	24.8	22.6	16.1	13.9	13.0	10.6
性別	男性	196	54.6	48.0	33.7	26.5	25.0	28.6	28.6	18.9	10.2	12.2	8.7
	女性	301	34.6	36.9	34.6	33.6	26.6	21.6	18.6	14.0	15.9	13.0	11.6
	その他	2	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	100.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0
年齢別	18・19 歳	8	37.5	25.0	12.5	25.0	-	37.5	50.0	12.5	-	12.5	-
	20 歳代	31	58.1	54.8	3.2	29.0	6.5	32.3	32.3	6.5	16.1	12.9	3.2
	30 歳代	62	62.9	48.4	24.2	32.3	12.9	30.6	29.0	14.5	24.2	27.4	17.7
	40 歳代	85	67.1	41.2	25.9	30.6	21.2	25.9	28.2	16.5	16.5	15.3	30.6
	50 歳代	97	59.8	45.4	25.8	34.0	43.3	20.6	28.9	9.3	8.2	14.4	12.4
	60 歳代	71	36.6	43.7	36.6	38.0	23.9	26.8	18.3	11.3	9.9	7.0	2.8
	70 歳代	75	9.3	38.7	44.0	32.0	30.7	17.3	14.7	25.3	12.0	5.3	-
	80 歳以上	62	4.8	24.2	71.0	19.4	25.8	27.4	9.7	25.8	14.5	6.5	-
世帯 構成別	ひとり暮らし	69	37.7	37.7	52.2	29.0	8.7	37.7	23.2	20.3	10.1	2.9	-
	ひとり暮らし以外	432	43.3	41.7	31.5	31.5	28.7	22.7	22.2	14.8	14.4	14.1	12.3
就業 状態別	有業	304	64.8	45.4	23.4	32.2	27.6	22.7	28.9	13.5	12.5	16.1	14.1
	無業	196	9.2	34.7	51.5	29.6	23.5	27.0	12.8	19.9	15.8	7.1	4.6
精神 状態別	高い	208	37.0	34.6	27.4	28.8	25.0	15.9	18.3	11.1	12.5	9.1	13.0
	低い	286	49.3	46.9	37.4	33.2	26.2	31.5	25.9	18.9	14.3	15.7	9.4

		回答者数(n)	家族の仕事	こと 恋愛・性に関する	育児	結婚	進学 自分の学業・受験・	離婚	アル・ハラスメント	いじめ、セクシユ	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	9.0	8.6	6.9	4.5	3.5	2.6	2.4	2.0	4.1	0.6	-	
性別	男性	196	9.7	9.7	5.1	3.6	4.1	3.1	3.1	1.0	2.0	0.5	-	
	女性	301	8.3	8.3	7.6	5.0	2.7	2.3	1.7	2.3	5.3	0.7	-	
	その他	2	50.0	-	50.0	50.0	100.0	-	50.0	50.0	50.0	-	-	
年齢別	18・19 歳	8	-	50.0	-	-	87.5	-	-	-	12.5	-	-	
	20 歳代	31	9.7	25.8	16.1	16.1	16.1	-	-	6.5	3.2	-	-	
	30 歳代	62	9.7	24.2	17.7	17.7	3.2	4.8	4.8	8.1	3.2	-	-	
	40 歳代	85	12.9	7.1	18.8	2.4	2.4	2.4	3.5	2.4	3.5	-	-	
	50 歳代	97	9.3	6.2	1.0	3.1	1.0	3.1	3.1	-	1.0	1.0	-	
	60 歳代	71	9.9	2.8	-	-	-	2.8	1.4	-	7.0	-	-	
	70 歳代	75	6.7	2.7	-	1.3	-	1.3	1.3	-	5.3	2.7	-	
	80 歳以上	62	3.2	-	-	-	-	1.6	-	-	4.8	-	-	
世帯 構成別	ひとり暮らし	69	1.4	13.0	-	5.8	1.4	2.9	2.9	-	7.2	2.9	-	
	ひとり暮らし以外	432	10.0	8.1	7.6	4.2	3.7	2.5	2.1	2.1	3.5	0.2	-	
就業 状態別	有業	304	11.2	9.9	9.2	5.9	1.6	2.6	2.6	2.6	2.3	-	-	
	無業	196	5.1	7.1	2.6	2.0	6.1	2.6	1.5	0.5	6.1	1.5	-	
精神 状態別	高い	208	8.2	8.2	9.1	4.8	4.8	1.9	1.4	2.4	3.4	0.5	-	
	低い	286	10.1	9.1	5.6	4.5	2.8	2.8	3.1	1.7	4.5	0.7	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

【最も気になる悩みやストレスの内容(単数選択)】

		回答者数(n)	自分の仕事	収入・家計・借金等	自分の病気や介護	家族との人間関係	家族の病気や介護	生きがいに関する こと	家族以外との人間 関係	住まいや生活環境 (公害、安全及び交通事 情を含む)	家事	自由にできる時間 がないこと	子どもの教育
全体		509	18.1	16.5	12.4	10.4	9.8	5.3	3.3	3.1	1.0	2.2	2.9
性別	男性	196	24.0	19.4	10.2	7.7	8.7	6.6	3.1	3.1	-	1.5	2.6
	女性	301	13.3	15.3	14.3	11.6	11.0	4.7	3.7	3.3	1.7	2.0	3.3
	その他	2	-	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-
年齢別	18・19歳	8	12.5	-	-	12.5	-	-	12.5	-	-	-	-
	20歳代	31	32.3	12.9	3.2	9.7	-	9.7	6.5	3.2	-	-	-
	30歳代	62	29.0	19.4	6.5	4.8	3.2	3.2	3.2	-	-	3.2	3.2
	40歳代	85	34.1	11.8	7.1	8.2	2.4	5.9	2.4	3.5	-	3.5	10.6
	50歳代	97	21.6	19.6	6.2	10.3	19.6	3.1	3.1	2.1	2.1	1.0	3.1
	60歳代	71	11.3	18.3	11.3	19.7	11.3	8.5	5.6	-	1.4	-	1.4
	70歳代	75	1.3	22.7	16.0	12.0	14.7	6.7	4.0	6.7	-	1.3	-
	80歳以上	62	1.6	9.7	37.1	6.5	12.9	3.2	-	6.5	3.2	3.2	-
世帯 構成別	ひとり暮らし	69	17.4	11.6	20.3	10.1	2.9	7.2	-	7.2	-	1.4	-
	ひとり暮らし以外	432	17.6	17.6	11.3	10.6	11.1	5.1	3.7	2.3	1.2	2.1	3.5
就業 状態別	有業	304	27.0	19.4	5.3	10.2	9.9	4.6	3.9	2.3	-	2.0	3.9
	無業	196	3.6	11.7	24.0	11.2	10.2	6.1	2.6	4.6	2.6	1.5	1.5
精神 状態別	高い	208	14.9	15.4	10.6	13.5	10.6	3.4	3.4	3.4	1.4	1.0	4.8
	低い	286	20.6	17.8	13.3	8.4	9.1	7.0	3.5	2.4	0.7	3.1	1.7

		回答者数(n)	家族の仕事	と 恋愛・性に関するこ と	育児	結婚	進学 自分の学業・受験・ 進学	離婚	いじめ、セクシユア ルハラスメント	妊娠・出産	その他	わからない	無回答
全体		509	1.4	1.0	1.2	0.6	1.4	1.2	0.6	0.4	2.8	0.2	4.3
性別	男性	196	1.0	1.5	-	0.5	1.0	1.5	0.5	-	1.5	-	5.6
	女性	301	1.7	0.7	2.0	0.7	1.7	1.0	0.7	0.7	3.3	0.3	3.3
	その他	2	-	-	-	-	-	-	-	-	50.0	-	-
年齢別	18・19歳	8	-	12.5	-	-	37.5	-	-	-	12.5	-	-
	20歳代	31	3.2	6.5	-	-	12.9	-	-	-	-	-	-
	30歳代	62	-	1.6	9.7	3.2	-	3.2	-	3.2	1.6	-	1.6
	40歳代	85	1.2	-	-	1.2	-	1.2	1.2	-	1.2	-	4.7
	50歳代	97	-	-	-	-	-	1.0	1.0	-	1.0	-	5.2
	60歳代	71	1.4	-	-	-	-	1.4	1.4	-	4.2	-	2.8
	70歳代	75	4.0	1.3	-	-	-	-	-	-	4.0	1.3	4.0
	80歳以上	62	1.6	-	-	-	-	-	-	-	4.8	-	9.7
世帯 構成別	ひとり暮らし	69	-	1.4	-	1.4	1.4	1.4	-	-	4.3	1.4	10.1
	ひとり暮らし以外	432	1.6	0.9	1.4	0.5	1.4	1.2	0.7	0.5	2.3	-	3.5
就業 状態別	有業	304	1.3	1.0	1.6	1.0	-	1.0	0.7	0.7	1.0	-	3.3
	無業	196	1.5	1.0	0.5	-	3.6	1.5	0.5	-	5.1	0.5	6.1
精神 状態別	高い	208	1.4	1.4	2.4	0.5	2.9	1.4	-	0.5	2.9	-	4.3
	低い	286	1.4	0.7	0.3	0.7	0.3	1.0	1.0	0.3	2.8	0.3	3.1

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

(3) 悩みやストレスの相談状況

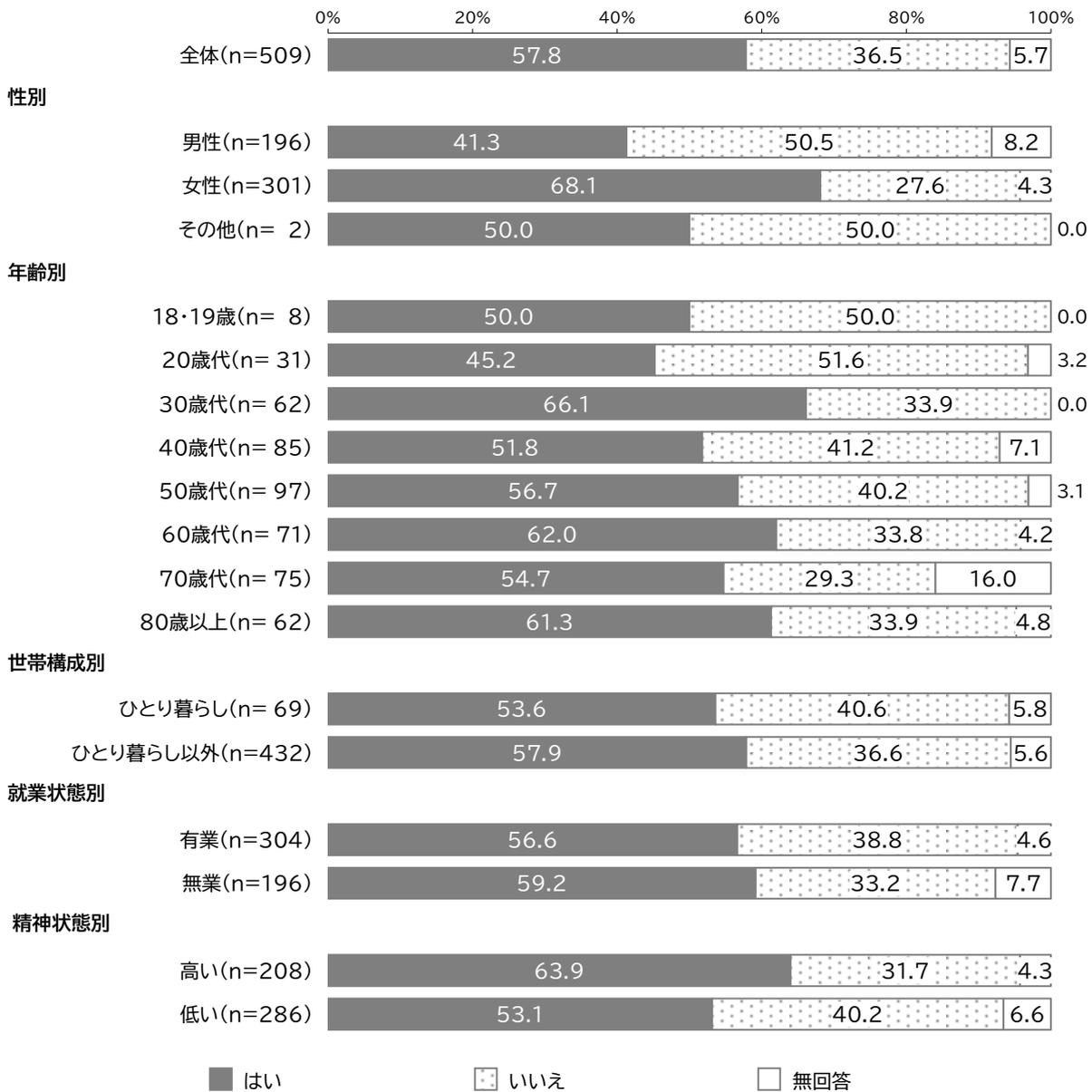
問8 あなたは、問7で回答した悩みやストレスを相談していますか。

悩みやストレスの相談の有無をみると、相談している割合が 57.8%、相談していない割合が 36.5%となっています。

性別にみると、男性の相談している割合が、女性よりも 20 ポイント以上低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の相談している割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 10 ポイント低くなっています。

【悩みやストレスの相談の有無】



(4)悩みやストレスの相談相手

問8で「1. はい」と回答された方にお聞きします。

問9 悩みやストレスを、どのように相談していますか。(〇はいくつでも)

問9-1 問9で回答した中で、最も気になる悩みやストレスについてどのように相談しているのか、あてはまる番号の主なものを2つまで番号記入欄に記入してください。

悩みやストレスの相談相手をみると、「家族に相談している」の割合が 75.2%で最も高く、次いで「友人・知人に相談している」の割合が53.4%、「病院・診療所の医師に相談している」の割合が24.1%、「職場の上司、学校の先生に相談している」の割合が13.6%となっています。最も気になる悩みやストレスの相談相手についても、同様の順番で高くなっています。

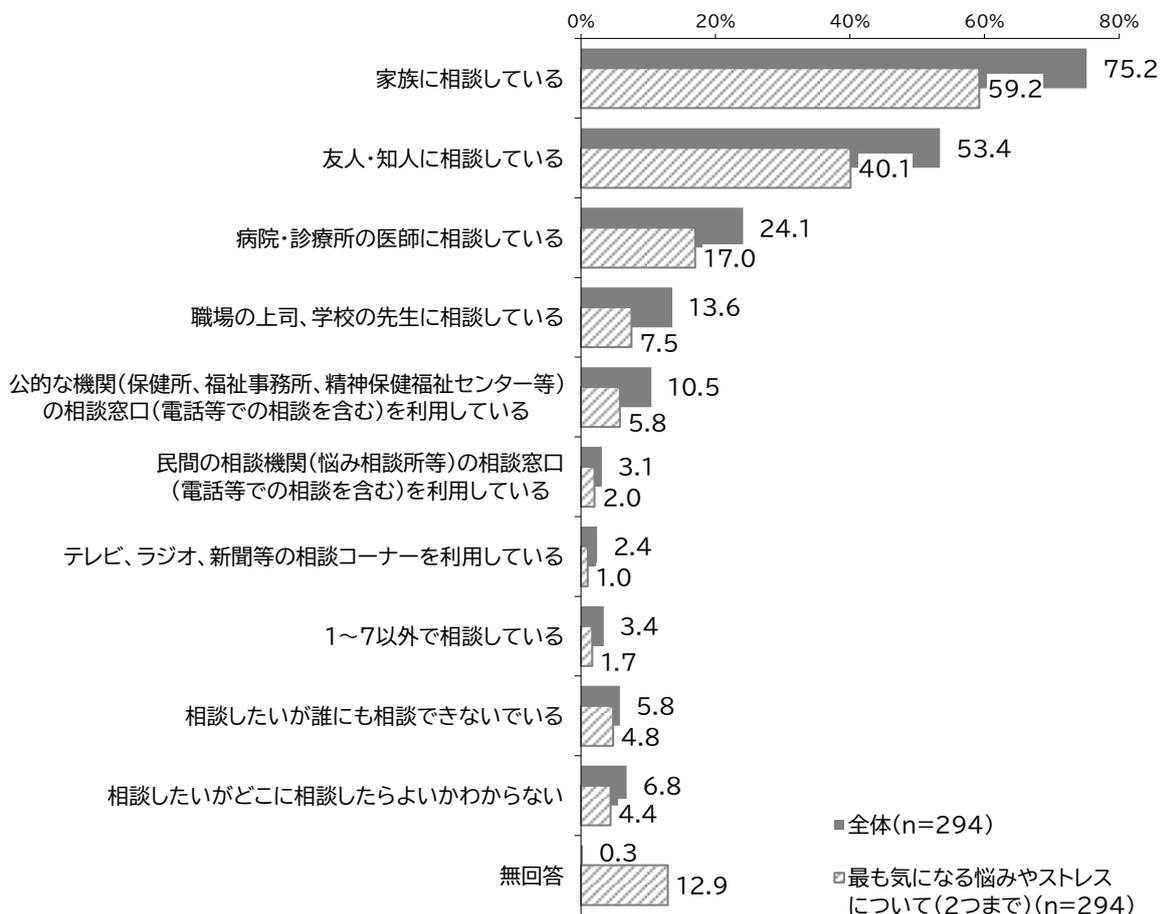
年齢別にみると、30歳代で「友人・知人に相談している」、70歳以上で「病院・診療所の医師に相談している」の割合が、他の年代に比べて高くなっています。

就業状態別にみると、有業者で「友人・知人に相談している」、無業者で「病院・診療所の医師に相談している」と「公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している」の割合が、それぞれ高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが高いグループ」の「友人・知人に相談している」の割合が、「スコアが低いグループ」よりも10ポイント以上高くなっています。

最も気になる悩みやストレスの相談相手でも、同様の傾向です。

【悩みやストレスの相談相手】



【悩みやストレスの相談相手】

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等)での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1～7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できないでいる	相談したいがどこにも相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	75.2	53.4	24.1	13.6	10.5	3.1	2.4	3.4	5.8	6.8	0.3
性別	男性	81	70.4	43.2	33.3	14.8	6.2	6.2	2.5	4.9	4.9	9.9	1.2
	女性	205	77.6	57.1	21.0	13.2	12.2	1.5	2.0	2.0	5.9	5.4	-
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	100.0	100.0	100.0	-
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	50.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	85.7	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	80.5	70.7	14.6	24.4	9.8	2.4	-	7.3	2.4	4.9	-
	40歳代	44	77.3	52.3	20.5	22.7	6.8	2.3	2.3	-	6.8	4.5	-
	50歳代	55	74.5	60.0	20.0	12.7	5.5	1.8	5.5	5.5	5.5	3.6	1.8
	60歳代	44	75.0	61.4	22.7	9.1	9.1	4.5	-	2.3	-	9.1	-
	70歳代	41	70.7	41.5	39.0	4.9	14.6	7.3	2.4	-	4.9	12.2	-
	80歳以上	38	73.7	18.4	42.1	5.3	23.7	2.6	5.3	2.6	13.2	10.5	-
世帯構成別	ひとり暮らし	37	54.1	54.1	27.0	10.8	18.9	8.1	8.1	-	5.4	13.5	2.7
	ひとり暮らし以外	250	78.8	53.2	24.4	14.0	9.6	2.4	1.6	3.2	5.6	5.6	-
就業状態別	有業	172	79.7	59.3	15.7	19.8	4.7	2.9	1.2	2.9	2.9	5.8	-
	無業	116	69.8	44.8	37.9	4.3	19.8	3.4	4.3	2.6	9.5	7.8	0.9
精神状態別	高い	133	78.9	61.7	20.3	14.3	13.5	3.0	2.3	3.0	0.8	3.0	-
	低い	152	73.0	48.0	27.0	13.8	7.2	3.3	2.0	3.9	9.2	9.9	0.7

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

【最も気になる悩みやストレスの相談相手(2つまで)】

		回答者数(n)	家族に相談している	友人・知人に相談している	病院・診療所の医師に相談している	職場の上司、学校の先生に相談している	公的な機関(保健所、福祉事務所、精神保健福祉センター等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	民間の相談機関(悩み相談所等)の相談窓口(電話等での相談を含む)を利用している	テレビ、ラジオ、新聞等の相談コーナーを利用している	1～7以外で相談している	相談したいが誰にも相談できない	相談したいがどこに相談したらよいかわからない	無回答
全体		294	59.2	40.1	17.0	7.5	5.8	2.0	1.0	1.7	4.8	4.4	12.9
性別	男性	81	53.1	28.4	22.2	4.9	1.2	3.7	-	3.7	3.7	6.2	19.8
	女性	205	62.0	44.4	15.6	8.3	7.3	1.5	1.5	1.0	5.4	3.9	9.8
	その他	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0
年齢別	18・19歳	4	50.0	75.0	-	25.0	-	-	-	-	25.0	-	-
	20歳代	14	92.9	71.4	7.1	14.3	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	41	65.9	53.7	4.9	12.2	2.4	2.4	-	2.4	2.4	4.9	9.8
	40歳代	44	63.6	40.9	13.6	11.4	2.3	2.3	2.3	-	6.8	2.3	15.9
	50歳代	55	60.0	49.1	10.9	5.5	5.5	-	3.6	3.6	5.5	1.8	12.7
	60歳代	44	63.6	50.0	13.6	9.1	4.5	2.3	-	2.3	-	4.5	4.5
	70歳代	41	48.8	29.3	36.6	2.4	9.8	7.3	-	-	2.4	9.8	7.3
	80歳以上	38	44.7	-	31.6	-	10.5	-	-	2.6	10.5	7.9	34.2
世帯構成別	ひとり暮らし	37	37.8	32.4	13.5	8.1	13.5	5.4	2.7	-	5.4	10.8	24.3
	ひとり暮らし以外	250	63.2	40.8	18.0	7.6	4.8	1.6	0.8	2.0	4.8	3.6	10.4
就業状態別	有業	172	64.5	48.8	11.0	11.0	1.2	2.3	1.2	1.7	2.9	3.5	11.0
	無業	116	52.6	26.7	26.7	2.6	12.9	1.7	0.9	1.7	7.8	6.0	14.7
精神状態別	高い	133	63.9	47.4	14.3	7.5	9.0	2.3	0.8	1.5	0.8	2.3	6.8
	低い	152	56.6	35.5	19.1	7.9	2.6	2.0	1.3	2.0	7.2	5.9	17.1

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

(5)インターネットの利用状況

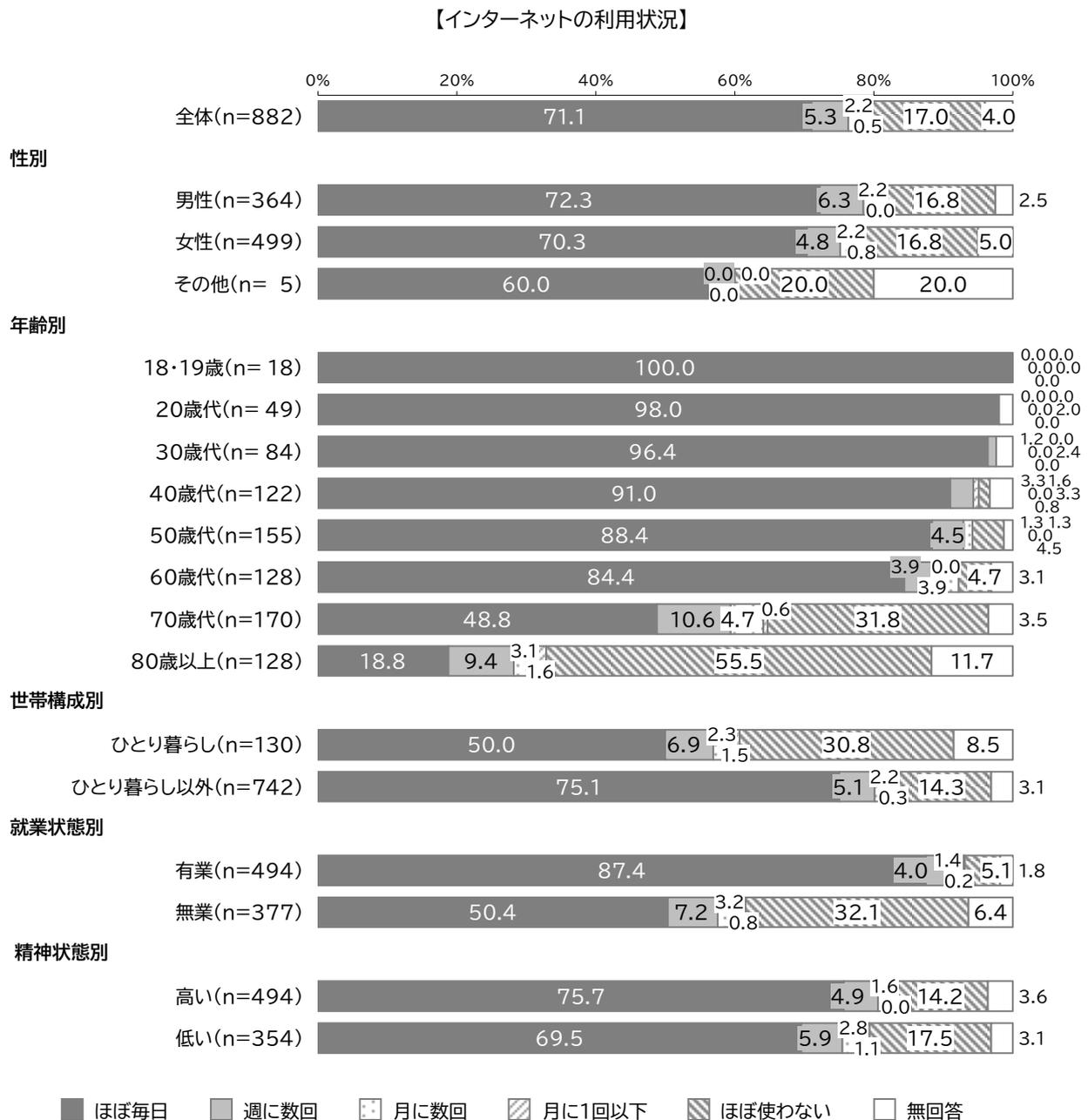
問10 あなたは、インターネットをどのくらい使っていますか。スマートフォン、パソコン、タブレットなどでの利用を含みます。(〇は1つ)

インターネットの利用状況を見ると、「ほぼ毎日」の割合が71.1%で最も高く、次いで「ほぼ使わない」の割合が17.0%、「週に数回」の割合が5.3%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「ほぼ使わない」の割合は高くなる傾向にあります。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「ほぼ使わない」の割合が約3割となっています。

就業状態別にみると、無業者で「ほぼ使わない」の割合が3割台となっています。



(6)インターネットを介したコミュニケーションの頻度

問10で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

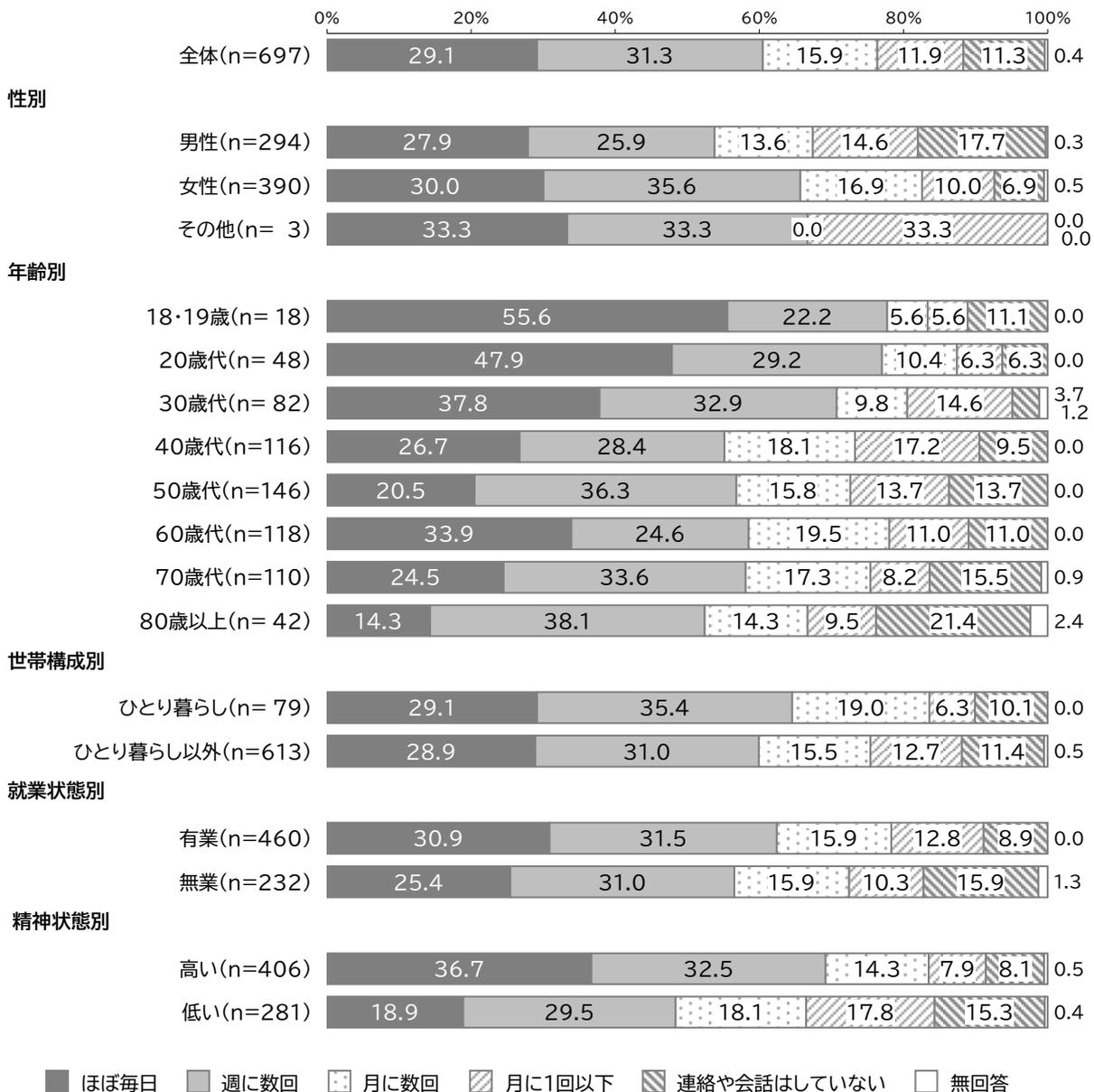
問10-1 あなたは、インターネットを介して、友人や仲間とどのくらいの頻度で連絡したり、会話したりしますか。(〇は1つ)

インターネットを介したコミュニケーションの頻度をみると、「週に数回」の割合が 31.3%で最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が 29.1%、「月に数回」の割合が 15.9%、「月に1回以下」の割合が 11.9%となっています。「ほぼ毎日」と「週に数回」と「月に数回」をあわせた“月に数回以上交流をする”の割合は、4人に3人程度となっています。

性別にみると、男性の“月に数回以上交流をする”の割合が、女性よりも 15.1 ポイント低くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“月に数回以上交流をする”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 17.0 ポイント低くなっています。

【インターネットを介したコミュニケーションの頻度】



(7)インターネットを介した悩みの相談状況

問10-1で、「1. ほぼ毎日」「2. 週に数回」「3. 月に数回」「4. 月に1回以下」と回答された方にお聞きします。

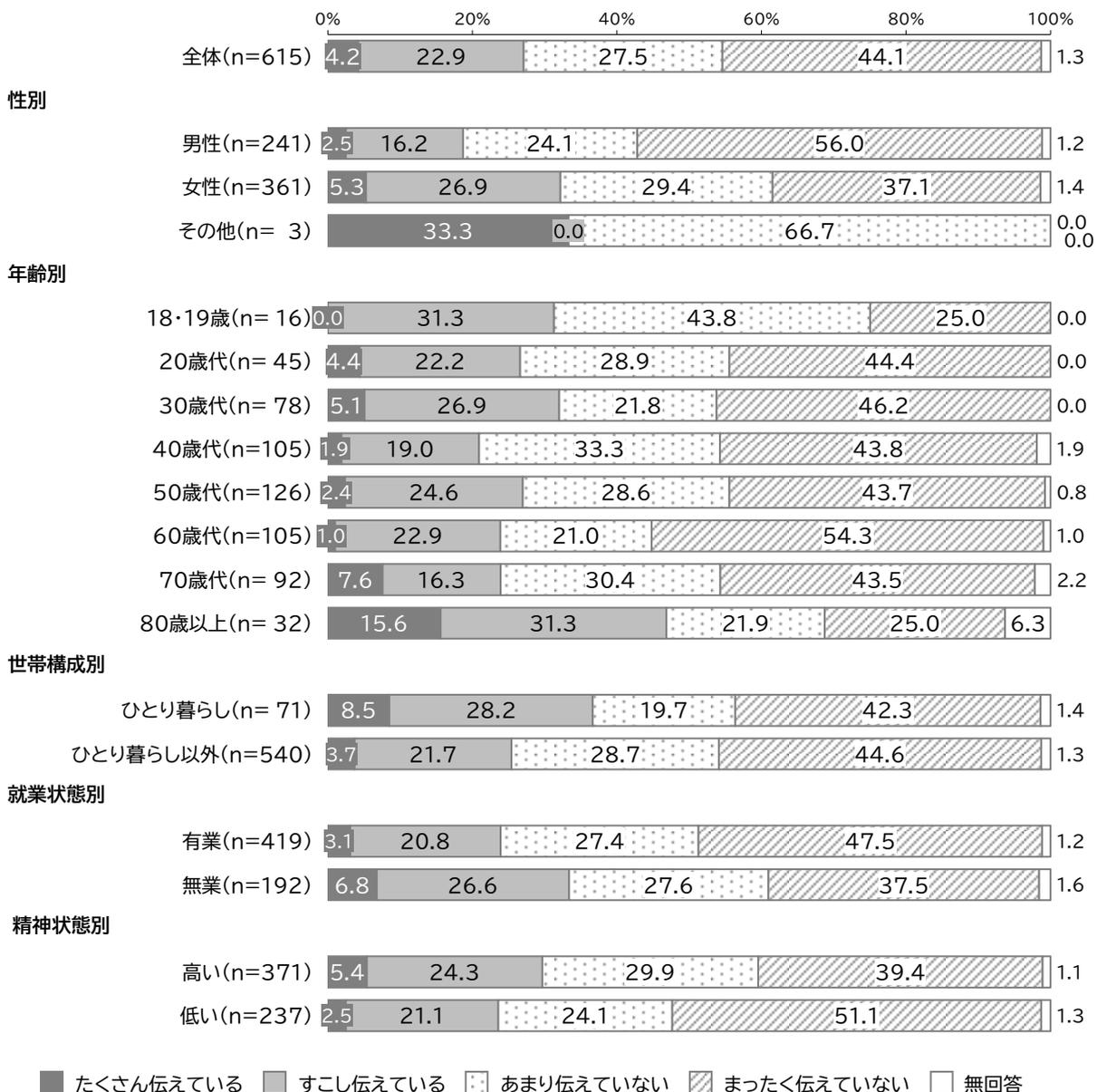
問10-2 あなたは、あなた自身の悩みを、インターネットを介してどのくらい伝えていますか。(〇は1つ)

インターネットを介した悩みの相談状況を見ると、「まったく伝えていない」の割合が44.1%で最も高く、次いで「あまり伝えていない」の割合が27.5%、「すこし伝えている」の割合が22.9%となっています。「たくさん伝えている」と「すこし伝えている」をあわせた“伝えている”の割合が27.1%となっています。

年齢別にみると、80歳以上で“伝えている”の割合が46.9%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“伝えている”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも10ポイント以上高くなっています。

【インターネットを介した悩みの相談状況】

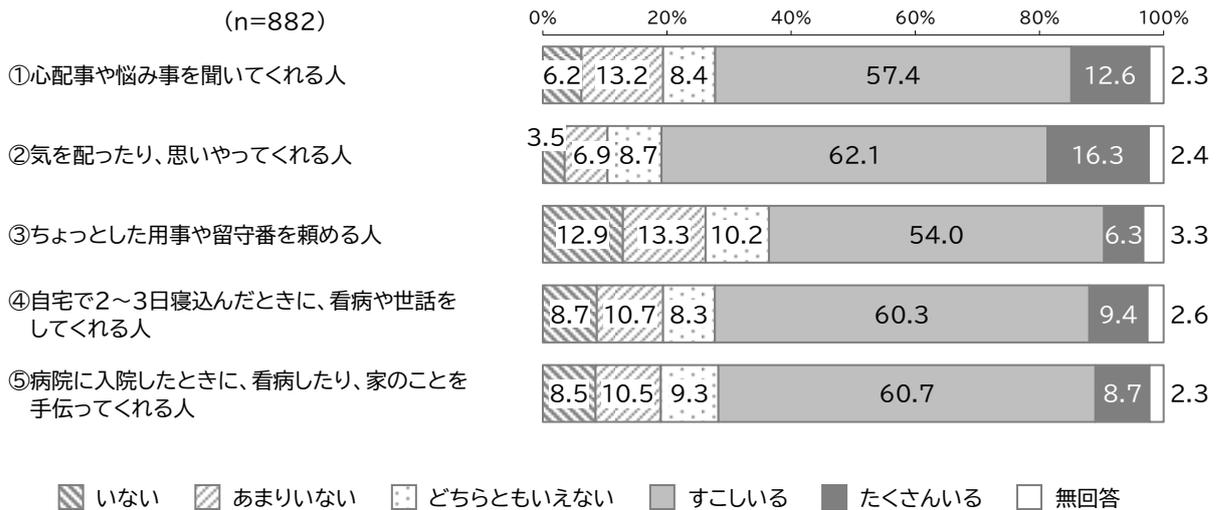


(8) ソーシャルサポート

問11 あなたには、次のような人はいますか。(①から⑤について、それぞれ〇は1つ)

社会的関係の中でやりとりされる支援(ソーシャルサポート)をみると、どの項目も「いない」と「あまりいない」をあわせた“そのような人はいない”の割合が1~2割台となっており、「③ちょっとした用事や留守番を頼める人」の割合は26.2%となっています。

【ソーシャルサポート】



①心配事や悩み事を聞いてくれる人

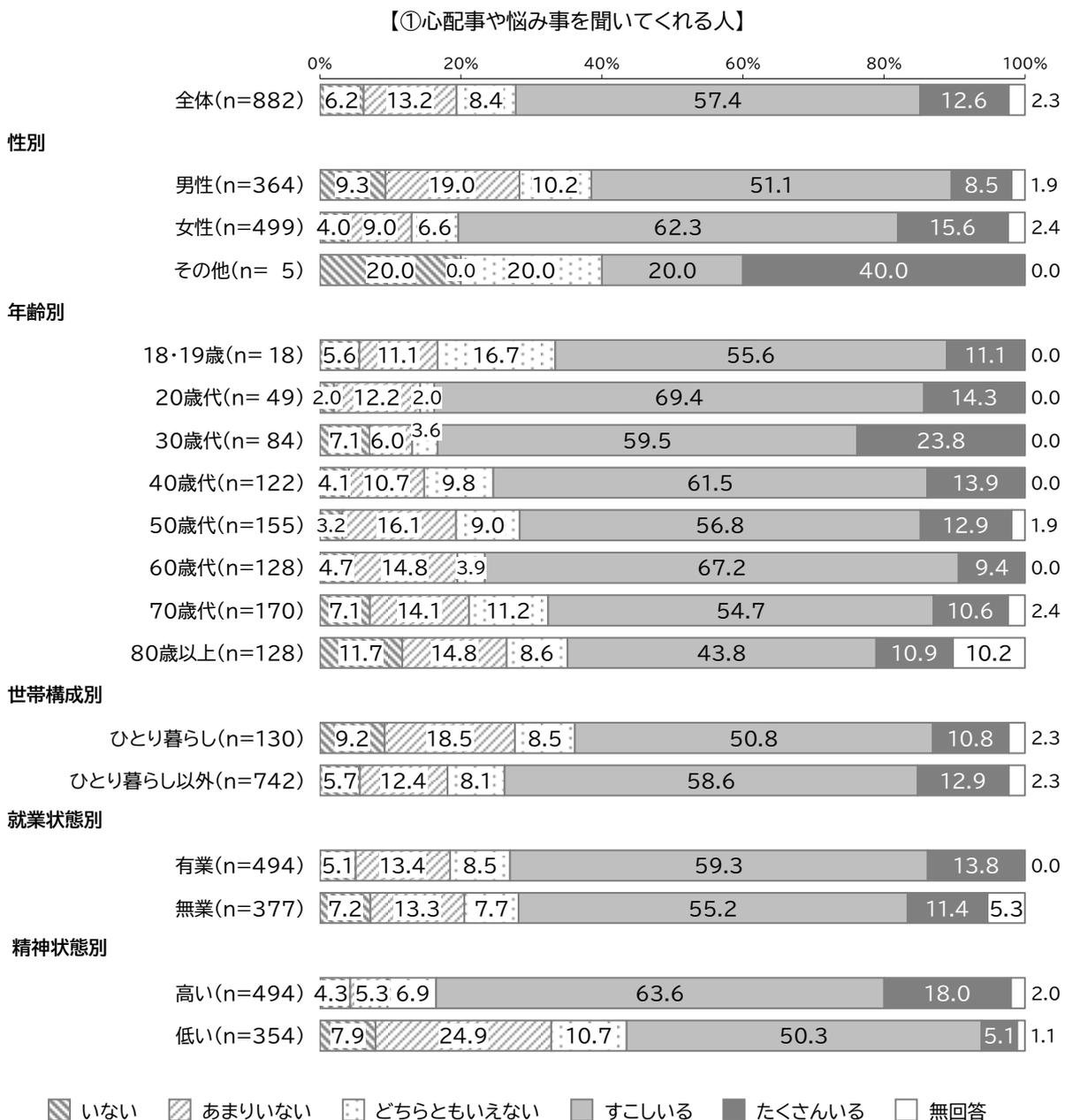
心配事や悩み事を聞いてくれる人について、「すこしいる」の割合が 57.4%で最も高く、次いで「あまりいない」の割合が 13.2%、「たくさんいる」の割合が 12.6%、「どちらともいえない」の割合が 8.4%となっています。「そのような人はいない」の割合が 19.4%となっています。

性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そのような人はいない”の割合は高くなる傾向にあり、70 歳以上で2割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そのような人はいない”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 20 ポイント以上高くなっています。



②気を配ったり、思いやってくれる人

気を配ったり、思いやってくれる人について、「すこしいる」の割合が 62.1%で最も高く、次いで「たくさんいる」の割合が 16.3%、「どちらともいえない」の割合が 8.7%、「あまりいない」の割合が 6.9%となっています。“そのような人はいない”の割合が 10.4%となっています。

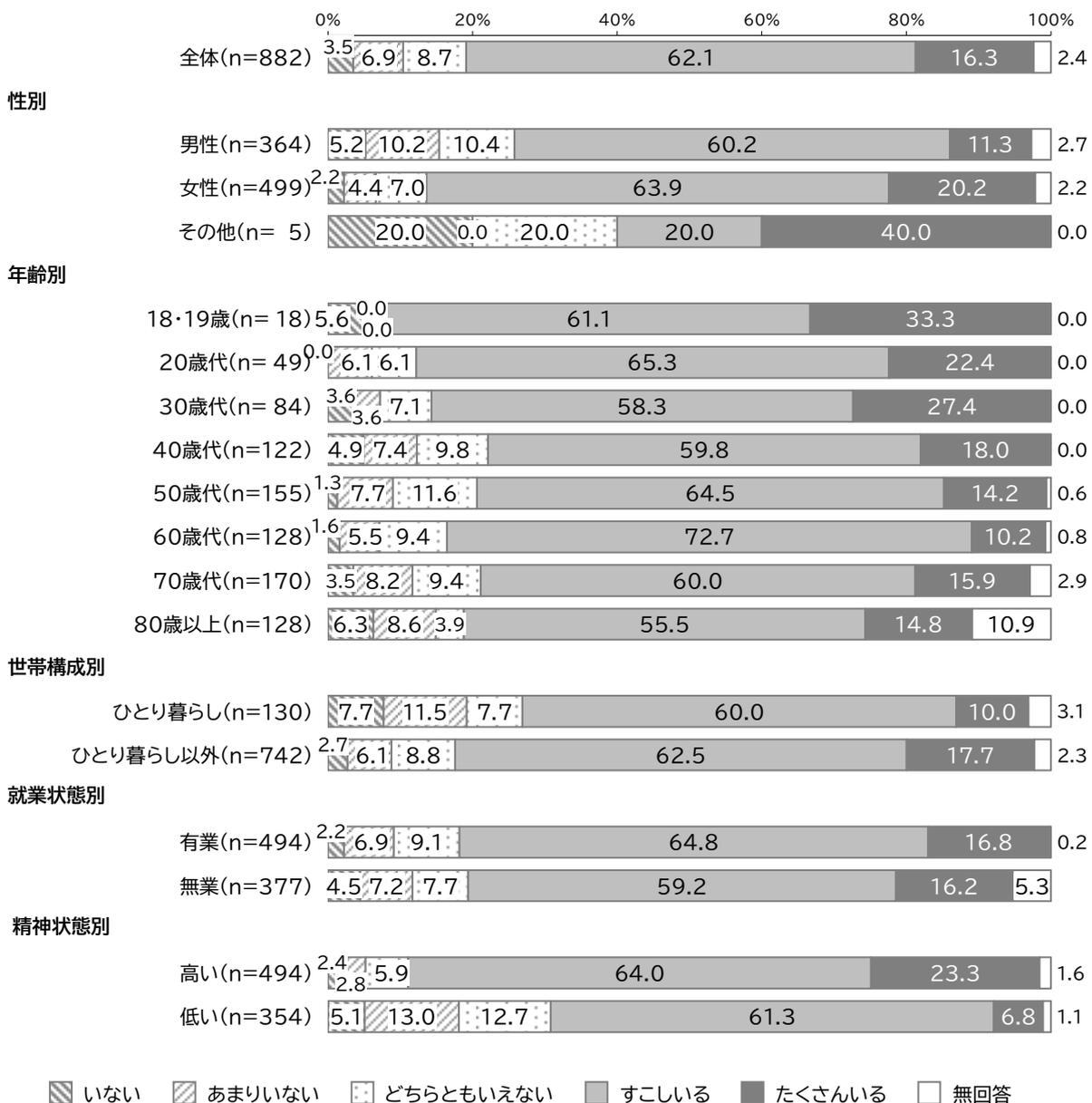
性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも 8.8 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど“そのような人はいない”の割合は高くなる傾向にあり、80 歳以上で 14.9%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そのような人はいない”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【②気を配ったり、思いやってくれる人】



③ちょっとした用事や留守番を頼める人

ちょっとした用事や留守番を頼める人について、「すこしいる」の割合が 54.0%で最も高く、次いで「あまりいない」の割合が 13.3%、「いない」の割合が 12.9%、「どちらともいえない」の割合が 10.2%、「たくさんいる」の割合が 6.3%となっています。“そのような人はいない”の割合が 26.2%となっています。

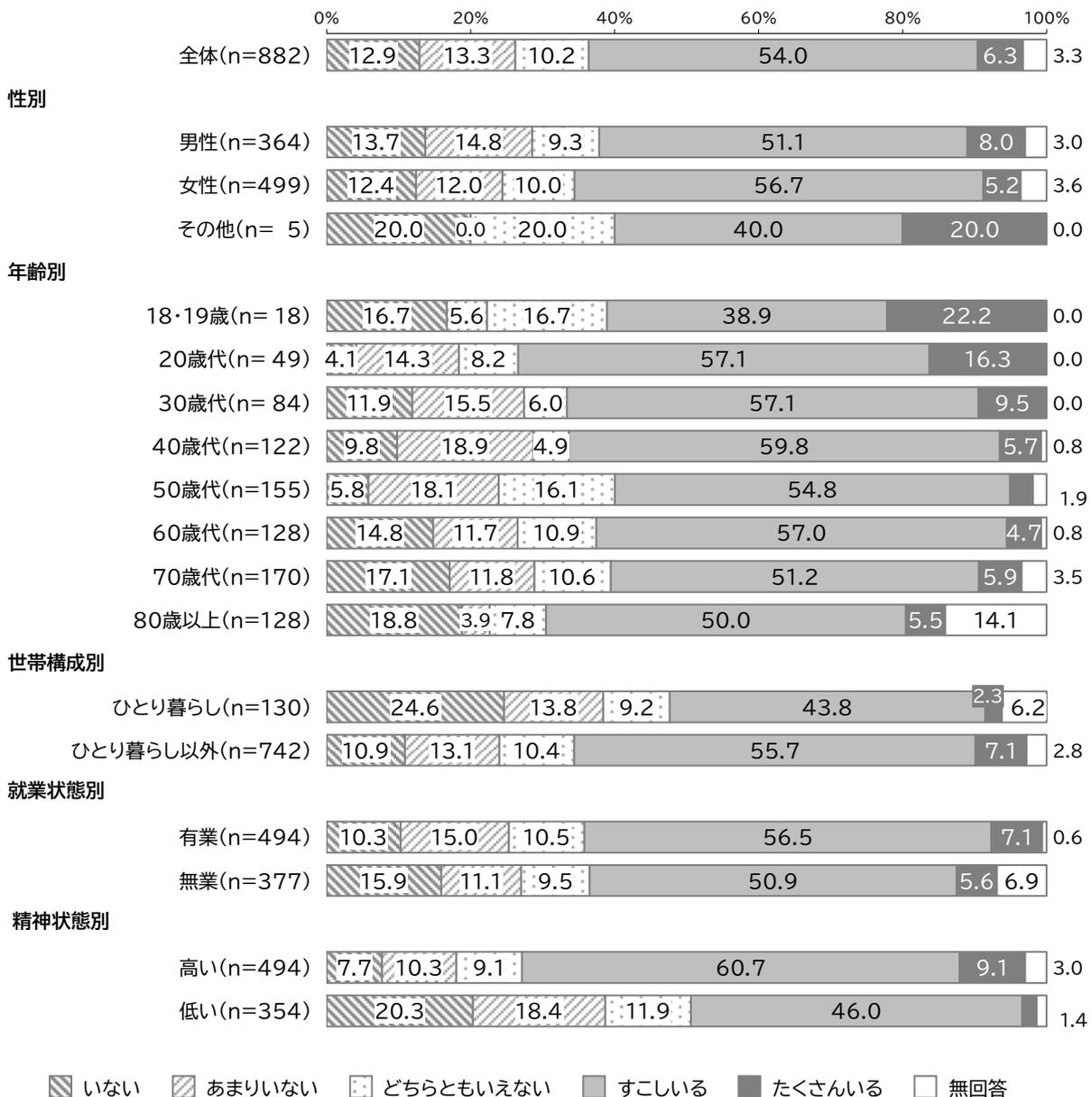
性別にみると、男性の“そのような人はいない”の割合が、女性よりも 4.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そのような人はいない”の割合が2割程度と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 15 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そのような人はいない”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 20 ポイント高くなっています。

【③ちょっとした用事や留守番を頼める人】



④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人

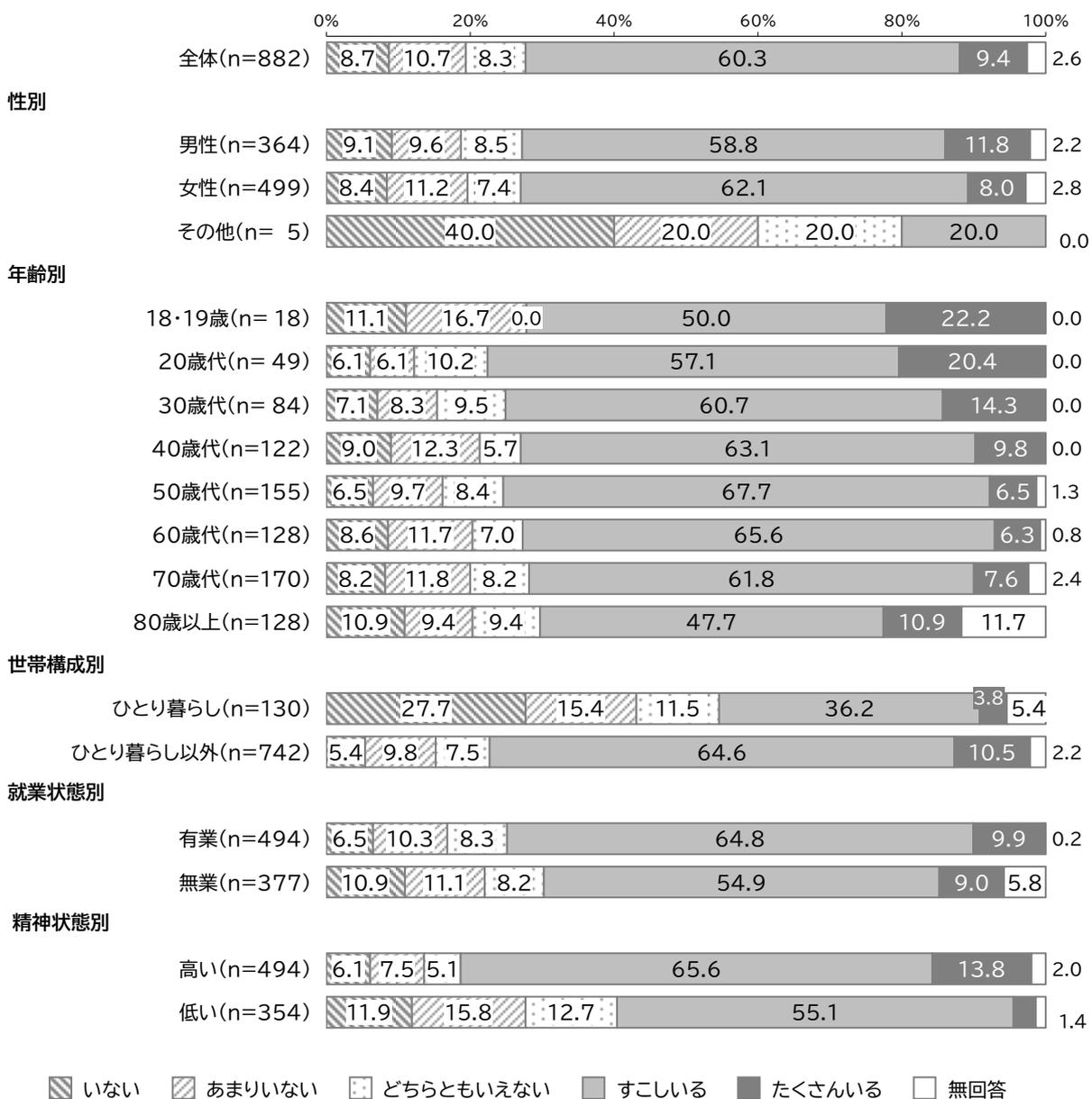
自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人について、「すこしいる」の割合が 60.3%で最も高く、次いで「あまりいない」の割合が 10.7%、「たくさんいる」の割合が 9.4%、「いない」の割合が 8.7%、「どちらともいえない」の割合が 8.3%となっています。“そのような人はいない”の割合が 19.4%となっています。

年齢別にみると、18・19歳で“そのような人はいない”の割合が 27.8%と、他の年代に比べて高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 25 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そのような人はいない”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【④自宅で2～3日寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人】



⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人

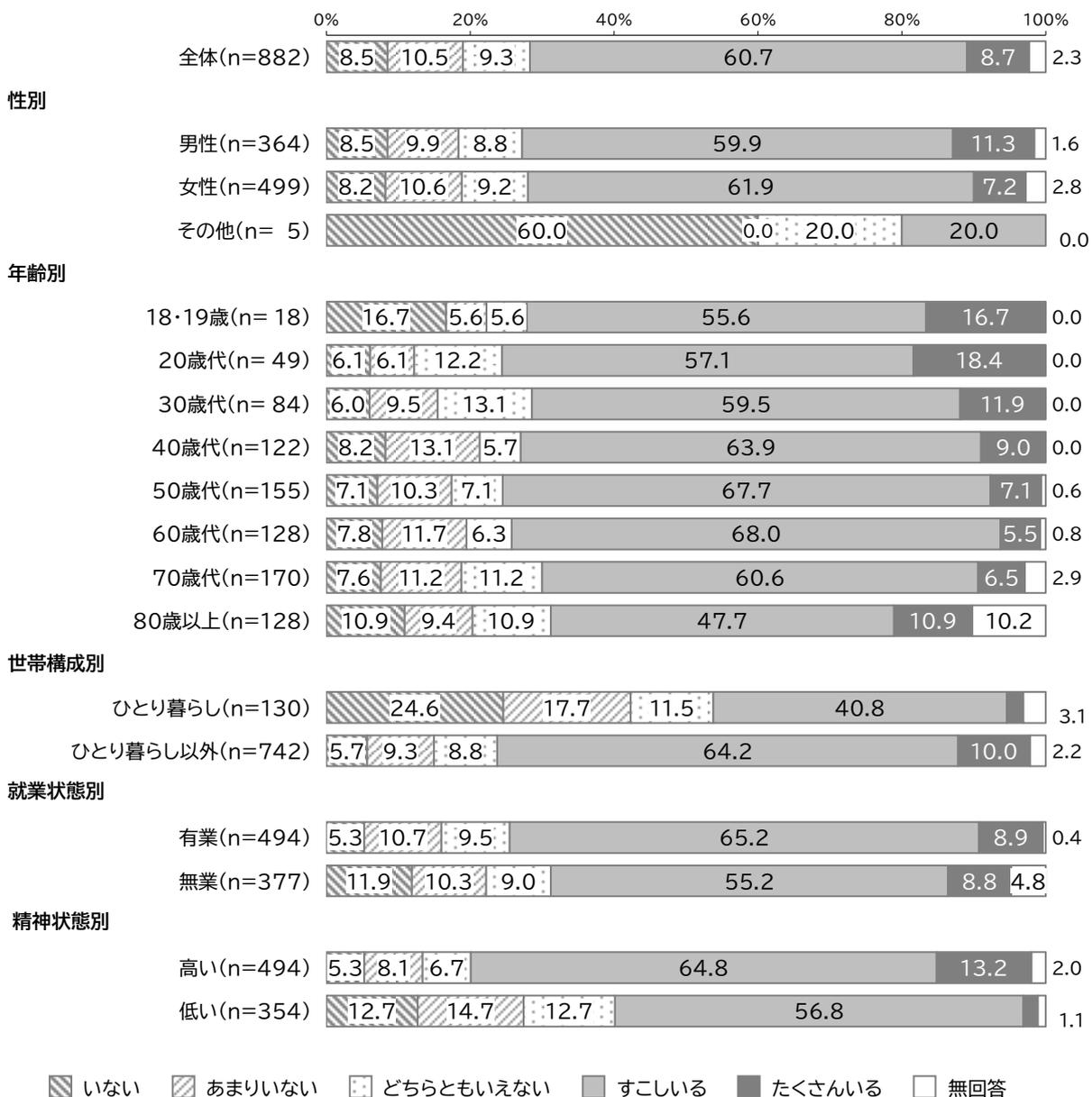
病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人について、「すこしいる」の割合が 60.7%で最も高く、次いで「あまりいない」の割合が 10.5%、「どちらともいえない」の割合が 9.3%、「たくさんいる」の割合が 8.7%、「いない」の割合が 8.5%となっています。“そのような人はいない”の割合が 19.0%となっています。

年齢別にみると、20 歳代で“そのような人はいない”の割合が 12.2%と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“そのような人はいない”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 25 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“そのような人はいない”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも約 15 ポイント高くなっています。

【⑤病院に入院したときに、看病したり、家のことを手伝ってくれる人】

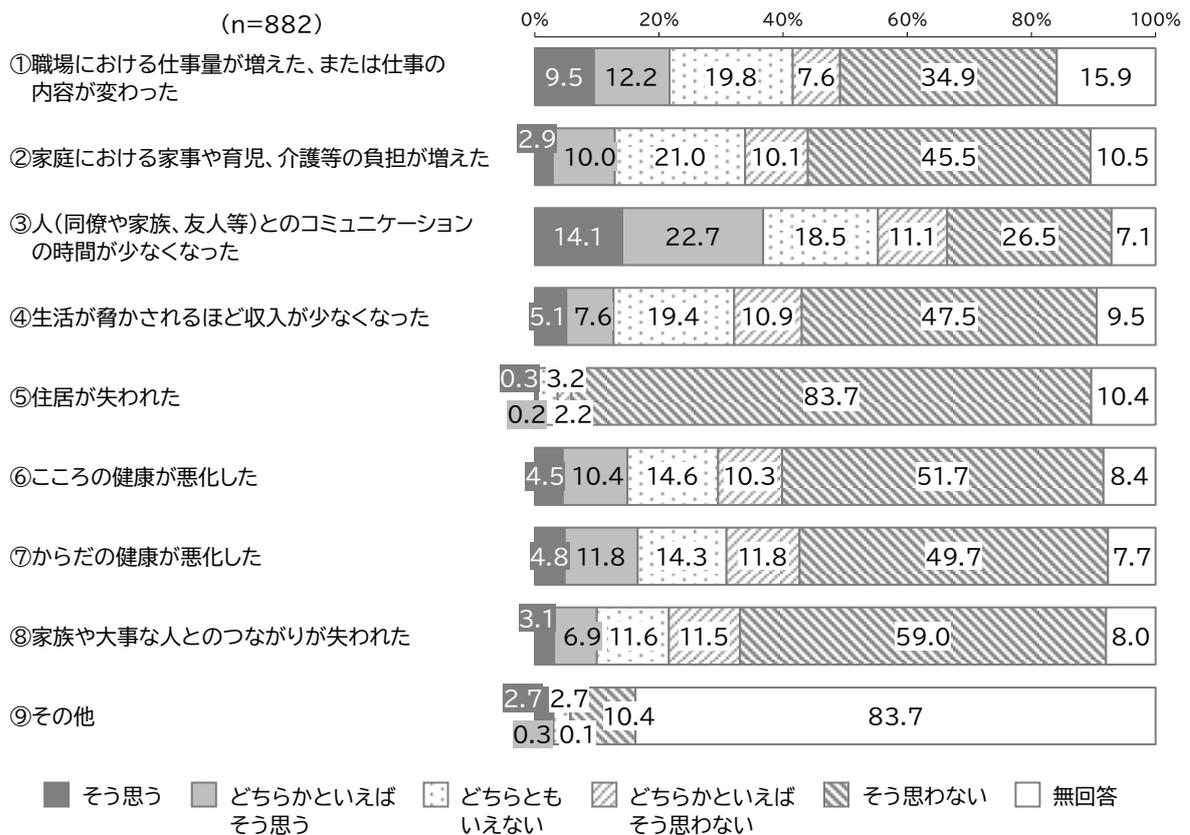


(9)新型コロナウイルス感染症流行による影響

問12 新型コロナウイルス感染症の流行以降に、あなたの生活に起こった変化について最も合うものを教えてください。(①から⑨について、それぞれ〇は1つ)

新型コロナウイルス感染症流行による影響をみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“変化があった”の割合が「③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった」で 36.8%、「①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった」で 21.7%となっています。

【新型コロナウイルス感染症流行による影響】



①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった

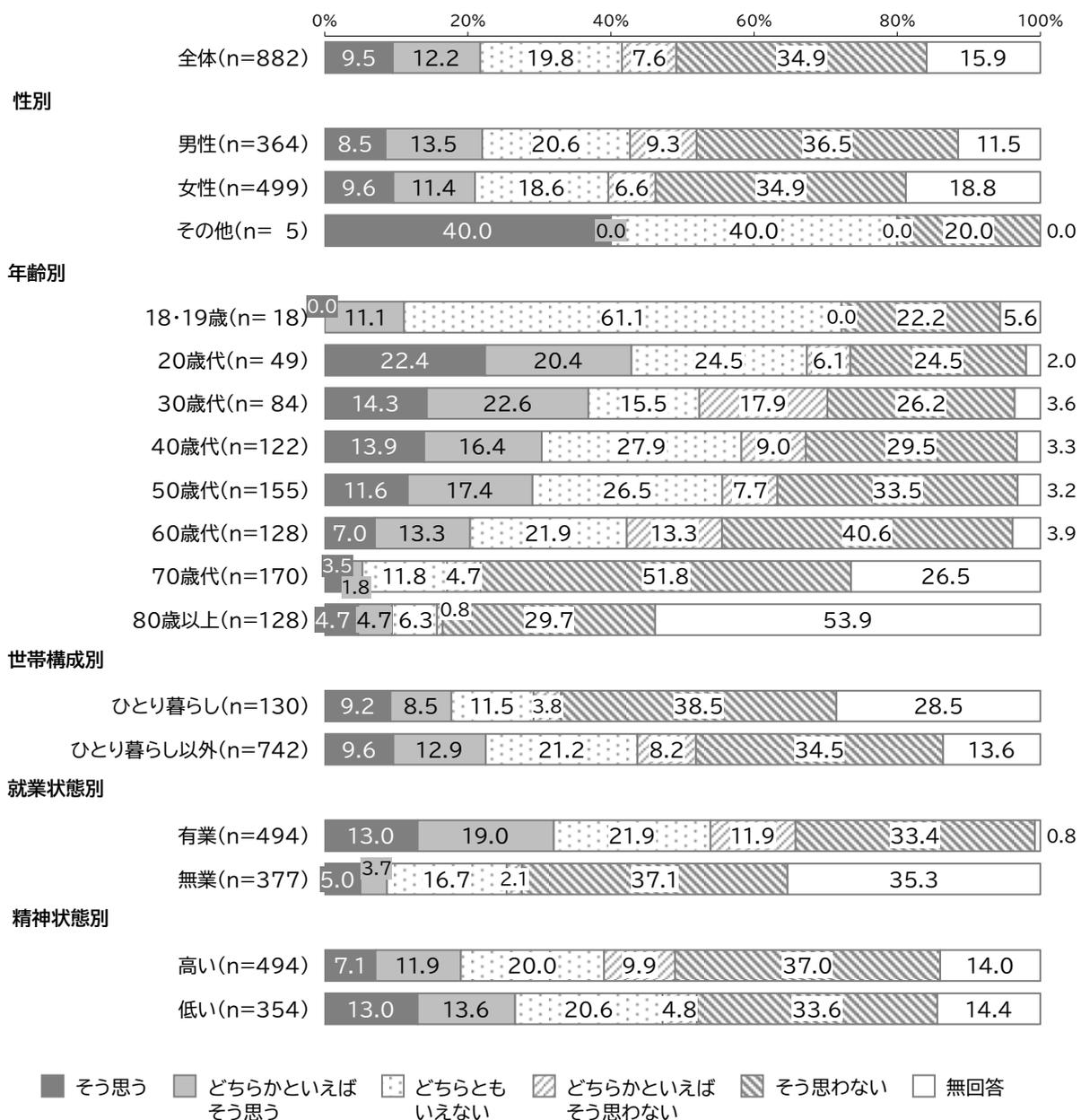
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わったことについて、「そう思わない」の割合が 34.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 19.8%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 12.2%、「そう思う」の割合が 9.5%となっています。“変化があった”の割合が 21.7%となっています。

年齢別にみると、“変化があった”の割合は 20 歳代～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で4割程度となっています。

就業状態別にみると、有業者の“変化があった”の割合が、無業者よりも 20 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 7.6 ポイント高くなっています。

【①職場における仕事量が増えた、または仕事の内容が変わった】



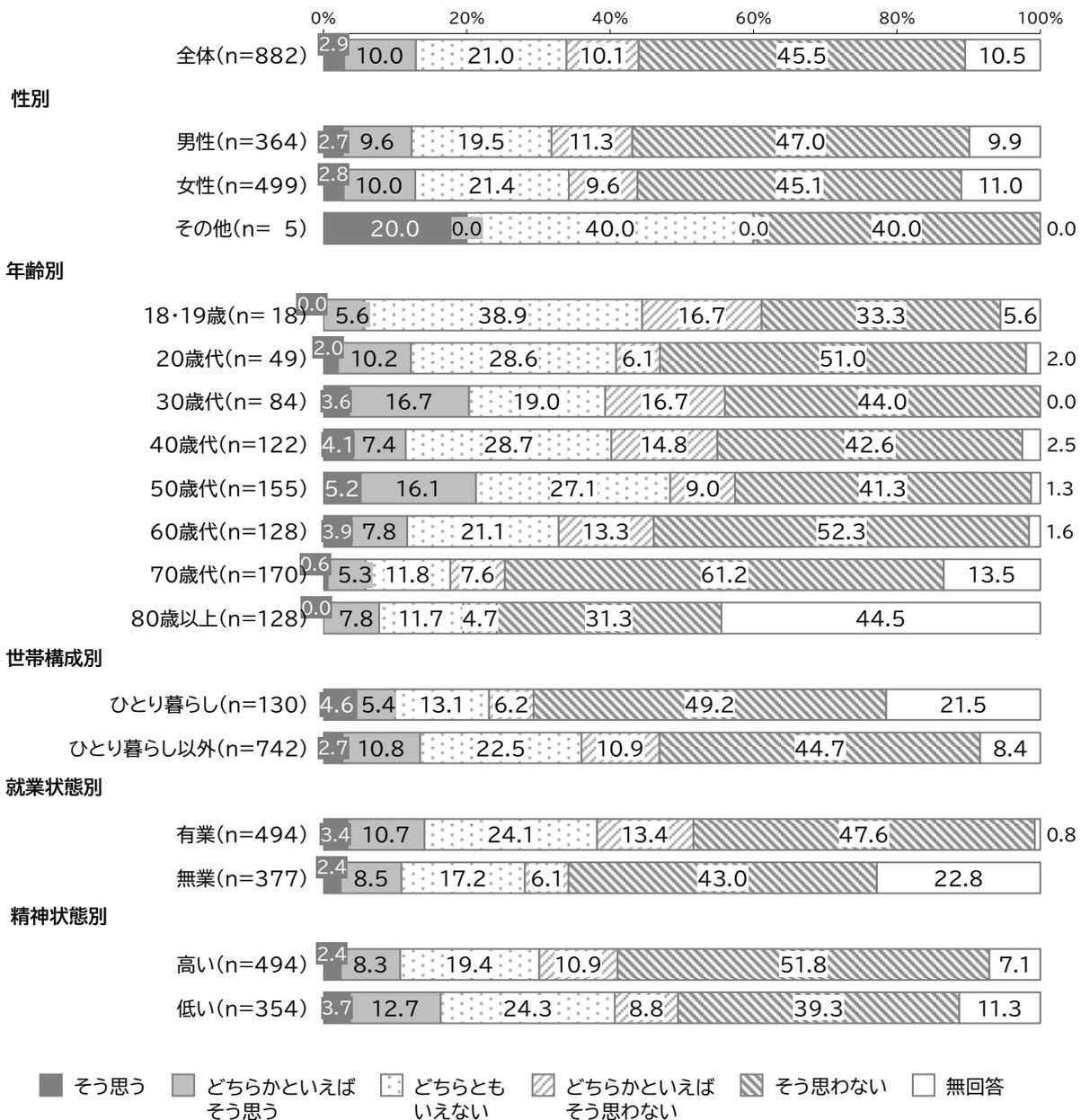
②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、家庭における家事や育児、介護等の負担が増えたことについて、「そう思わない」の割合が 45.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 21.0%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 10.1%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 10.0%となっています。“変化があった”の割合が 12.9%となっています。

年齢別にみると、30歳代と50歳代で“変化があった”の割合が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 5.7ポイント高くなっています。

【②家庭における家事や育児、介護等の負担が増えた】



③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった

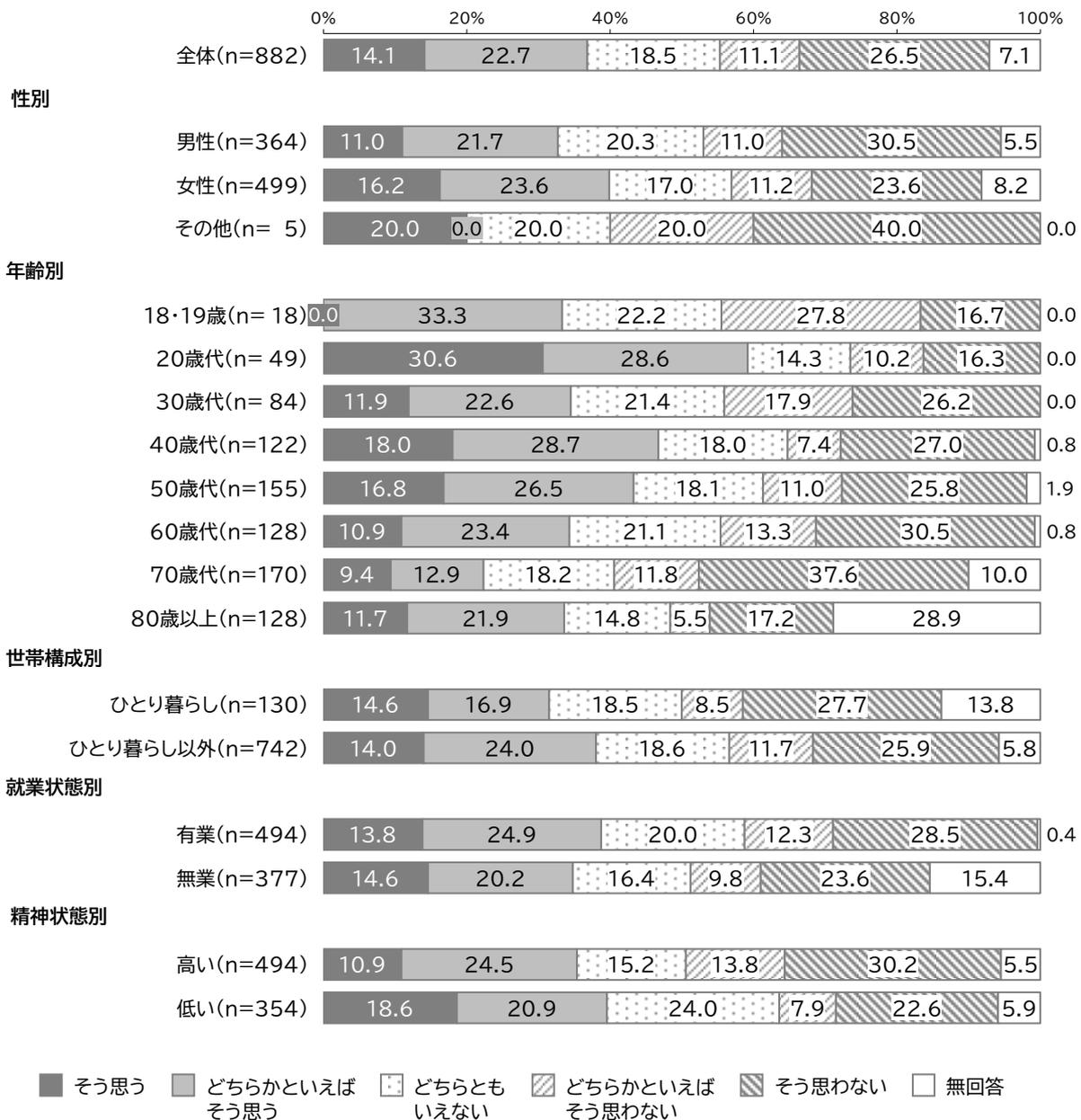
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなったことについて、「そう思わない」の割合が 26.5%で最も高く、次いで「どちらかといえばそう思う」の割合が 22.7%、「どちらともいえない」の割合が 18.5%、「そう思う」の割合が 14.1%となっています。“変化があった”の割合が 36.8%となっています。

性別にみると、女性の“変化があった”の割合が、男性よりも 7.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で“変化があった”の割合が6割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「どちらともいえない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 8.8 ポイント高くなっています。

【③人(同僚や家族、友人等)とのコミュニケーションの時間が少なくなった】



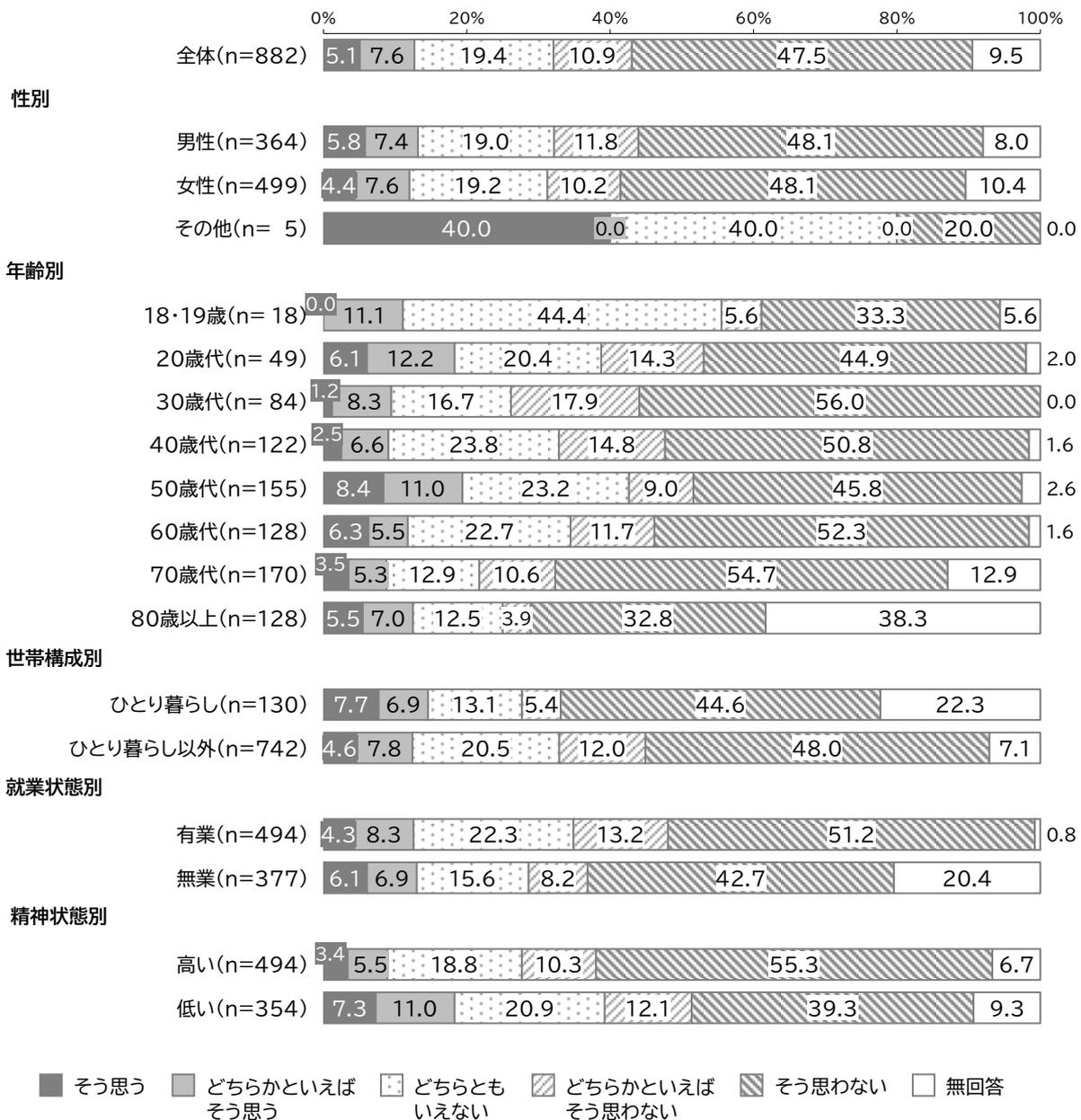
④生活が脅かされるほど収入が少なくなった

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、生活が脅かされるほど収入が少なくなったことについて、「そう思わない」の割合が 47.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 19.4%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 10.9%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 7.6%となっています。“変化があった”の割合が 12.7%となっています。

年齢別にみると、20歳代と50歳代で“変化があった”の割合が2割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも9.4ポイント高くなっています。

【④生活が脅かされるほど収入が少なくなった】

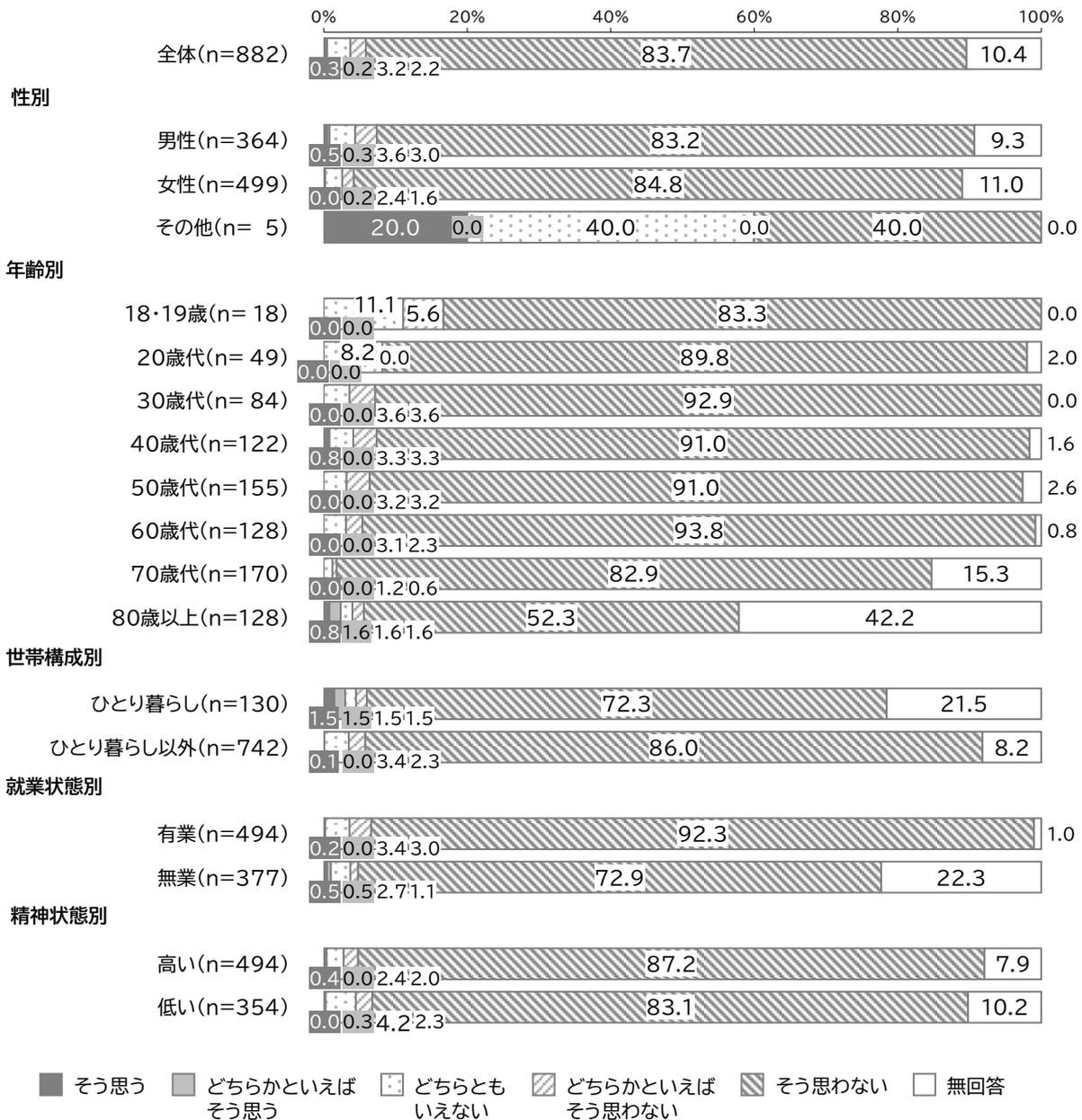


⑤住居が失われた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、住居が失われたことについて、「そう思わない」の割合が83.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が3.2%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が2.2%、「そう思う」の割合が0.3%となっています。“変化があった”の割合は0.5%と少数です。

各属性別で、“変化があった”の割合に大きな差はみられません。

【⑤住居が失われた】



⑥こころの健康が悪化した

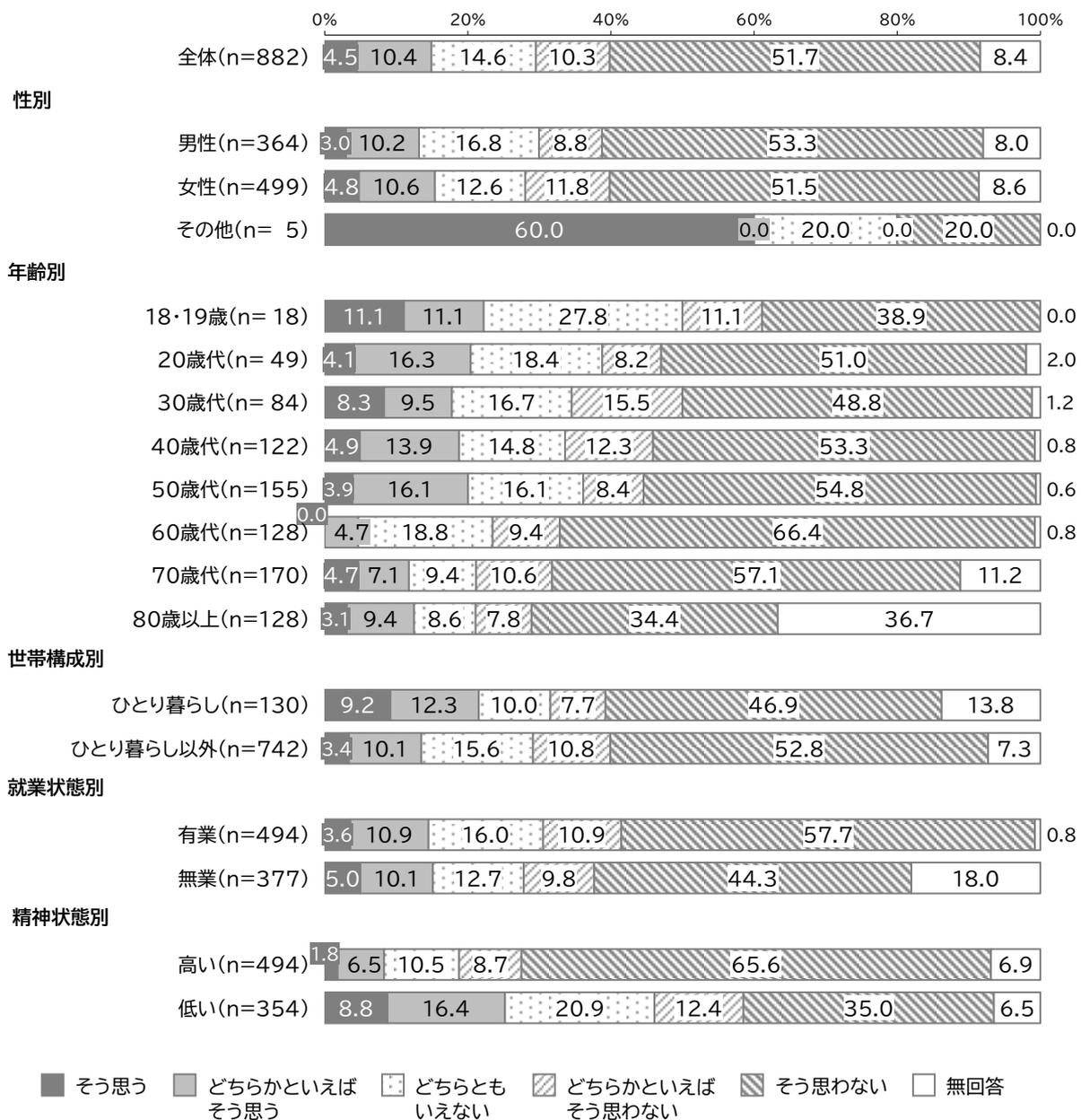
新型コロナウイルス感染症流行による影響で、こころの健康が悪化したことについて、「そう思わない」の割合が 51.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 14.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 10.4%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 10.3%となっています。“変化があった”の割合が 14.9%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“変化があった”の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で 22.2%となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の“変化があった”の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.0 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 15 ポイント以上高くなっています。

【⑥こころの健康が悪化した】



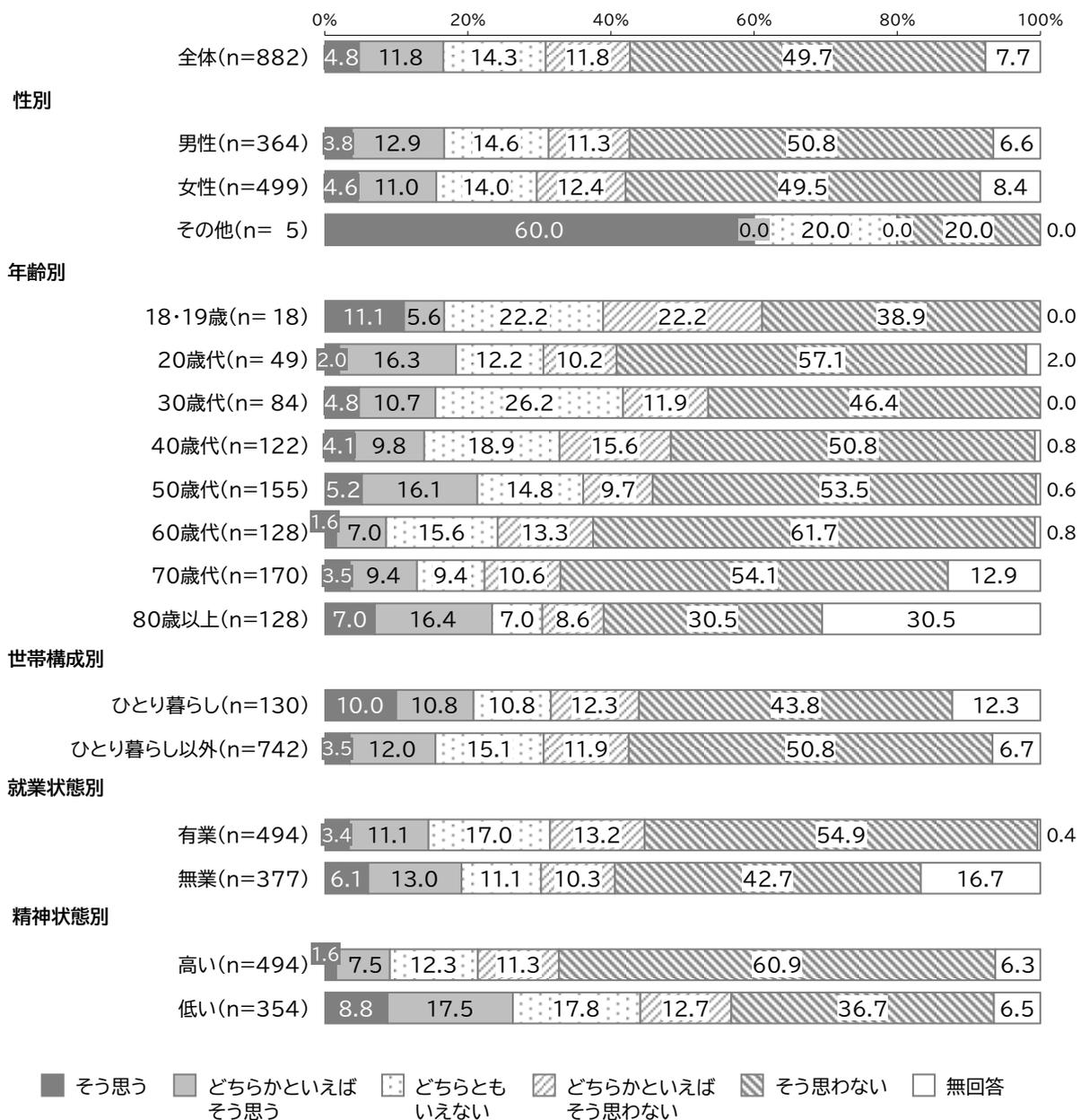
⑦からだの健康が悪化した

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、からだの健康が悪化したことについて、「そう思わない」の割合が49.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が14.3%、「どちらかといえばそう思う」と「どちらかといえばそう思わない」で回答した割合がともに11.8%となっています。“変化があった”の割合が16.6%となっています。

年齢別にみると、50歳代と80歳以上で“変化があった”の割合が2割台と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも15ポイント以上高くなっています。

【⑦からだの健康が悪化した】



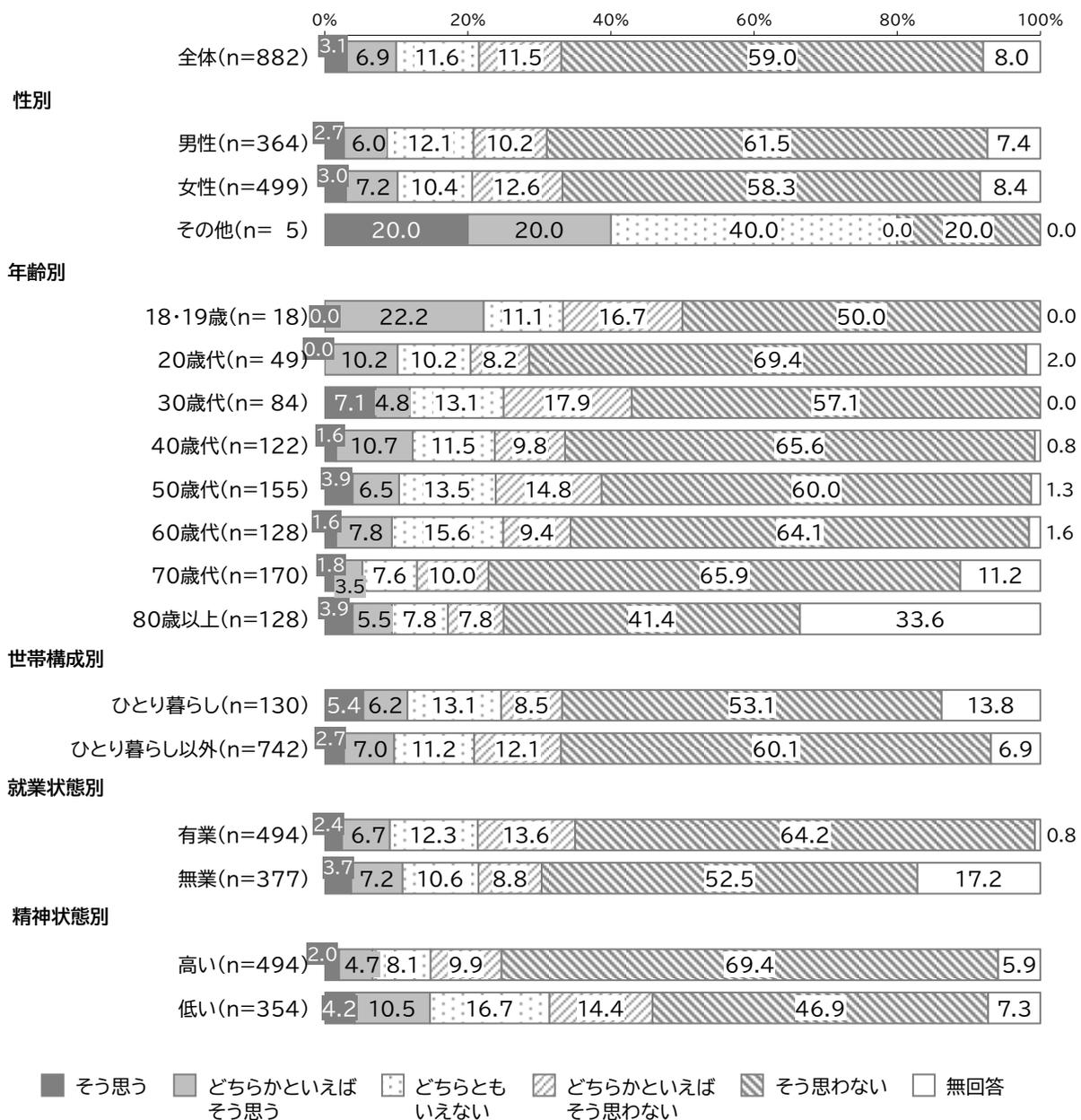
⑧家族や大事な人とのつながりが失われた

新型コロナウイルス感染症流行による影響で、家族や大事な人とのつながりが失われたことについて、「そう思わない」の割合が 59.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」の割合が 11.6%、「どちらかといえばそう思わない」の割合が 11.5%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 6.9%となっています。“変化があった”の割合が 10.0%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど“変化があった”の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳では「どちらかといえばそう思う」の割合が2割程度となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の“変化があった”の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 8.0 ポイント高くなっています。

【⑧家族や大事な人とのつながりが失われた】



3 自殺について

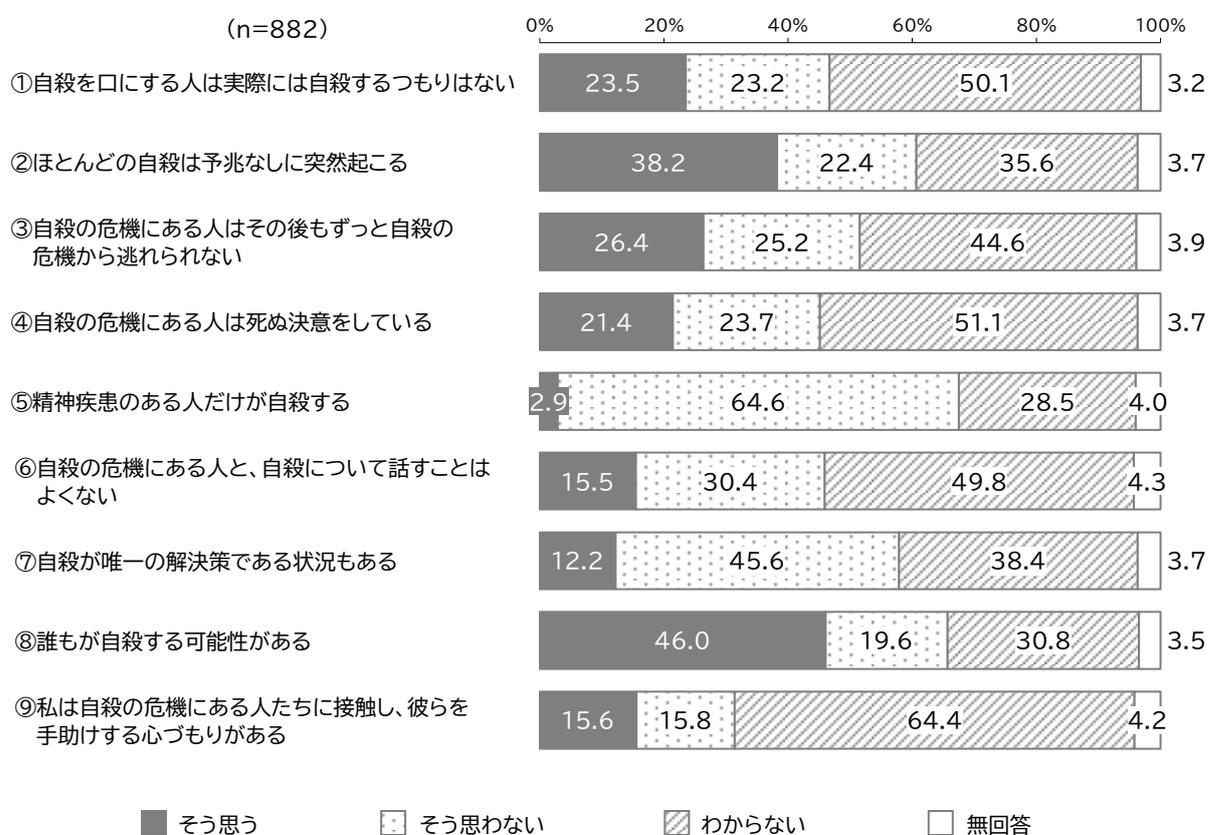
(1)自殺に関する認識

問13 次の9項目は自殺についての質問です。あなたの考えに合うほうに○をつけてください。(①から⑨について、○はそれぞれ1つ)

自殺に関する認識をみると、自殺に関する俗説①～⑥のなかで、「②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる」で、「そう思う」の割合が38.2%となっています。

それ以外の項目のうち、「⑧誰もが自殺する可能性がある」で「そう思う」の割合が46.0%となっています。

【自殺に関する認識】



自殺に関する認識の質問のうち①から⑥の質問は、いずれも「WHO(世界保健機関) 自殺を予防する世界の優先課題」から引用しています。このレポートによると、いずれも「広く信じられているものの、根拠のない俗説」である、つまり「誤り」とされています。

自殺に関する俗説		事実 (出典: WHO 世界自殺レポート)
自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない	×	自殺を口にする人はおそらく援助や支援を求めている。自殺を考えている人の多くが不安、抑うつ、絶望を経験しており、自殺以外の選択肢はないと感じている。
ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる	×	多くの自殺には言葉が行動による事前の警告サインが先行する。もちろんそのようなサインがないままに起こる自殺もある。しかし、警告サインが何であるかを理解し、用心することは重要である。
自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている	×	この俗説とは反対に、自殺の危機にある人は、生死に関して両価的であることが多い。人によっては、生き延びたかったとしても、例えば衝動的に農薬を飲んで数日後に亡くなることもあるかもしれない。適切なタイミングで情緒的支援にアクセスすることで、自殺は予防できる可能性がある。
自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない	×	自殺の危険の高まりはしばしば短期的で状況特有である。自殺念慮を再び抱くことはあるかもしれないが永遠ではなく、以前自殺念慮があった人や自殺企図をした人でも長生きすることができる。
精神疾患のある人だけが自殺する	×	自殺関連行動は深い悲哀のしるしであるが、必ずしも精神障害のしるしではない。精神障害とともに生きる多くの人が自殺関連行動に影響を受けるわけではないし、自らの命を絶つ人のすべてが精神障害を有するわけではない。
自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない	×	自殺についてのスティグマが広がっているため自殺を考えている人々の多くは誰に話したらよいかわからない。包み隠さず話すことは、自殺を考えている人に自殺関連行動を促すよりはむしろ、他の選択肢や、決断を考え直す時間を与え、自殺を予防する。

出典：世界保健機関（自殺予防総合対策センター訳）『自殺を予防する 世界の優先課題』

（独立行政法人 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所、平成 26（2014）年）

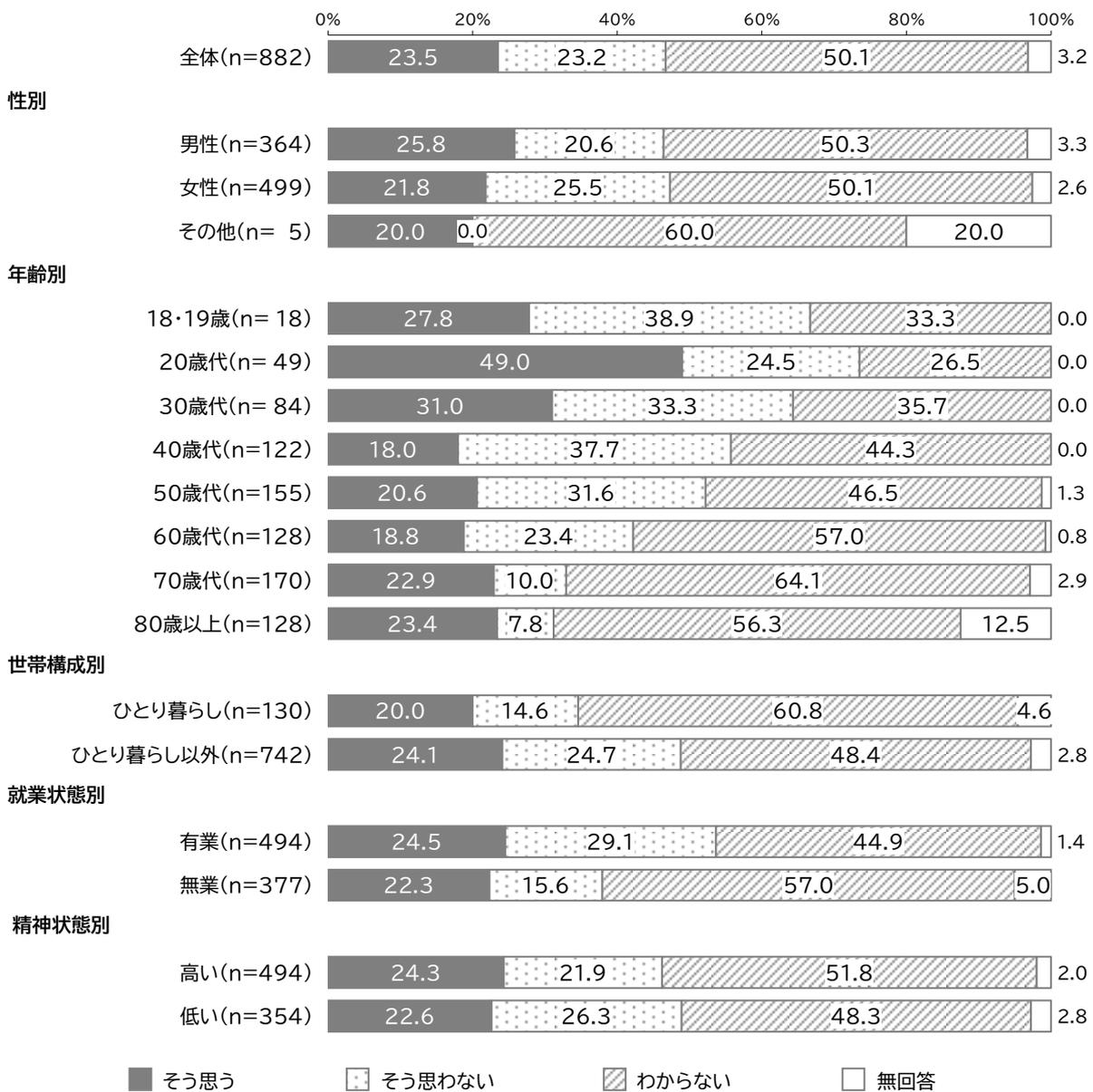
①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない

自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはないという認識について、「わからない」の割合が 50.1%で最も高く、次いで「そう思う」の割合が 23.5%、「そう思わない」の割合が 23.2%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は 18・19 歳～30 歳代が他の年代に比べて高く、20 歳代で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【①自殺を口にする人は実際には自殺するつもりはない】



②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる

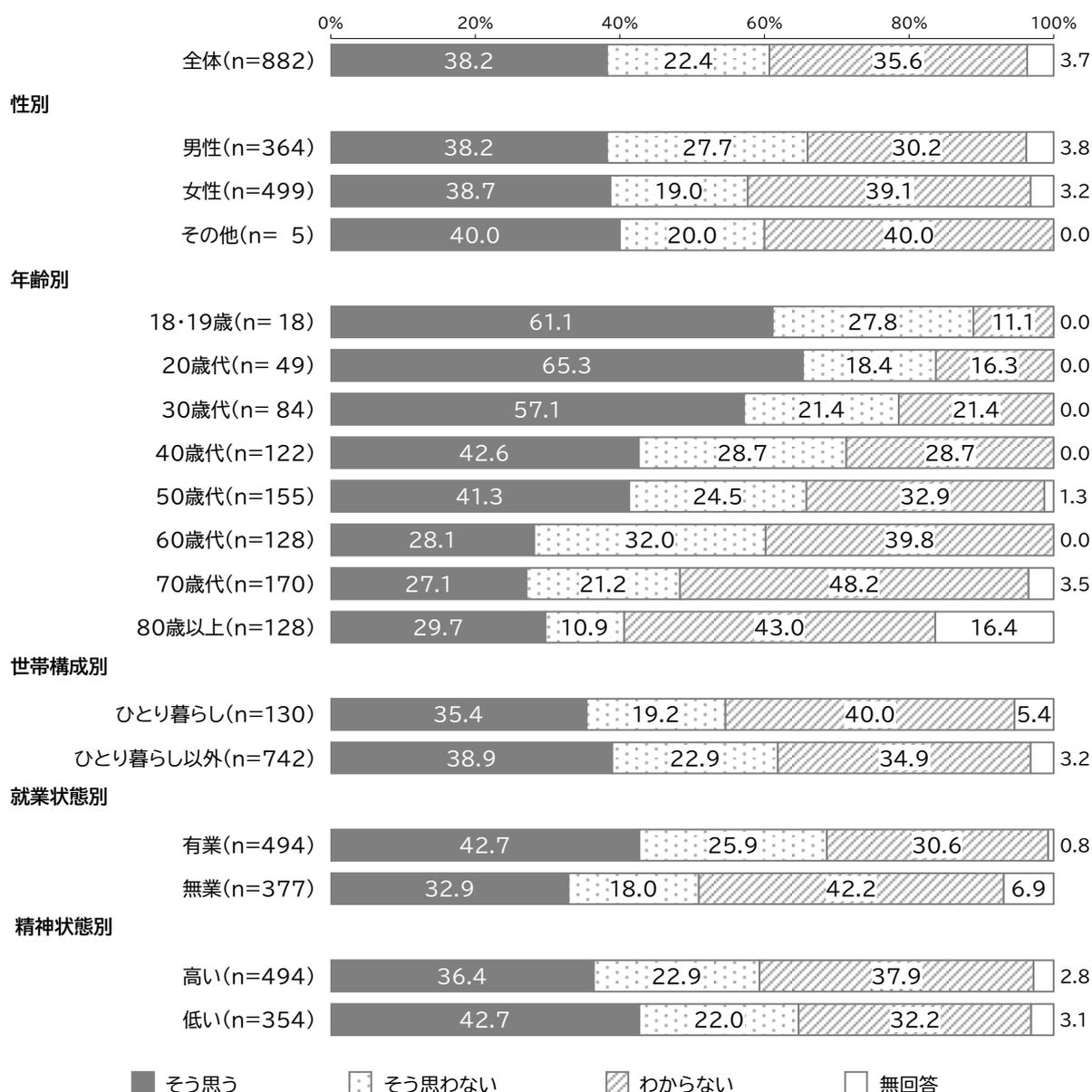
ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こるという認識について、「そう思う」の割合が 38.2%で最も高く、次いで「わからない」の割合が 35.6%、「そう思わない」の割合が 22.4%となっています。

性別にみると、男性の「そう思わない」の割合が、女性よりも 8.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

【②ほとんどの自殺は予兆なしに突然起こる】



③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない

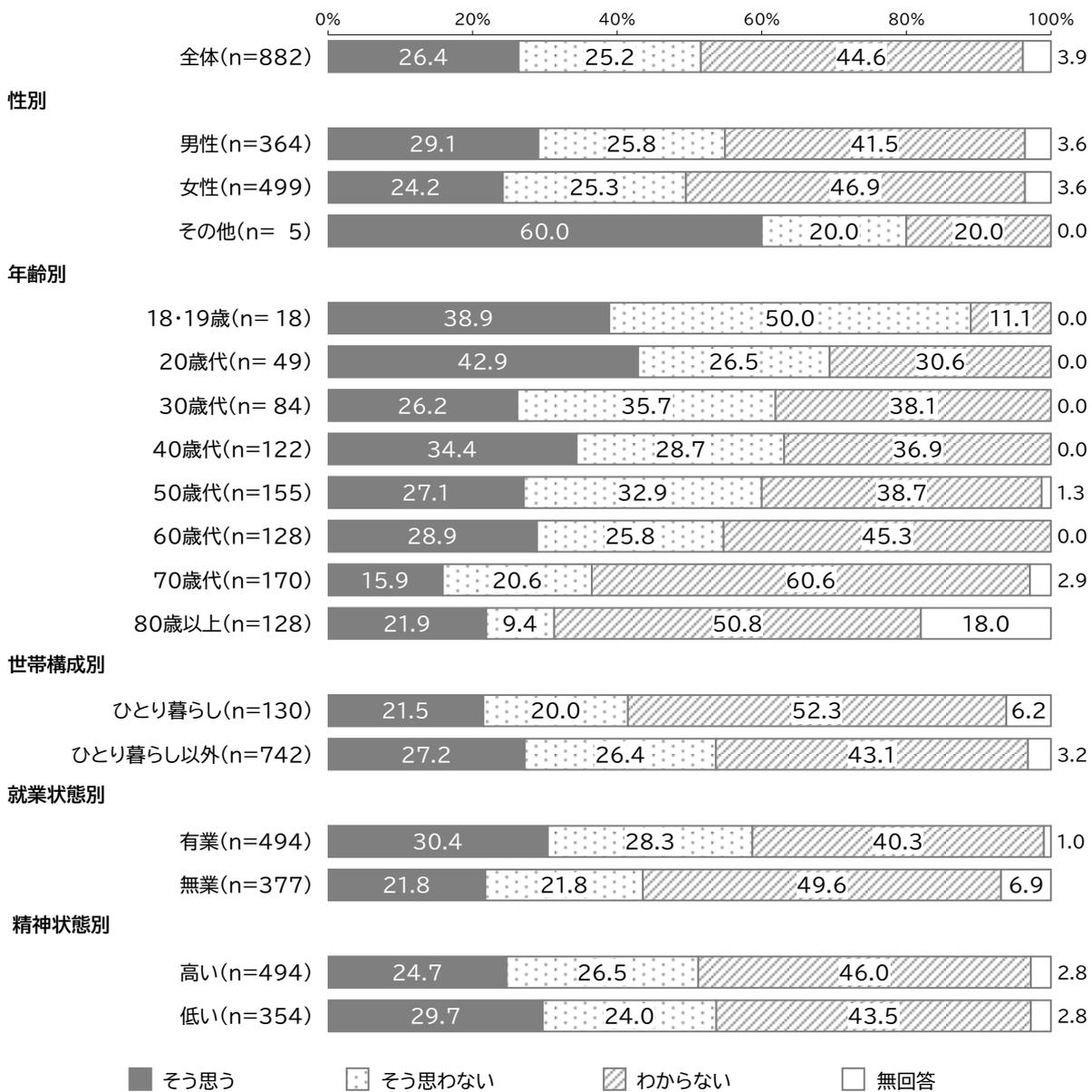
自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられないという認識について、「わからない」の割合が 44.6%で最も高く、次いで「そう思う」の割合が 26.4%、「そう思わない」の割合が 25.2%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも 4.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で4割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも 8.6 ポイント高くなっています。

【③自殺の危機にある人はその後もずっと自殺の危機から逃れられない】



④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている

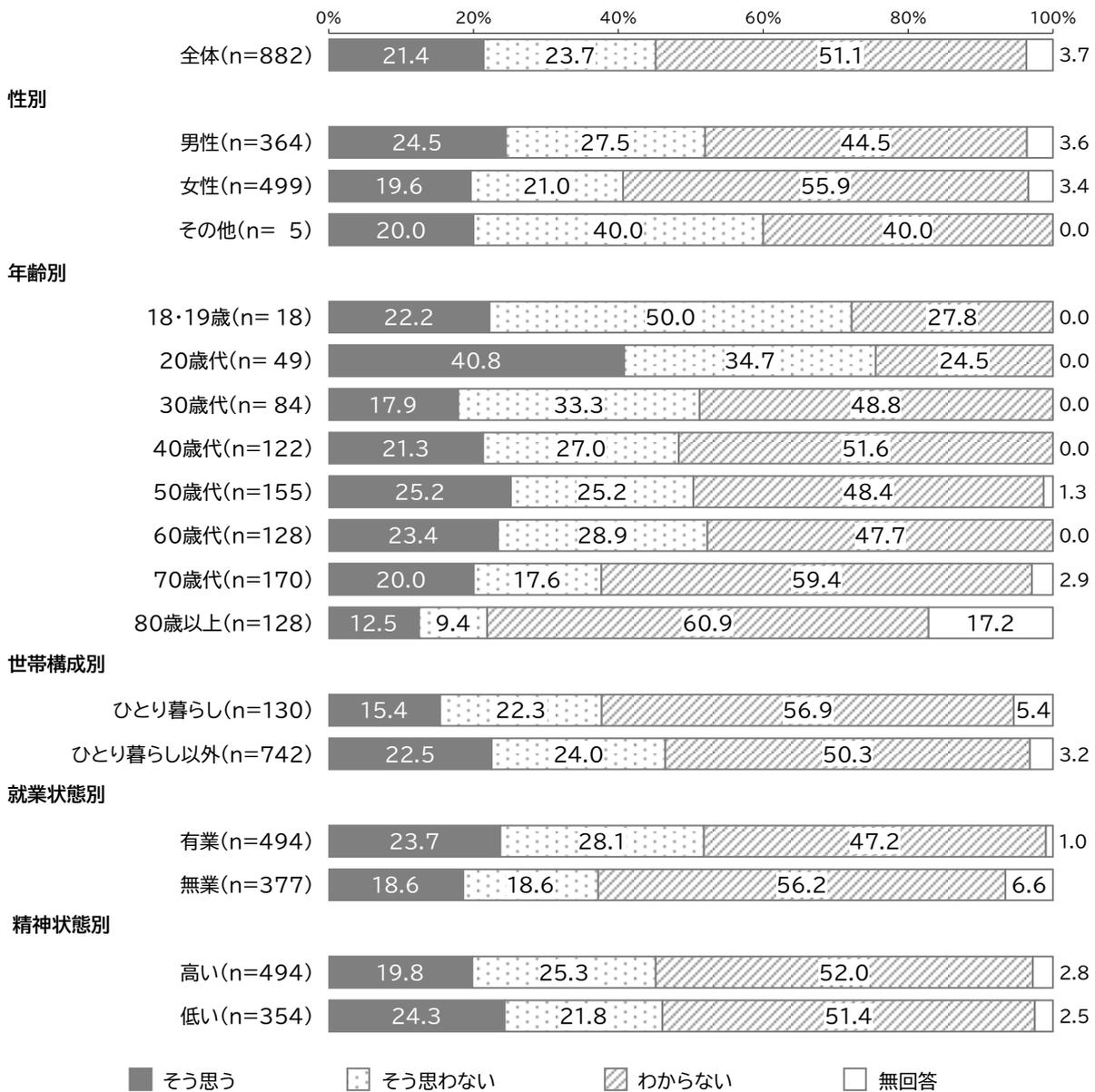
自殺の危機にある人は死ぬ決意をしているという認識について、「わからない」の割合が 51.1%で最も高く、次いで「そう思わない」の割合が 23.7%、「そう思う」の割合が 21.4%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」と「そう思わない」の割合が、それぞれ女性よりも高くなっています。

年齢別にみると、20 歳代で「そう思う」の割合が4割台と、他の年代に比べて高くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも約 10 ポイント高くなっています。

【④自殺の危機にある人は死ぬ決意をしている】



⑤精神疾患のある人だけが自殺する

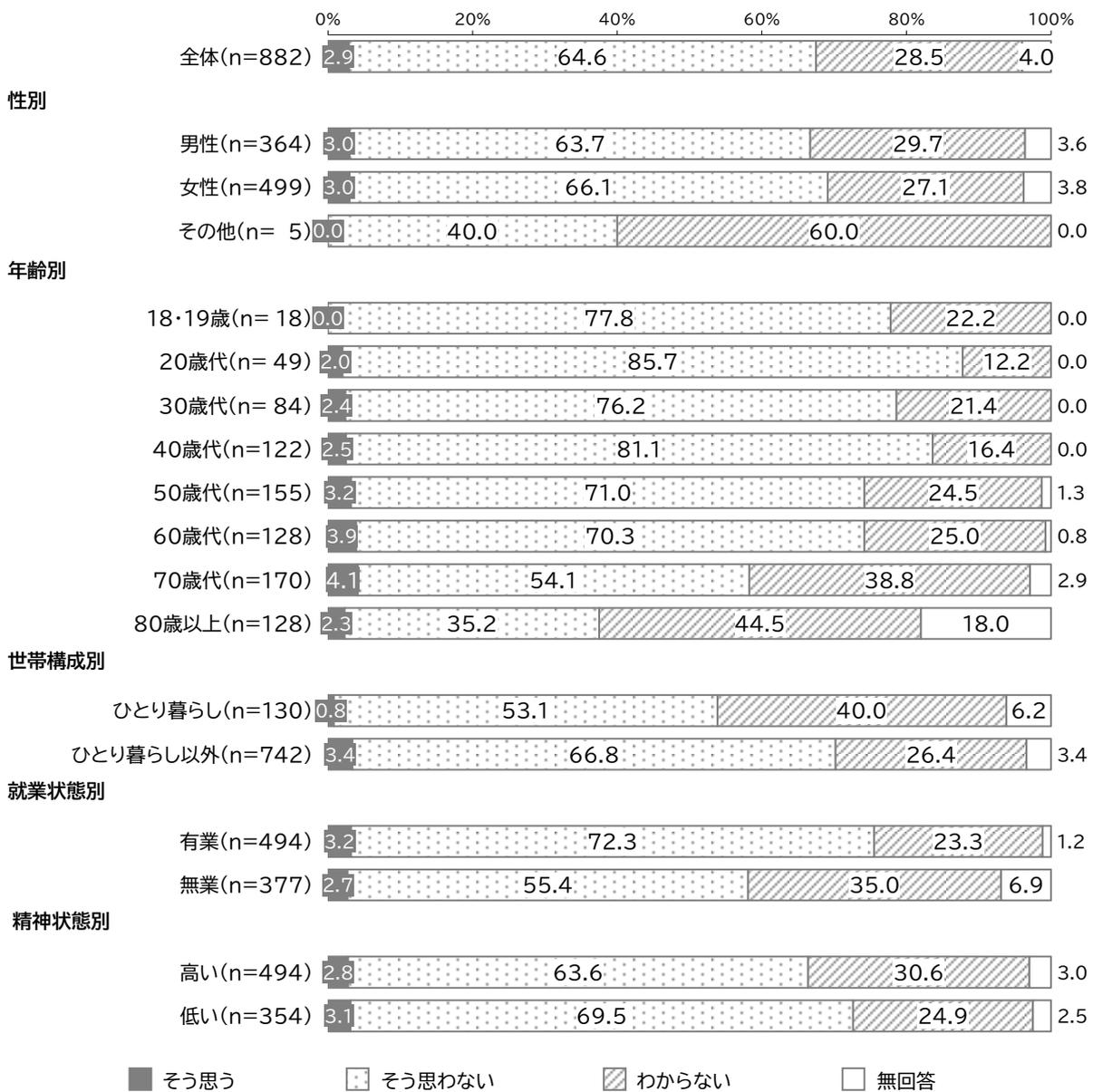
精神疾患のある人だけが自殺するという認識について、「そう思わない」の割合が 64.6%で最も高く、次いで「わからない」の割合が 28.5%、「そう思う」の割合が 2.9%となっています。

年齢別にみると、年代が高くなるほど「そう思わない」の割合は低くなる傾向にあり、80 歳以上で3割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「そう思わない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント以上低くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも 15 ポイント以上高くなっています。

【⑤精神疾患のある人だけが自殺する】



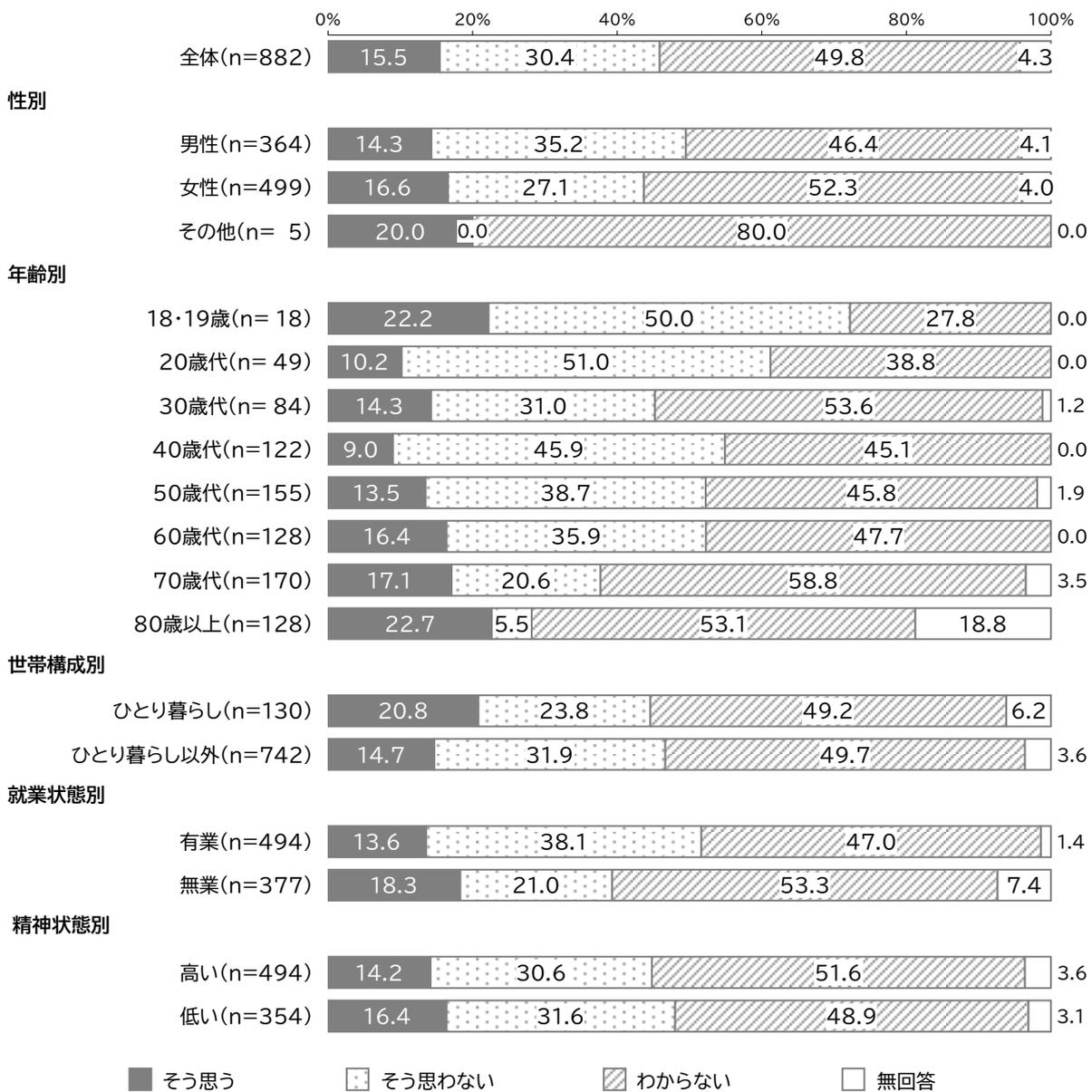
⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない

自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくないという認識について、「わからない」の割合が49.8%で最も高く、次いで「そう思わない」の割合が30.4%、「そう思う」の割合が15.5%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思わない」の割合は高くなる傾向にあり、20歳代以下で約半数となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも15ポイント以上高くなっています。

【⑥自殺の危機にある人と、自殺について話すことはよくない】



⑦自殺が唯一の解決策である状況もある

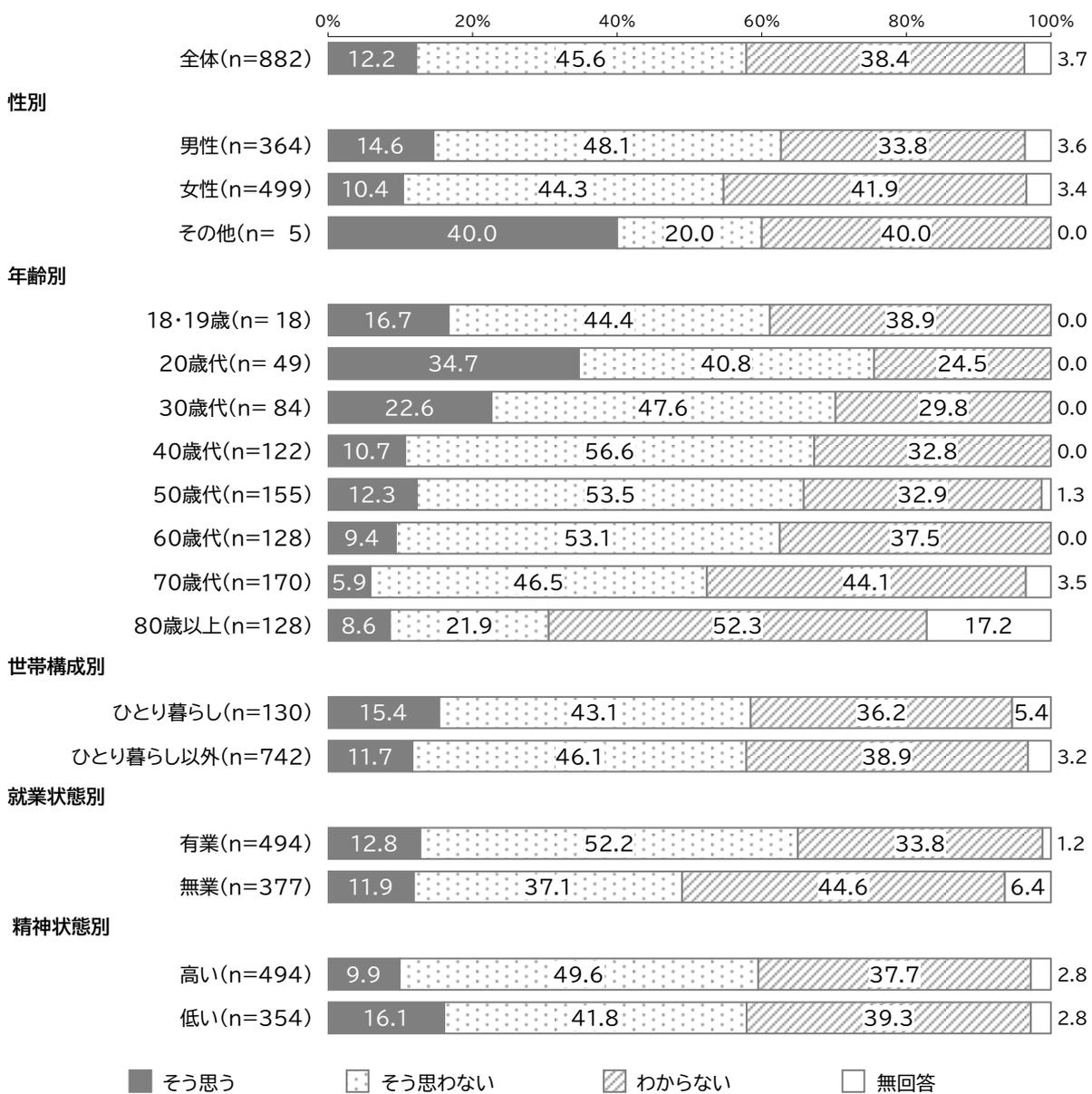
自殺が唯一の解決策である状況もあるという認識について、「そう思わない」の割合が45.6%で最も高く、次いで「わからない」の割合が38.4%、「そう思う」の割合が12.2%となっています。

年齢別にみると、「そう思う」の割合は18・19歳～30歳代が他の年代に比べて高く、20歳代で3割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思わない」の割合が、無業者よりも約15ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「そう思う」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも6.2ポイント高くなっています。

【⑦自殺が唯一の解決策である状況もある】



⑧誰もが自殺する可能性がある

誰もが自殺する可能性があるという認識について、「そう思う」の割合が46.0%で最も高く、次いで「わからない」の割合が30.8%、「そう思わない」の割合が19.6%となっています。

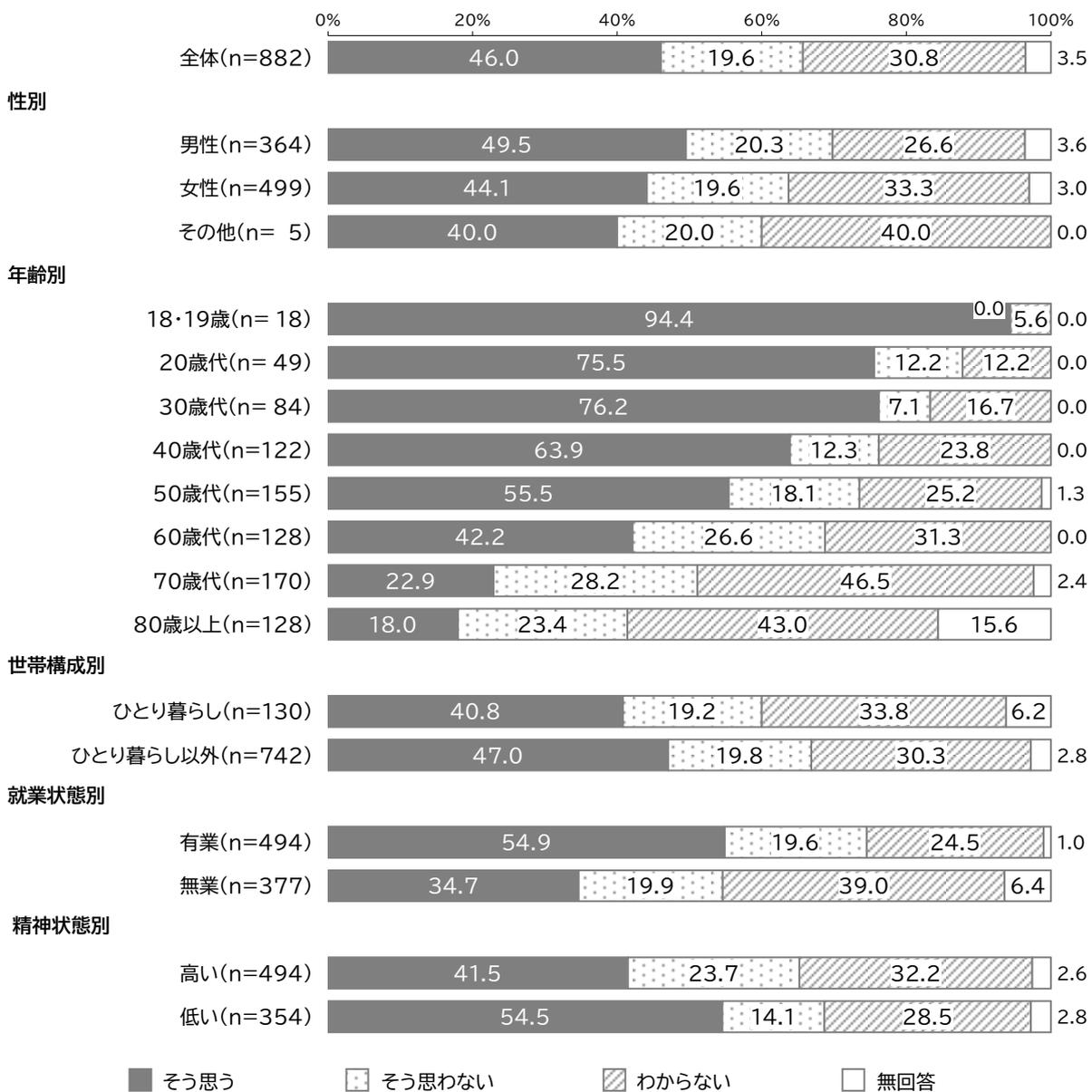
性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも5.4ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「そう思う」の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「そう思う」の割合が、無業者よりも約20ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「そう思う」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも10ポイント以上高くなっています。

【⑧誰もが自殺する可能性がある】



⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある

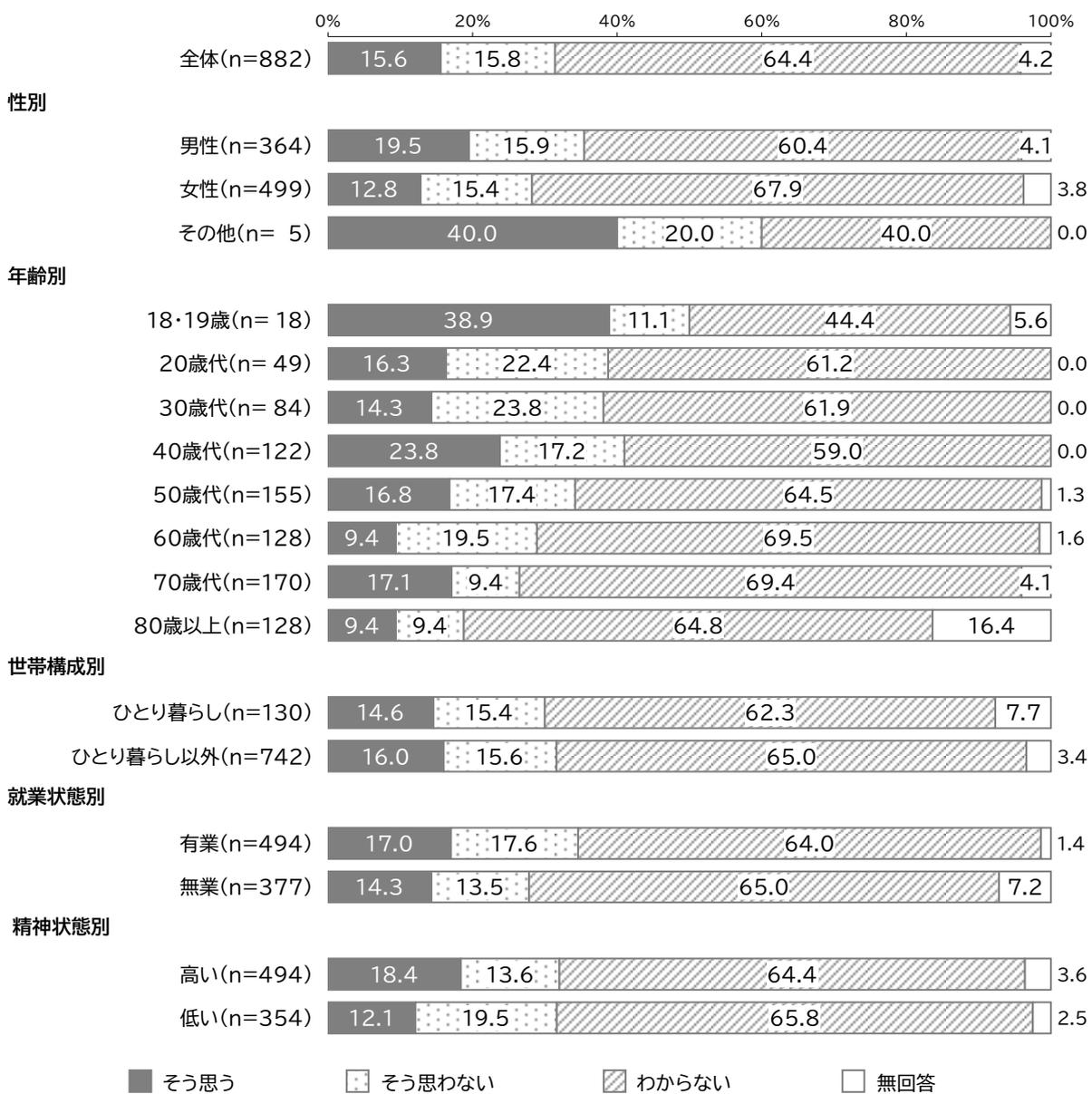
私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがあるかについては、「わからない」の割合が 64.4%で最も高く、次いで「そう思わない」の割合が 15.8%、「そう思う」の割合が 15.6%となっています。

性別にみると、男性の「そう思う」の割合が、女性よりも 6.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、18・19 歳で「そう思う」の割合が4割程度と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが高いグループ」の「そう思う」の割合が、「スコアが低いグループ」よりも 6.3 ポイント高くなっています。

【⑨私は自殺の危機にある人たちに接触し、彼らを手助けする心づもりがある】



4 相談することについて

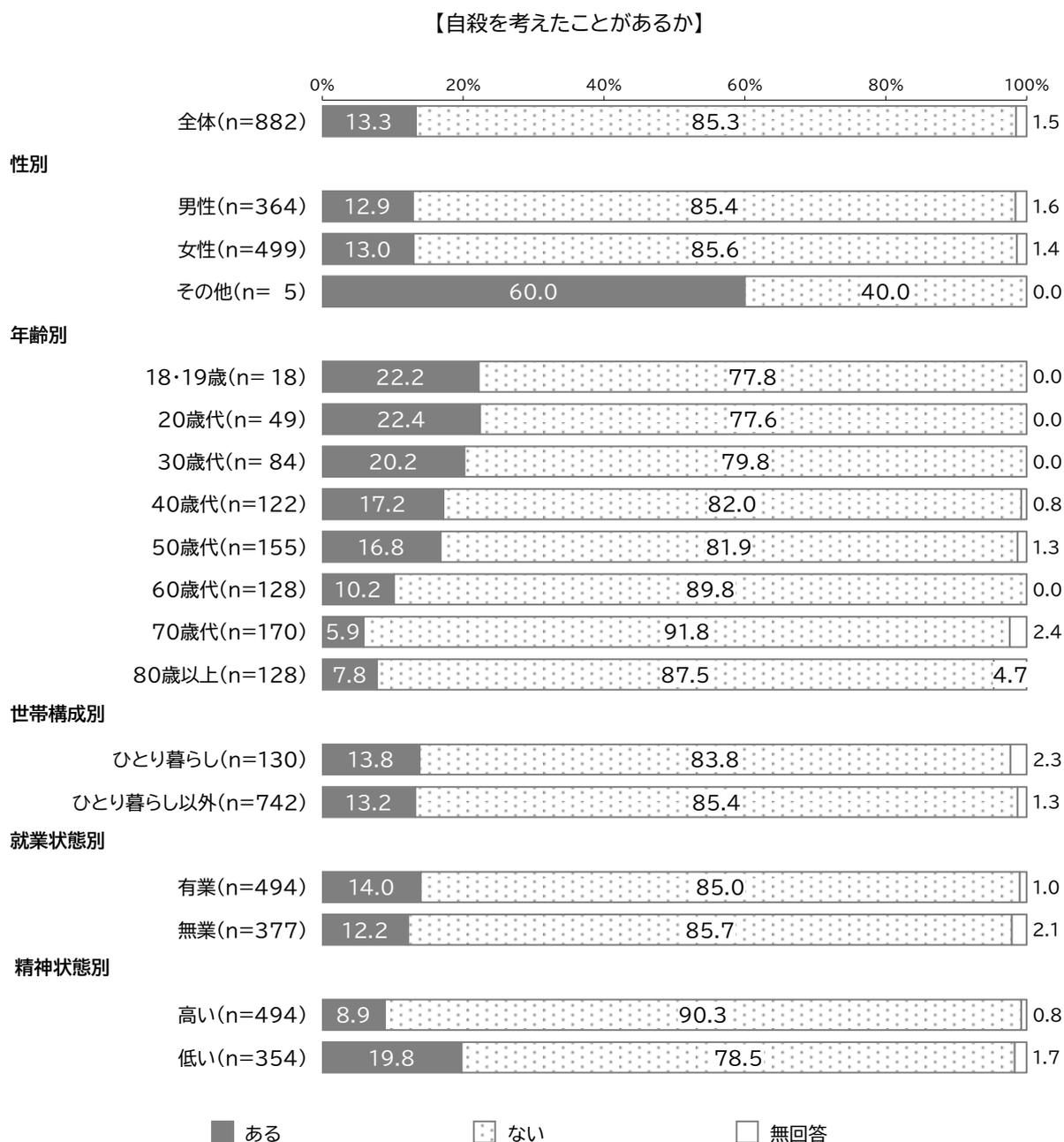
(1) 自殺を考えたことがあるか

問14 あなたは、これまでの人生の中で、本気で自殺を考えたことがありますか。(○は1つ)

自殺を考えたことの有無をみると、「ある」の割合が13.3%、「ない」の割合が85.3%となっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「ある」の割合は高くなる傾向にあり、30歳代以下で2割台となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「ある」の割合が、「スコアが高いグループ」の2倍以上となっています。



(2)自殺を考えたときに相談をしたか

問14で「1. ある」と回答された方にお聞きします。

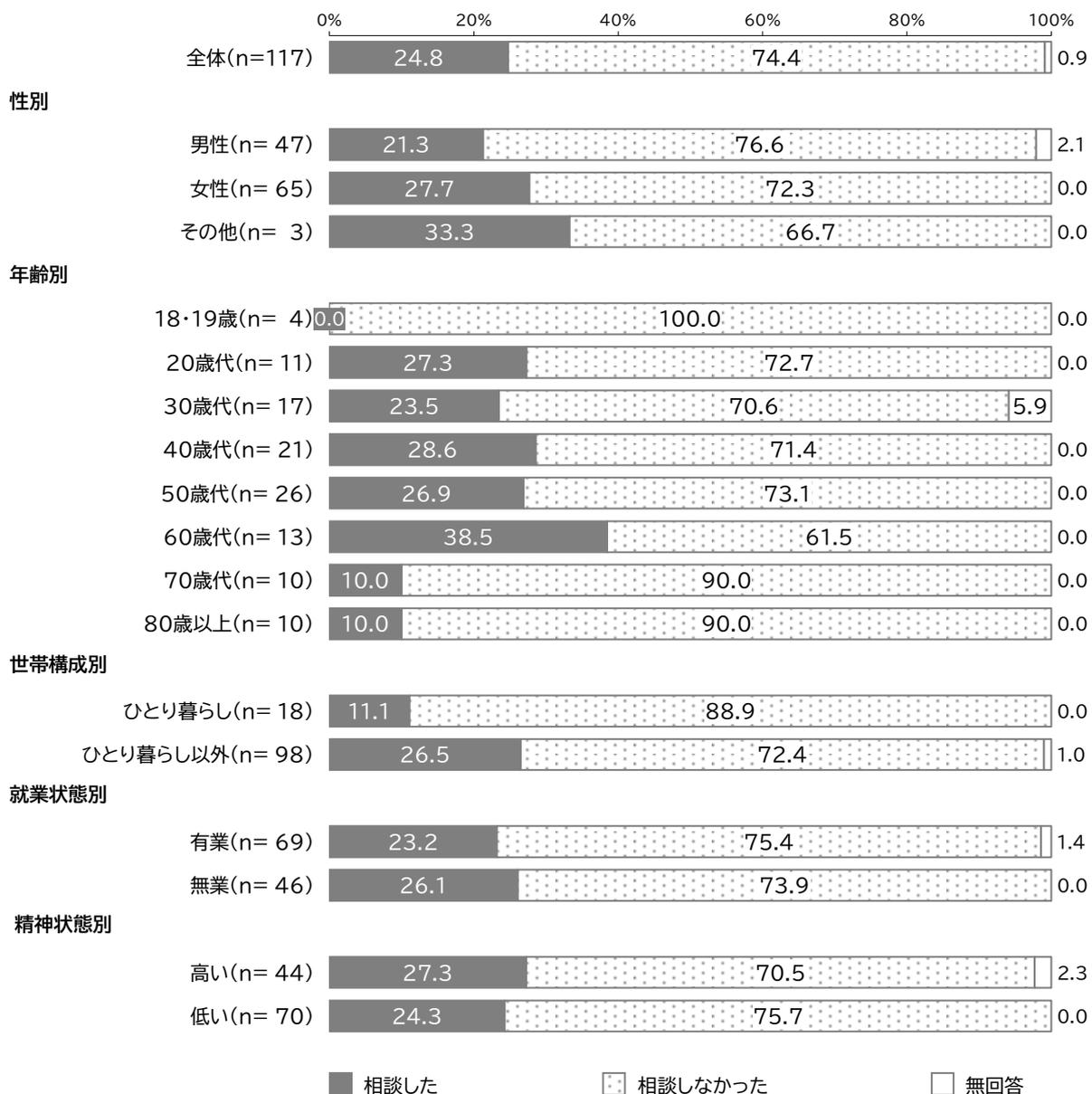
問14-1 誰かに相談しましたか。(〇は1つ)

自殺を考えたときの相談の有無をみると、「相談した」の割合が24.8%、「相談しなかった」の割合が74.4%となり、相談した人は4人に1人程度となっています。

年齢別にみると、「相談した」の割合は20歳代～60歳代が他の年代に比べて高く、60歳代で4割弱となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯で「相談しなかった」の割合が9割弱となっています。

【自殺を考えたときに相談をしたか】



(3)自殺を考えたときにだれに相談したか

問14-1で「1. 相談した」と回答された方にお聞きします。

問14-2 誰に相談しましたか。(〇はいくつでも)

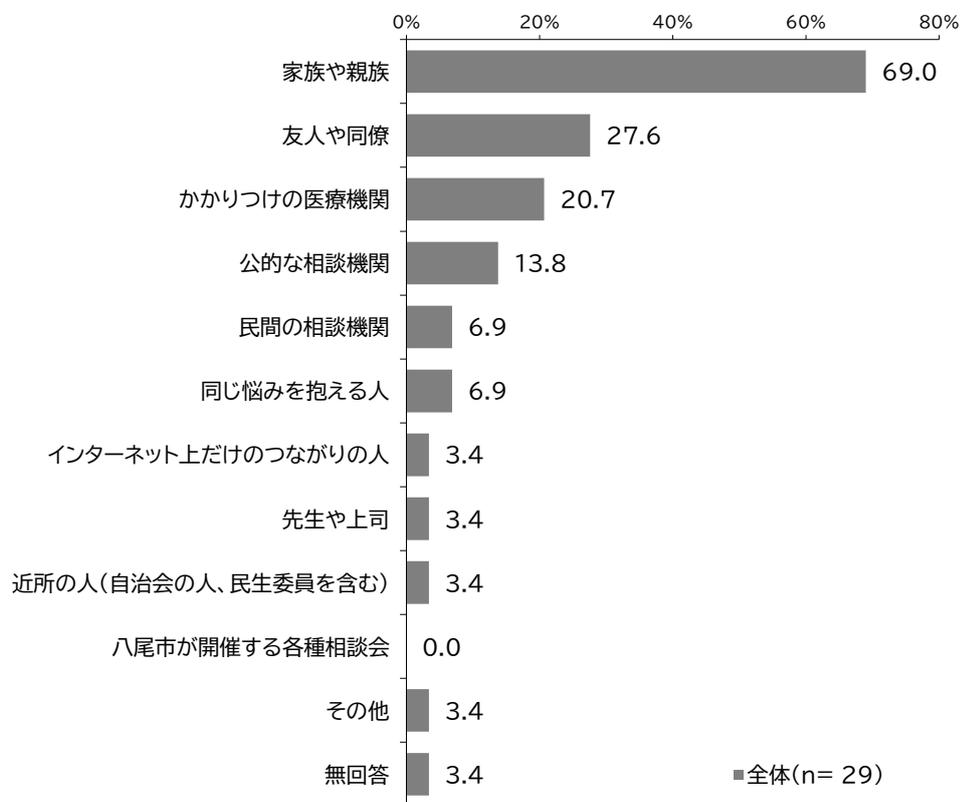
自殺を考えたときに相談した人を見ると、「家族や親族」の割合が69.0%で最も高く、次いで「友人や同僚」の割合が27.6%、「かかりつけの医療機関」の割合が20.7%となっています。

性別にみると、女性の「友人や同僚」の割合が、男性よりも20ポイント以上高くなっています。

就業状態別にみると、有業者の「家族や親族」の割合が、無業者よりも20ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「かかりつけの医療機関」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも20ポイント以上高くなっています。

【自殺を考えたときにだれに相談したか】



【自殺を考えたときにだれに相談したか】

		回答者数(n)	家族や親族	友人や同僚	かかりつけの医療機関	公的な相談機関	民間の相談機関	同じ悩みを抱える人	インターネット上でのつながりの人	先生や上司
全体		29	69.0	27.6	20.7	13.8	6.9	6.9	3.4	3.4
性別	男性	10	80.0	10.0	20.0	10.0	-	-	-	-
	女性	18	66.7	38.9	22.2	11.1	11.1	11.1	5.6	5.6
	その他	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	3	100.0	-	-	-	-	-	-	-
	30歳代	4	100.0	50.0	25.0	-	-	-	25.0	-
	40歳代	6	50.0	50.0	16.7	-	16.7	-	-	-
	50歳代	7	85.7	28.6	57.1	-	14.3	14.3	-	-
	60歳代	5	60.0	20.0	-	20.0	-	20.0	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	100.0	-	-	-	-
	80歳以上	1	100.0	-	-	-	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	100.0	50.0	-	-	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	69.2	26.9	23.1	11.5	7.7	7.7	3.8	3.8
就業状態別	有業	16	81.3	25.0	25.0	6.3	6.3	12.5	-	6.3
	無業	12	58.3	33.3	16.7	16.7	8.3	-	8.3	-
精神状態別	高い	12	75.0	41.7	8.3	25.0	8.3	16.7	-	8.3
	低い	17	64.7	17.6	29.4	5.9	5.9	-	5.9	-

		回答者数(n)	近所の人(自治会の人、民生委員を含む)	八尾市が開催する各種相談会	その他	無回答
全体		29	3.4	-	3.4	3.4
性別	男性	10	10.0	-	-	10.0
	女性	18	-	-	-	-
	その他	1	-	-	100.0	-
年齢別	18・19歳	0	-	-	-	-
	20歳代	3	-	-	-	-
	30歳代	4	-	-	-	-
	40歳代	6	-	-	-	-
	50歳代	7	14.3	-	-	-
	60歳代	5	-	-	-	20.0
	70歳代	1	-	-	-	-
	80歳以上	1	-	-	-	-
世帯構成別	ひとり暮らし	2	-	-	-	-
	ひとり暮らし以外	26	3.8	-	-	3.8
就業状態別	有業	16	6.3	-	-	6.3
	無業	12	-	-	-	-
精神状態別	高い	12	-	-	-	-
	低い	17	5.9	-	5.9	5.9

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

(4)自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか

問14-1で「2. 相談しなかった」と回答された方にお聞きします。

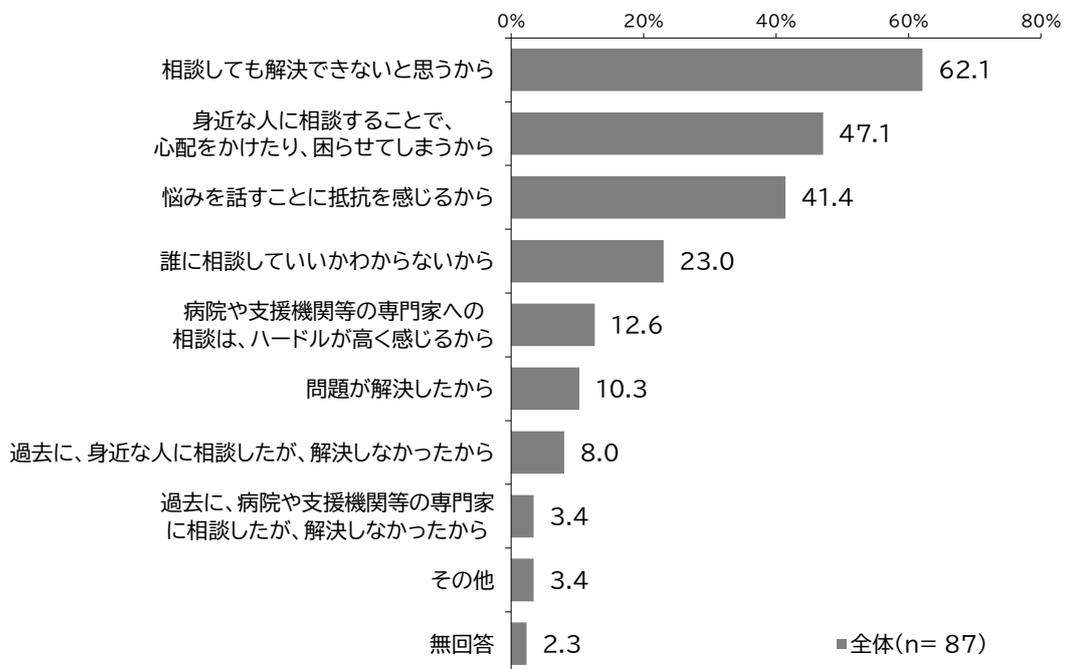
問14-3 その理由について、あてはまるものを教えてください。(〇はいくつでも)

自殺を考えたときに相談しなかった理由をみると、「相談しても解決できないと思うから」の割合が 62.1%で最も高く、次いで「身近な人に相談することで、心配をかけたり、困らせてしまうから」の割合が 47.1%、「悩みを話すことに抵抗を感じるから」の割合が 41.4%となっています。

性別にみると、男性の「相談しても解決できないと思うから」の割合が、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「相談しても解決できないと思うから」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 20 ポイント以上高くなっています。

【自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか】



【自殺を考えたときに相談しなかったのはなぜか】

		回答者数(n)	相談しても解決できない と思うから	身近な人に相談すること で、心配をかけたたり、困 らせてしまうから	身近な人に相談することに抵抗を 感じるから	悩みを話すことに抵抗を 感じるから	誰に相談していいかわか らないから	病院や支援機関等の専門 家への相談は、ハードル が高く感じるから	問題が解決したから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかったから	過去に、病院や支援機 関等の専門家に相談した が、解決しなかったから	その他	無回答
全体		87	62.1	47.1	41.4	23.0	12.6	10.3	8.0	3.4	3.4	2.3	
性別	男性	36	72.2	47.2	44.4	19.4	11.1	13.9	13.9	2.8	-	-	
	女性	47	57.4	48.9	40.4	27.7	14.9	8.5	4.3	4.3	6.4	2.1	
	その他	2	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	50.0	
年齢別	18・19 歳	4	75.0	75.0	25.0	-	-	25.0	25.0	-	-	-	
	20 歳代	8	62.5	50.0	62.5	12.5	37.5	-	-	-	-	-	
	30 歳代	12	58.3	41.7	50.0	25.0	25.0	25.0	8.3	-	8.3	-	
	40 歳代	15	66.7	33.3	20.0	20.0	6.7	13.3	20.0	13.3	-	-	
	50 歳代	19	73.7	57.9	42.1	36.8	10.5	10.5	10.5	-	10.5	-	
	60 歳代	8	37.5	50.0	50.0	25.0	-	12.5	-	-	-	-	
	70 歳代	9	55.6	33.3	33.3	33.3	11.1	-	-	-	-	-	
	80 歳以上	9	66.7	55.6	55.6	11.1	11.1	-	-	11.1	-	11.1	
世帯 構成別	ひとり暮らし	16	56.3	37.5	37.5	12.5	-	6.3	6.3	-	-	6.3	
	ひとり暮らし以外	71	63.4	49.3	42.3	25.4	15.5	11.3	8.5	4.2	4.2	1.4	
就業 状態別	有業	52	65.4	46.2	42.3	21.2	11.5	15.4	7.7	1.9	5.8	-	
	無業	34	55.9	50.0	41.2	26.5	14.7	2.9	8.8	5.9	-	5.9	
精神 状態別	高い	31	48.4	48.4	41.9	12.9	9.7	22.6	6.5	3.2	6.5	3.2	
	低い	53	71.7	47.2	41.5	30.2	15.1	3.8	9.4	3.8	1.9	-	

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

(5)八尾市保健所の相談窓口の認知度

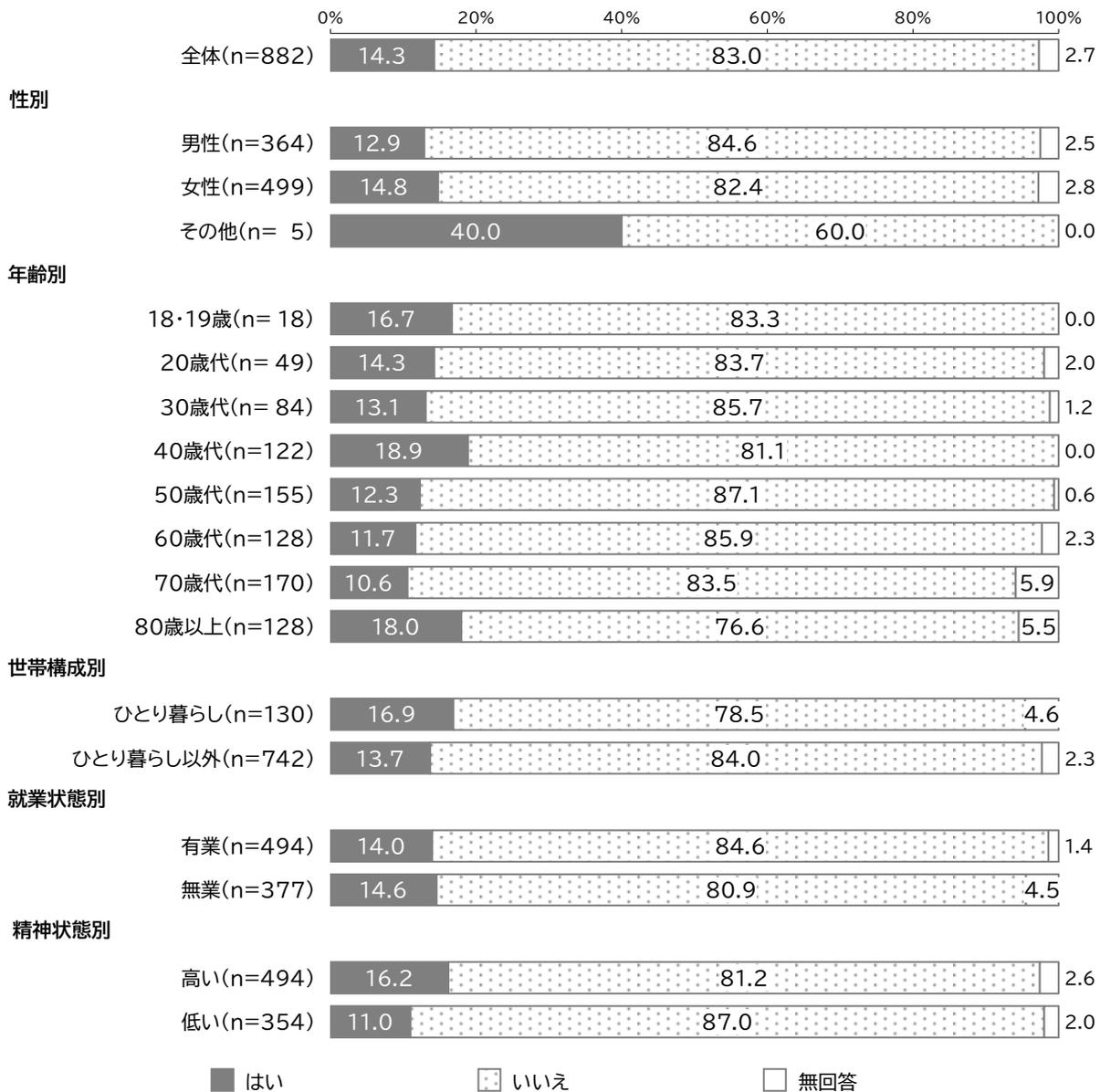
問15 あなたは、八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることを知っていますか。(〇は1つ)

八尾市保健所で精神保健福祉相談を受けられることの認知度をみると、「はい」の割合が14.3%、「いいえ」の割合が83.0%となっています。

年齢別にみると、40歳代と80歳以上で「はい」の割合が2割弱と、他の年代に比べて高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「はい」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも5.2ポイント低くなっています。

【「八尾市保健所精神保健福祉相談」の認知度】



あなたは、「八尾市こころといのちの相談」という電話相談があることを知っていますか。(〇は1つ)

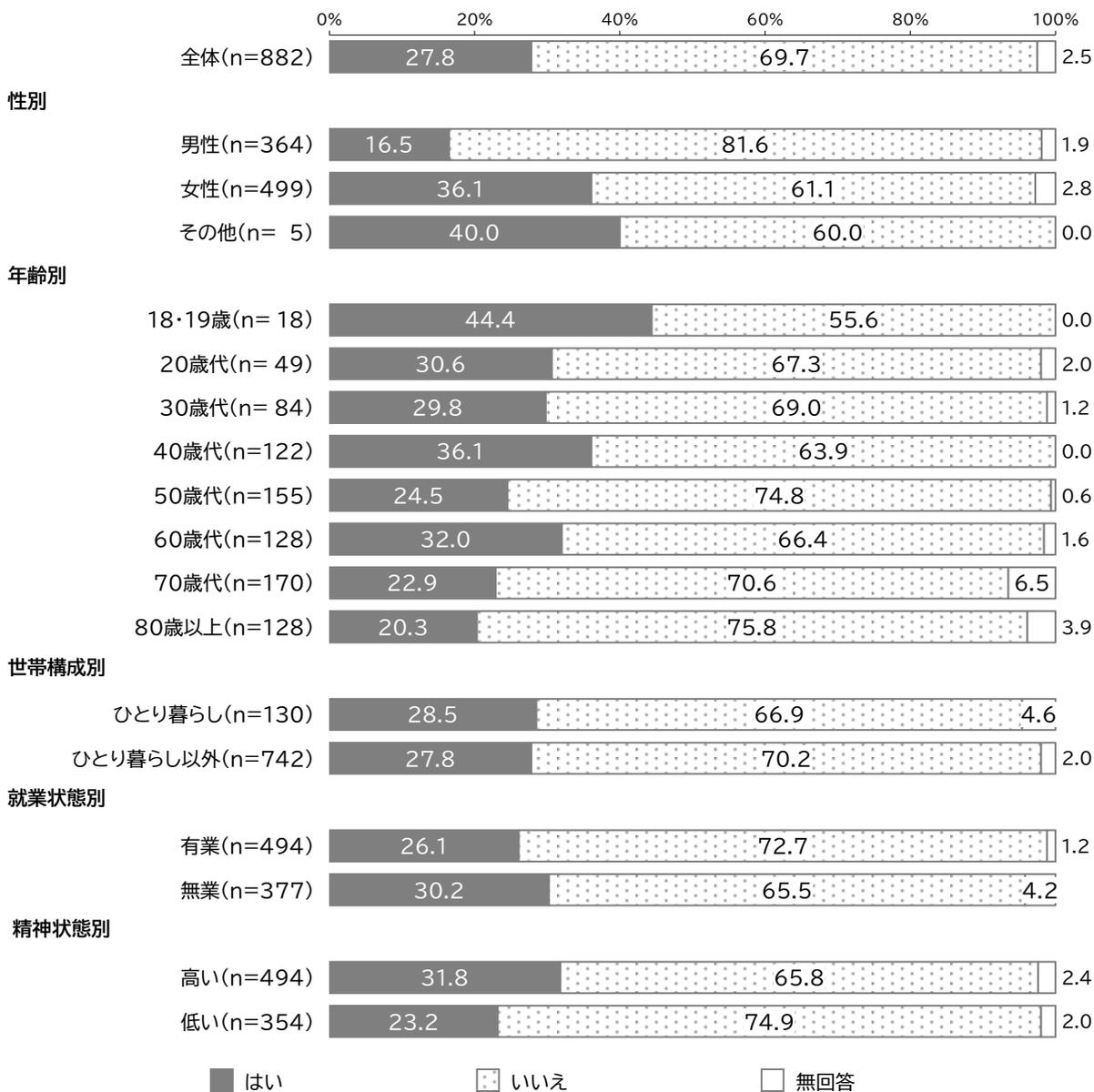
「八尾市こころといのちの相談」の認知度をみると、「はい」の割合が 27.8%、「いいえ」の割合が 69.7%となっています。

性別にみると、女性の「はい」の割合が、男性よりも約 20 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「はい」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で4割台となっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「はい」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 8.6 ポイント低くなっています。

【「八尾市こころといのちの相談」の認知度】



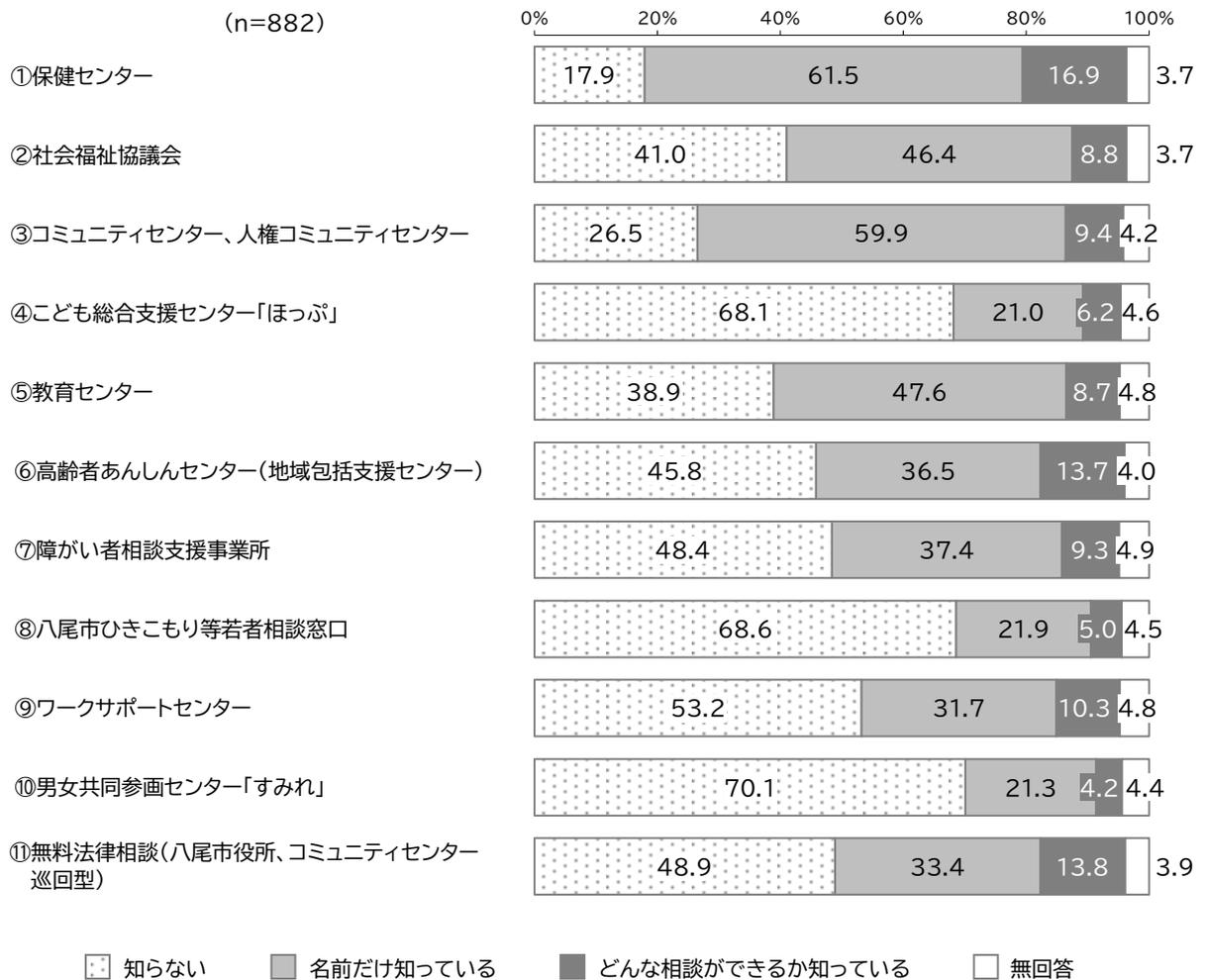
(6)相談窓口の認知度

問16 あなたは、次の相談窓口を知っていますか。(①から⑪について、それぞれ〇は1つ)

相談窓口の認知度をみると、「どんな相談ができるか知っている」と回答した割合は、高い項目でも1割台で、「①保健センター」(16.9%)、「⑪無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)」(13.8%)、「⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)」(13.7%)の順で高くなっています。

一方で「知らない」と回答した割合は、「⑩男女共同参画センター「すみれ」」(70.1%)、「⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口」(68.6%)、「④子ども総合支援センター「ほっぷ」」(68.1%)の順で高くなっています。

【相談窓口の認知度】



①保健センター

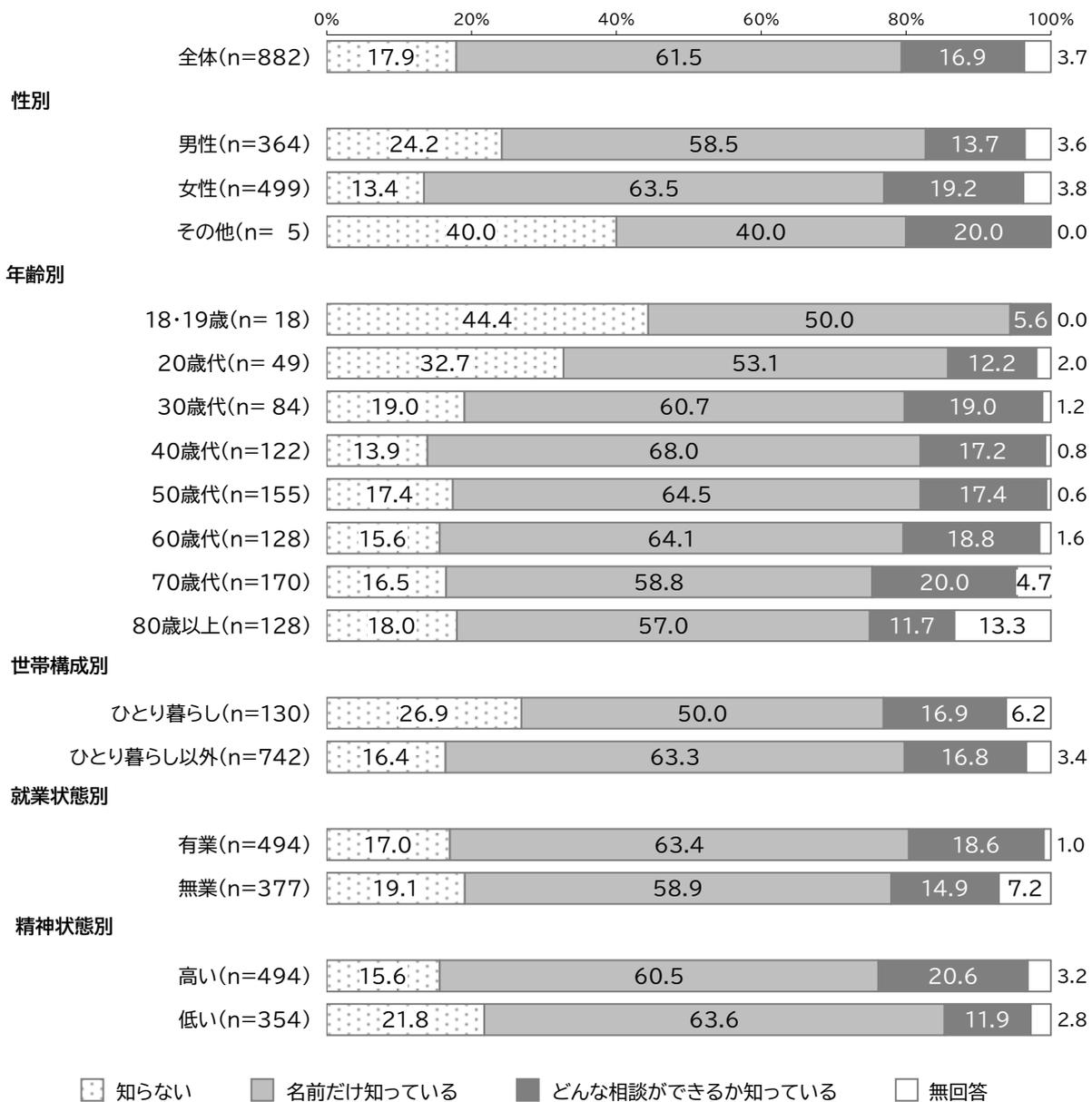
保健センターの認知度について、「名前だけ知っている」の割合が 61.5%で最も高く、次いで「知らない」の割合が 17.9%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 16.9%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で4割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも約 10 ポイント高くなっています。

【①保健センター】



②社会福祉協議会

社会福祉協議会の認知度について、「名前だけ知っている」の割合が 46.4%で最も高く、次いで「知らない」の割合が 41.0%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 8.8%となっています。

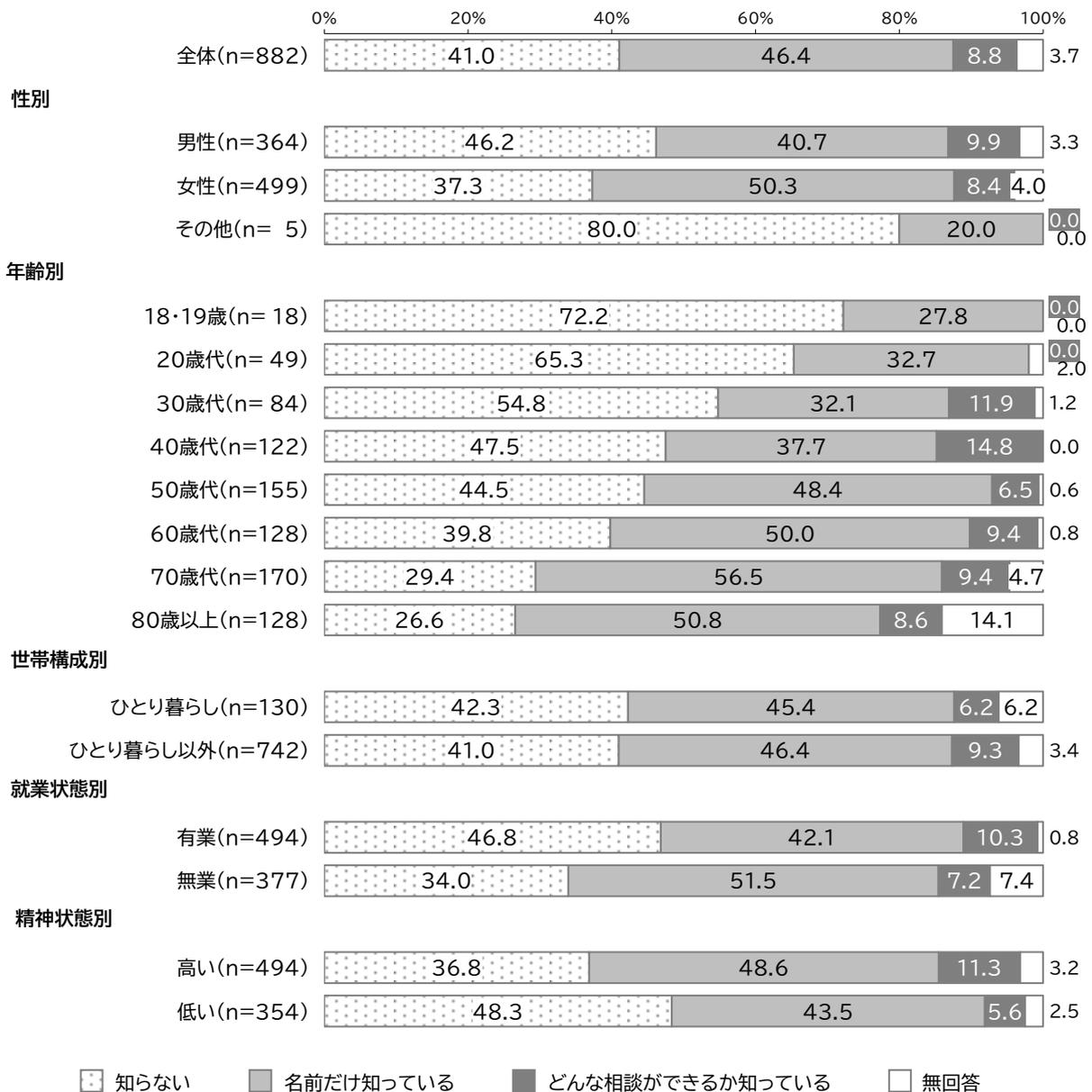
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.9 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19 歳で7割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「知らない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【②社会福祉協議会】



③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター

コミュニティセンター、人権コミュニティセンターの認知度について、「名前だけ知っている」の割合が59.9%で最も高く、次いで「知らない」の割合が26.5%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が9.4%となっています。

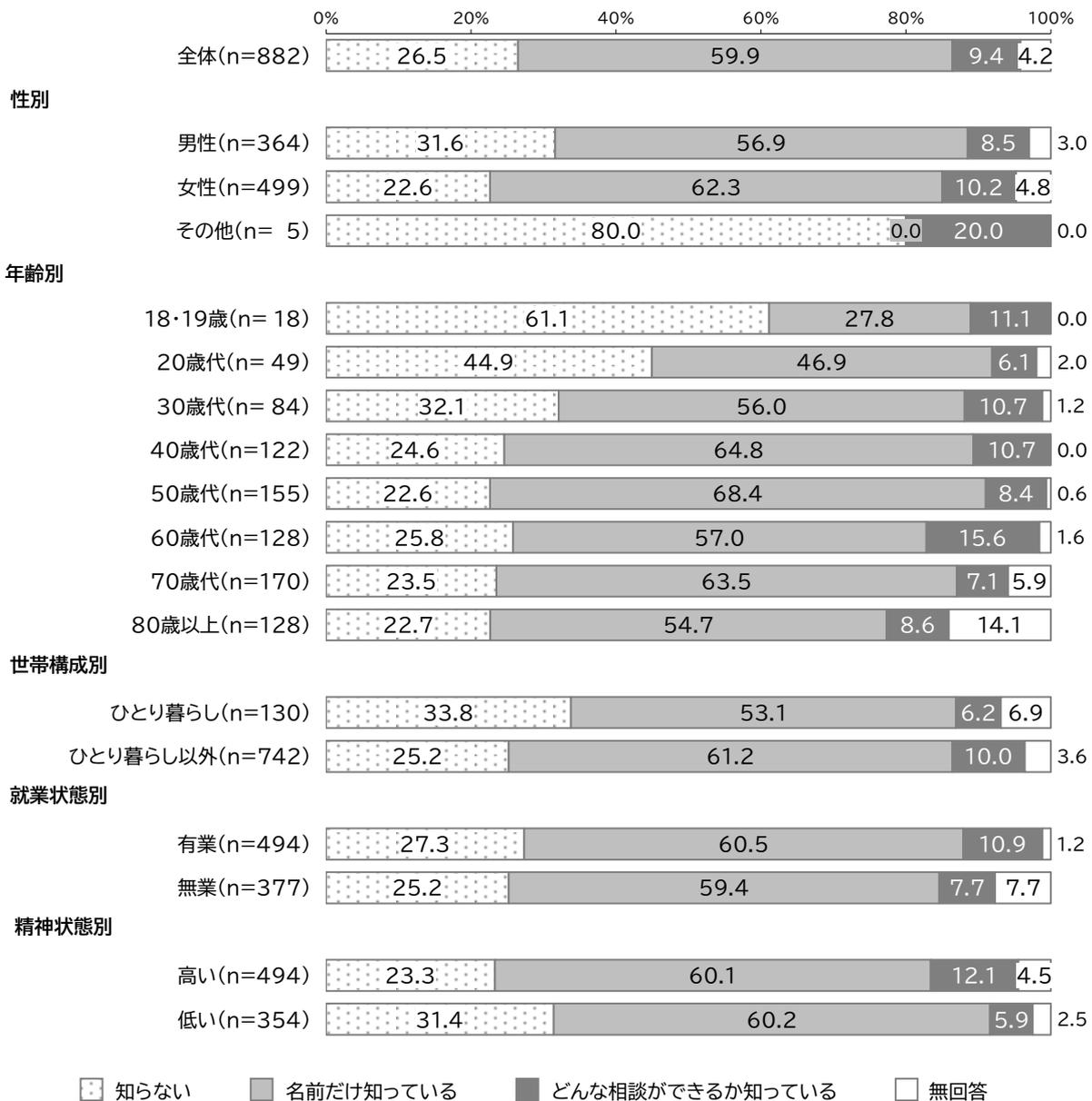
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも9.0ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で6割程度となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも8.6ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「知らない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも8.1ポイント高くなっています。

【③コミュニティセンター、人権コミュニティセンター】



④こども総合支援センター「ほっぷ」

こども総合支援センター「ほっぷ」の認知度について、「知らない」の割合が 68.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が 21.0%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 6.2%となっています。

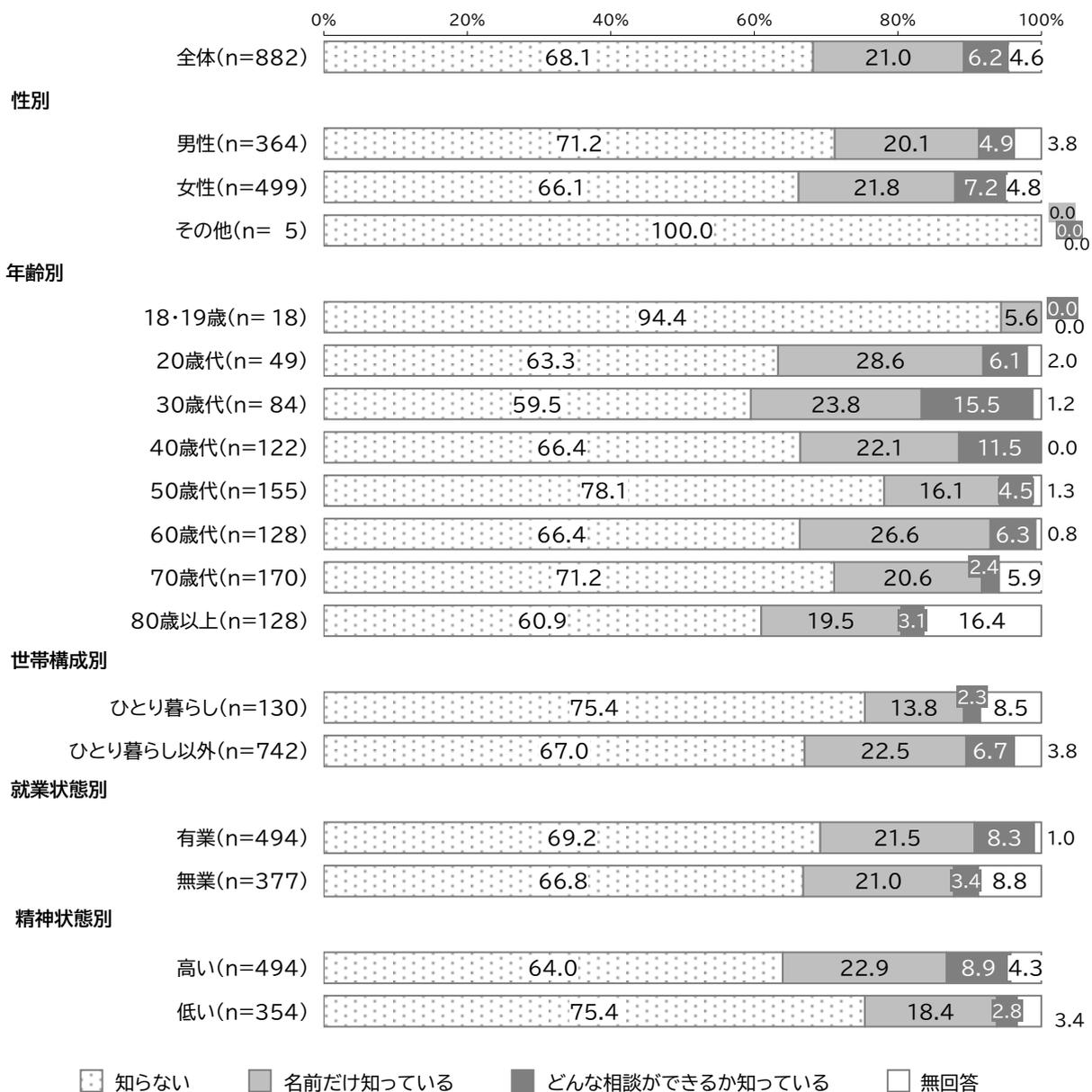
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 5.1 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、18・19 歳で「知らない」の割合が9割台と、他の年代に比べて特に高くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 8.4 ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「知らない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【④こども総合支援センター「ほっぷ」】



⑤教育センター

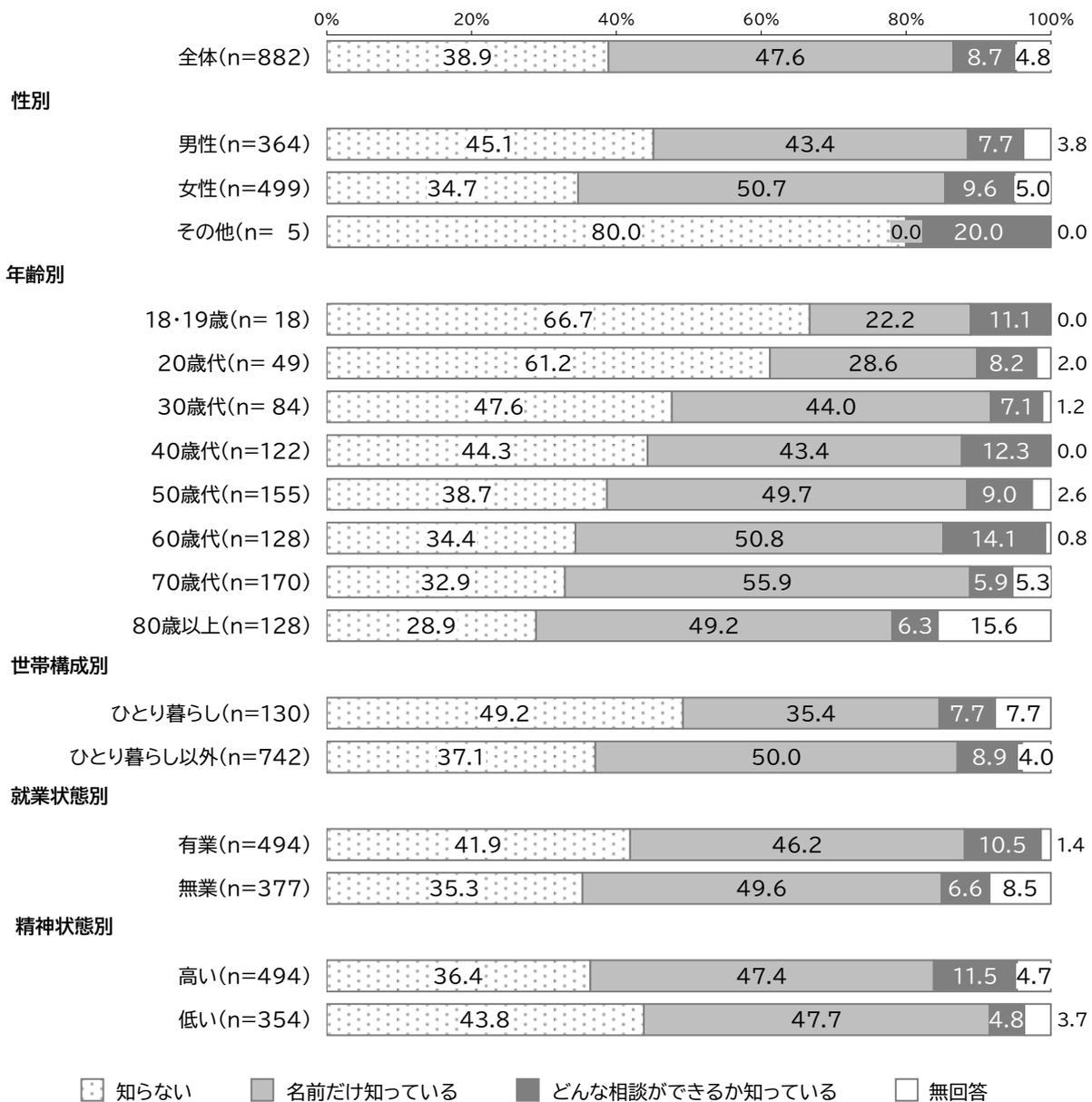
教育センターの認知度について、「名前だけ知っている」の割合が 47.6%で最も高く、次いで「知らない」の割合が 38.9%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 8.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【⑤教育センター】



⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)

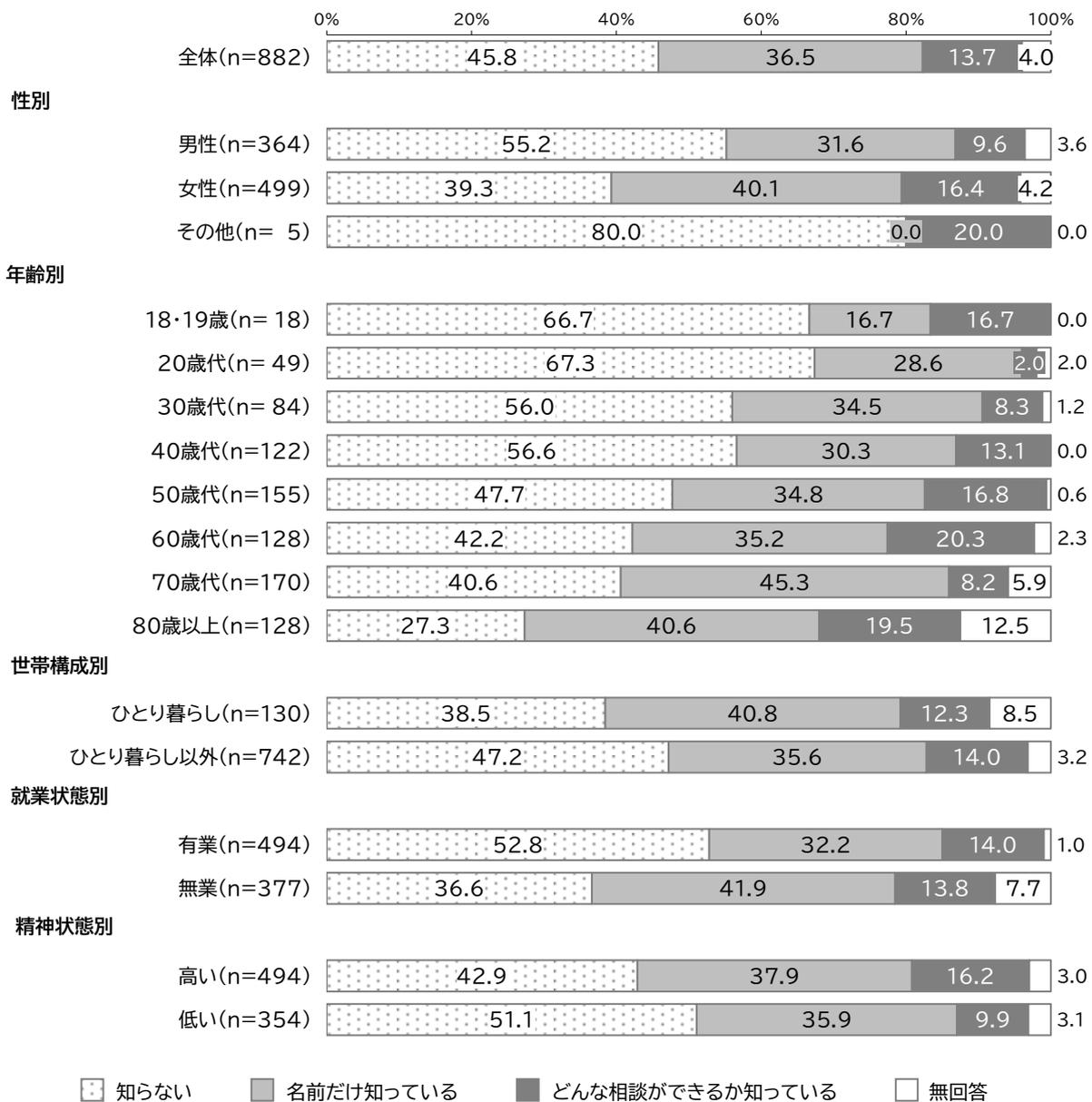
高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)の認知度について、「知らない」の割合が 45.8%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が 36.5%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 13.7%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約 15 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 15 ポイント以上高くなっています。

【⑥高齢者あんしんセンター(地域包括支援センター)】



⑦障がい者相談支援事業所

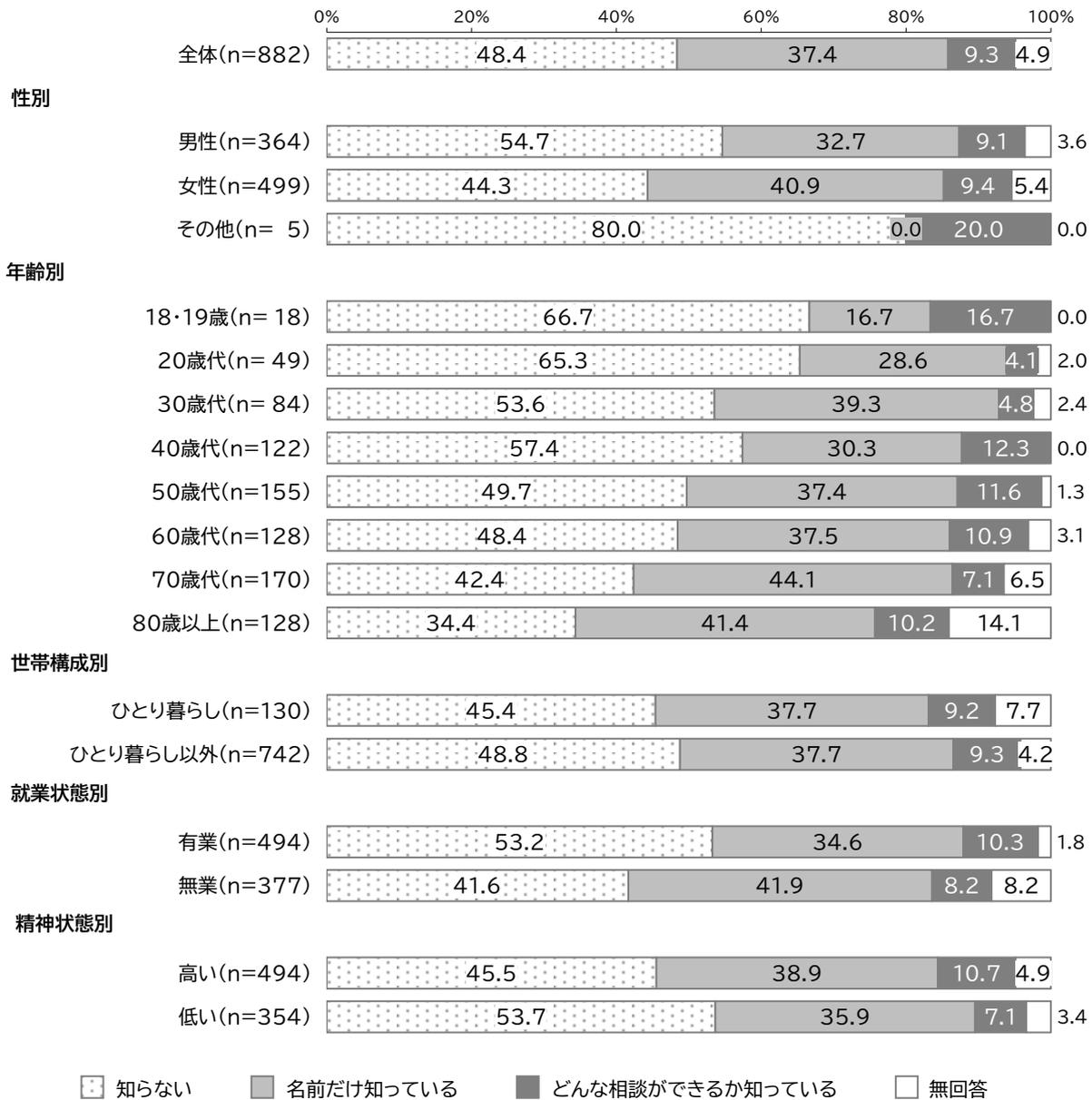
障がい者相談支援事業所の認知度について、「知らない」の割合が 48.4%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が 37.4%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 9.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも約 10 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代以下で6割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 10 ポイント以上高くなっています。

【⑦障がい者相談支援事業所】



⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口

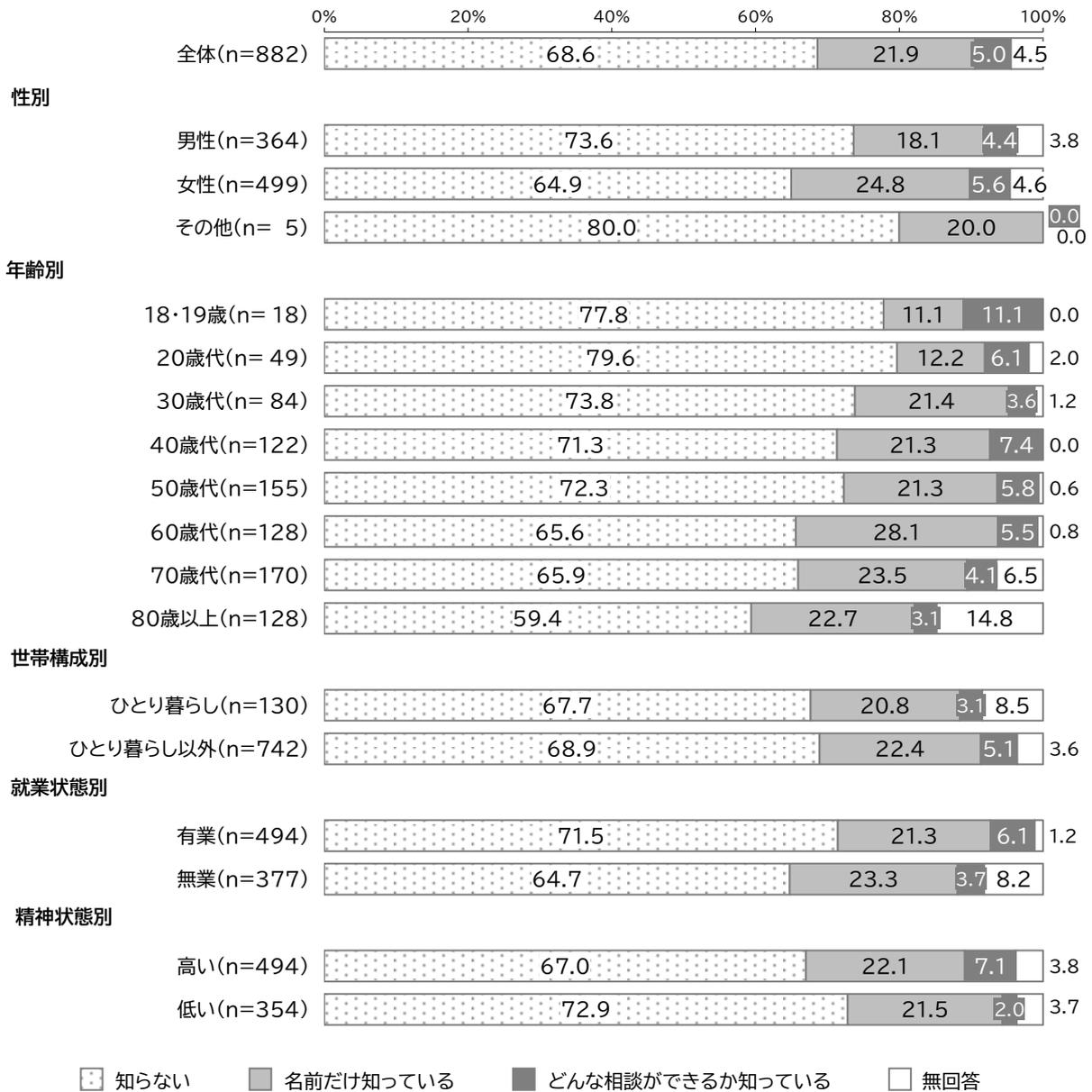
八尾市ひきこもり等若者相談窓口の認知度について、「知らない」の割合が 68.6%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が 21.9%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 5.0%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.7 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、20 歳代で約8割となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも 6.8 ポイント高くなっています。

【⑧八尾市ひきこもり等若者相談窓口】



⑨ワークサポートセンター

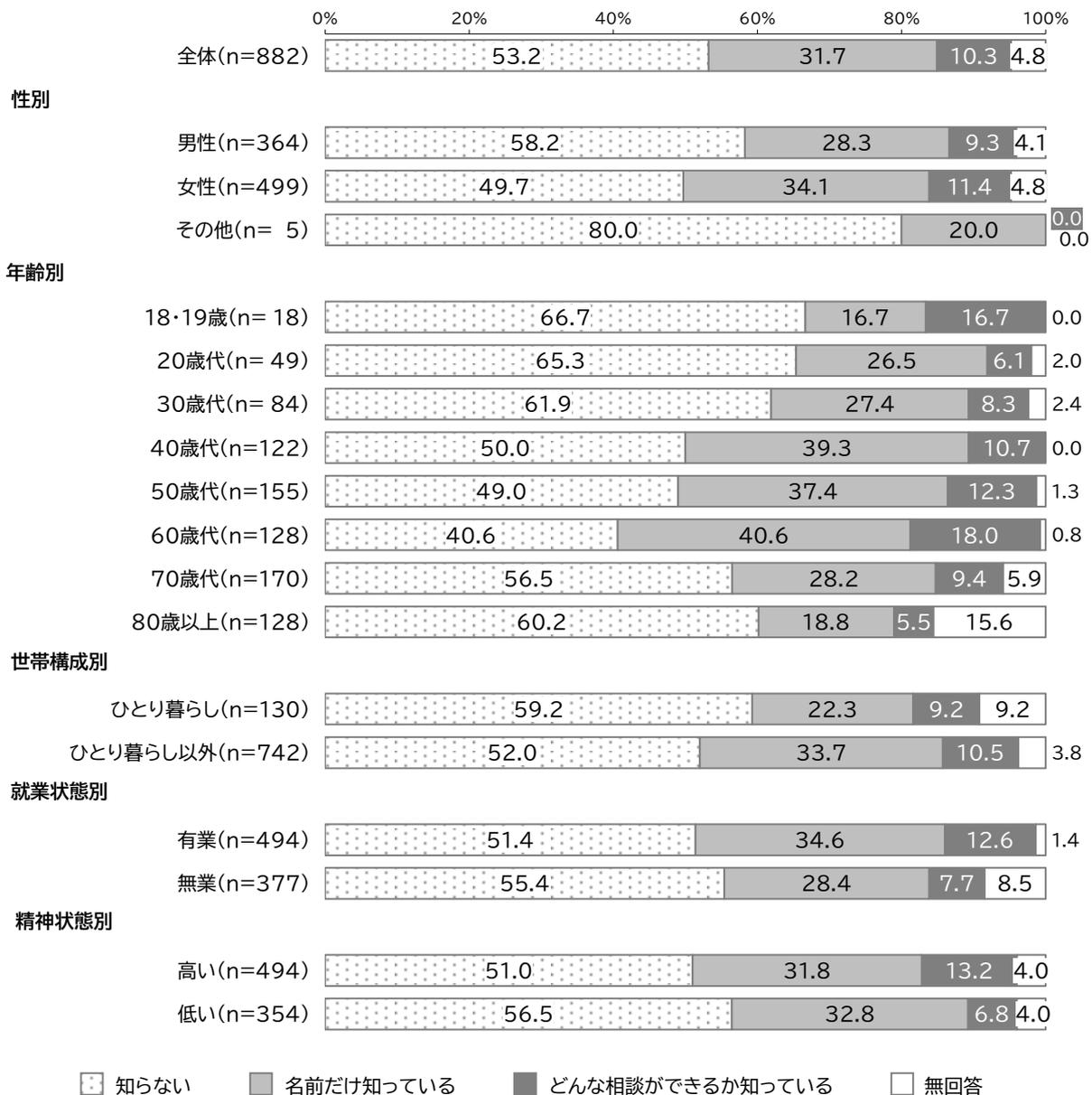
ワークサポートセンターの認知度について、「知らない」の割合が 53.2%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が 31.7%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が 10.3%となっています。

性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも 8.5 ポイント高くなっています。

年齢別にみると、60 歳代で「知らない」の割合が4割台と、他の年代に比べて低くなっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも 7.2 ポイント高くなっています。

【⑨ワークサポートセンター】



⑩男女共同参画センター「すみれ」

男女共同参画センター「すみれ」の認知度について、「知らない」の割合が70.1%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が21.3%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が4.2%となっています。

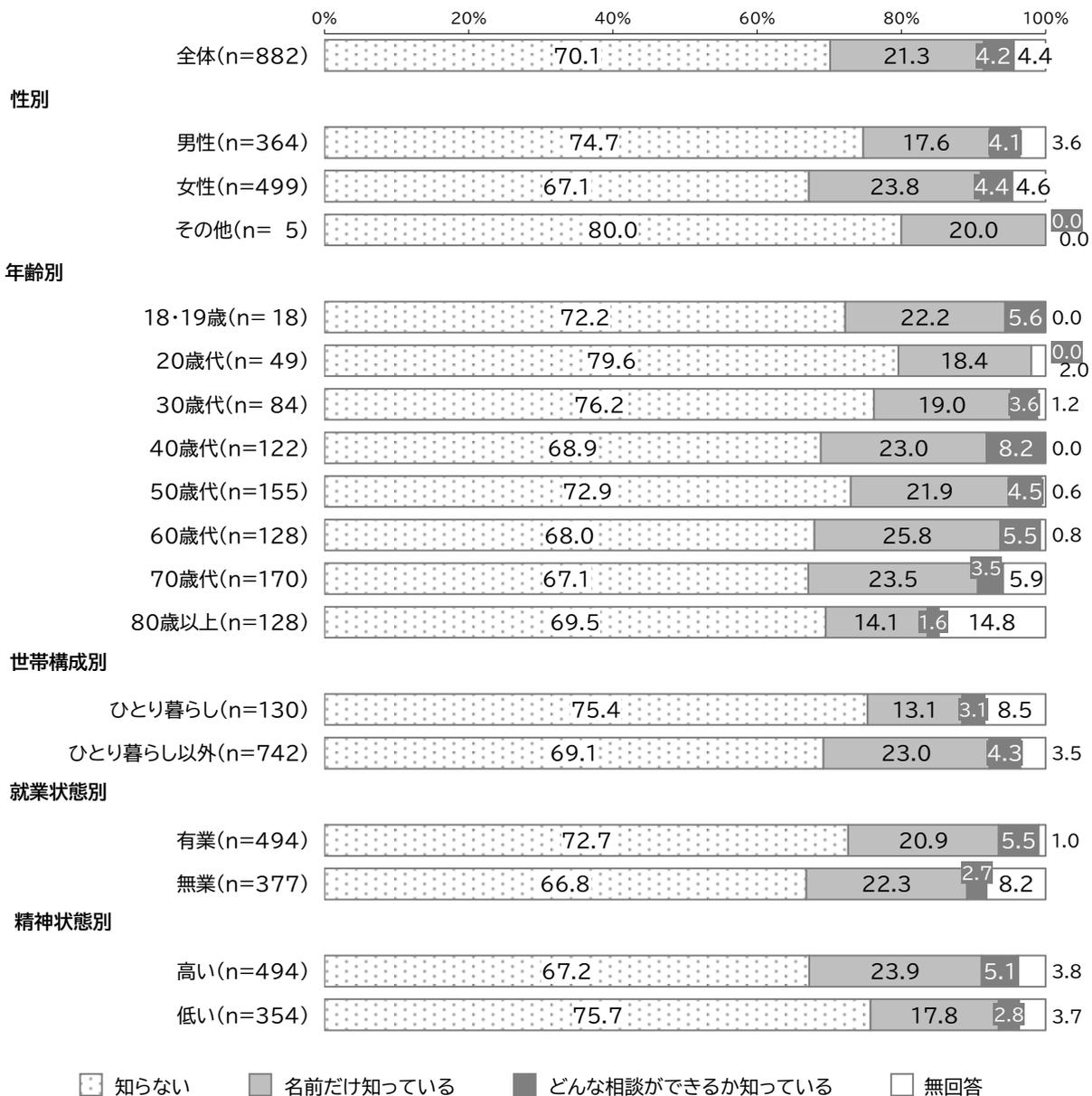
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも7.6ポイント高くなっています。

年齢別にみると、いずれの年齢層も「知らない」の割合が6～7割台となっています。

世帯構成別にみると、ひとり暮らし世帯の「知らない」の割合が、ひとり暮らし以外の世帯よりも6.3ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「知らない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも8.5ポイント高くなっています。

【⑩男女共同参画センター「すみれ」】



①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)

無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)の認知度について、「知らない」の割合が48.9%で最も高く、次いで「名前だけ知っている」の割合が33.4%、「どんな相談ができるか知っている」の割合が13.8%となっています。

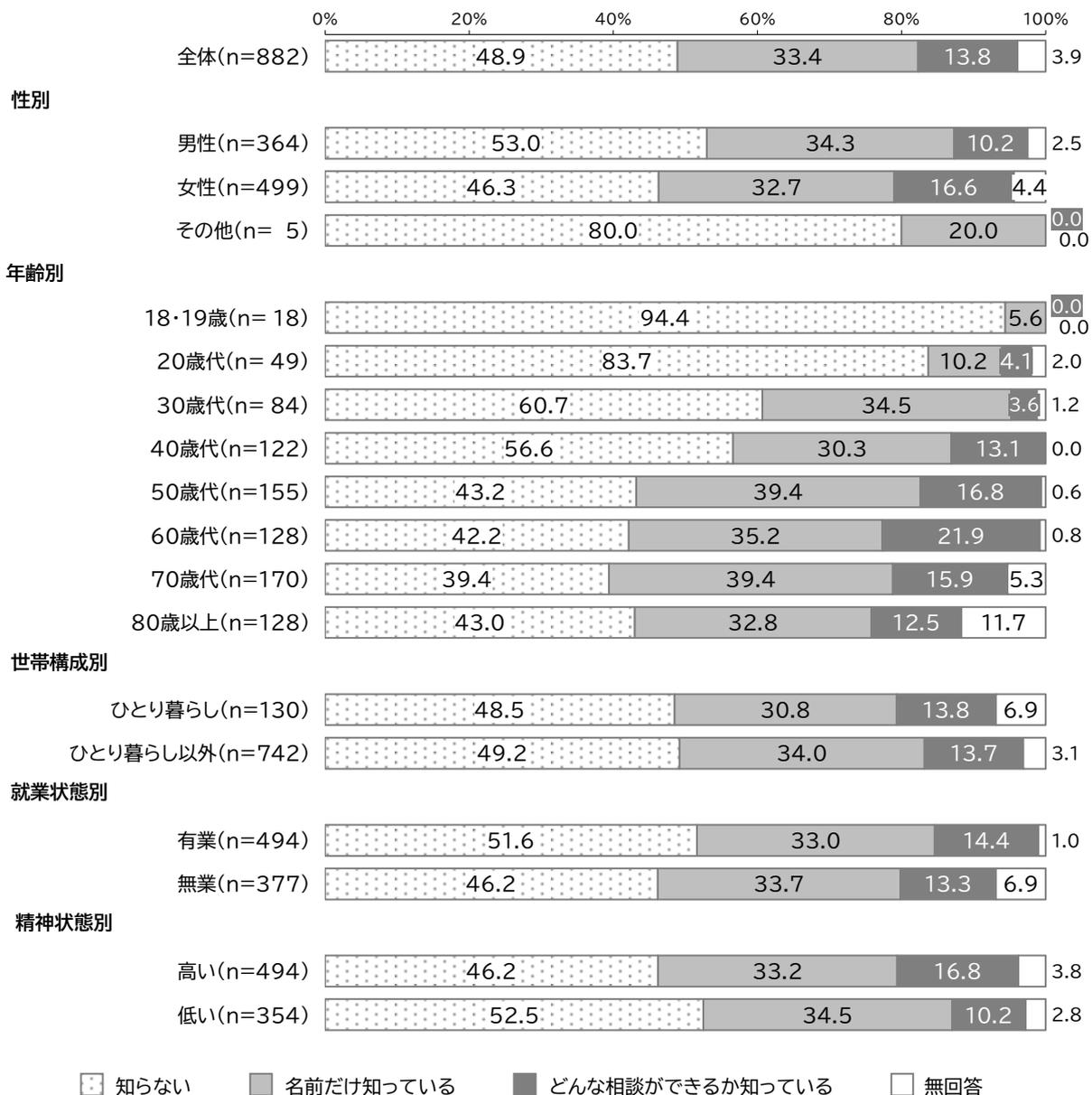
性別にみると、男性の「知らない」の割合が、女性よりも6.7ポイント高くなっています。

年齢別にみると、年代が低くなるほど「知らない」の割合は高くなる傾向にあり、18・19歳で9割台となっています。

就業状態別にみると、有業者の「知らない」の割合が、無業者よりも5.4ポイント高くなっています。

精神状態別にみると、「スコアが低いグループ」の「知らない」の割合が、「スコアが高いグループ」よりも6.3ポイント高くなっています。

【①無料法律相談(八尾市役所、コミュニティセンター巡回型)】



5 自殺対策・予防等について

(1)身近な方の自殺を経験した方の有無

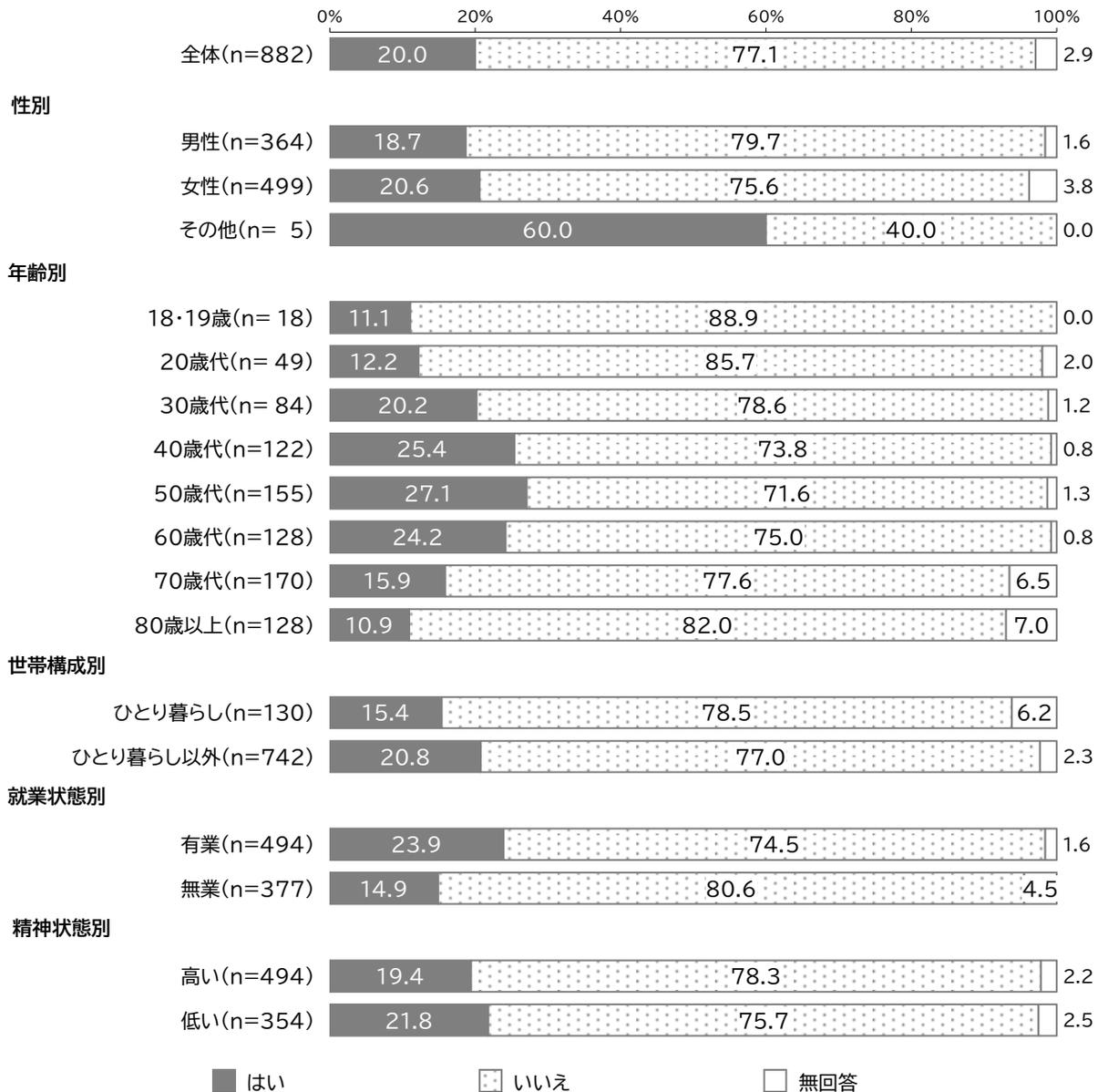
問17 あなたまたはあなたの身近な方で、身近な方の自殺（自死）を経験した方をご存知ですか。（〇は1つ）

身近な方の自殺を経験した方を知っているかどうかでは、「はい」の割合が 20.0%、「いいえ」の割合が 77.1%となっています。

年齢別にみると、「はい」の割合は 30 歳代～60 歳代が他の年代に比べて高く、50 歳代で 27.1%となっています。

就業状態別にみると、有業者の「はい」の割合が、無業者よりも 9.0 ポイント高くなっています。

【身近な方の自殺を経験した方の有無】



(2)身近な方の自殺を経験した方に起きた影響

問17で「1. はい」と回答された方にお聞きします。複数の事例がある場合は、直近の一例についてお答えください。

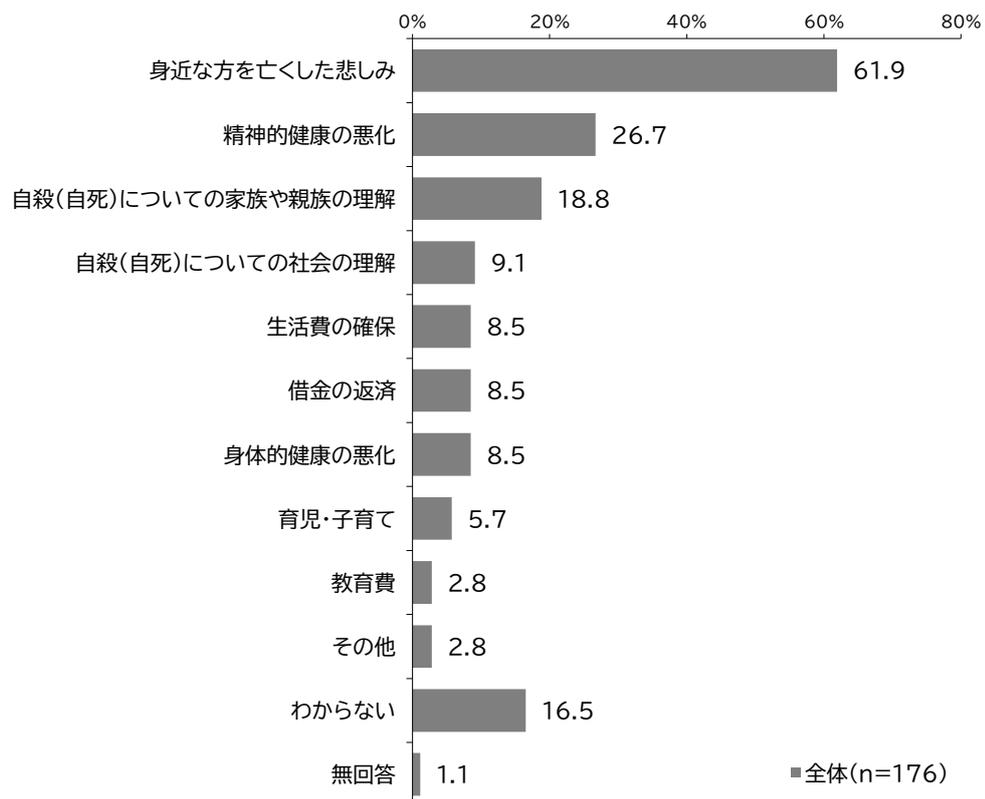
問17-1 自殺（自死）を身近に経験された方は、自殺（自死）の起こった後、どんなことで困っていましたか。該当するものに○をつけてください。（○はいくつでも）

身近な方の自殺を経験した方に起きた影響をみると、「身近な方を亡くした悲しみ」の割合が 61.9%で最も高く、次いで「精神的健康の悪化」の割合が 26.7%、「自殺（自死）についての家族や親族の理解」の割合が 18.8%となっています。

年齢別にみると、「身近な方を亡くした悲しみ」の割合は 50 歳代～60 歳代が他の年代に比べて高く、どちらの年代も7割台となっています。

精神状態別にみると、「スコアが高いグループ」の「身近な方を亡くした悲しみ」の割合が、「スコアが低いグループ」よりも 7.5 ポイント高くなっています。

【身近な方の自殺を経験した方に起きた影響】



【身近な方の自殺を経験した方に起きた影響】

		回答者数(n)	身近な方を亡くした悲しみ	精神的健康の悪化	解の家族や親族の理	自殺(自死)についての社会的理解	生活費の確保	借金の返済	身体的健康の悪化	育児・子育て
全体		176	61.9	26.7	18.8	9.1	8.5	8.5	8.5	5.7
性別	男性	68	60.3	23.5	13.2	10.3	8.8	10.3	5.9	2.9
	女性	103	65.0	29.1	22.3	7.8	7.8	7.8	9.7	7.8
	その他	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3	-
年齢別	18・19 歳	2	-	-	-	-	-	-	-	-
	20 歳代	6	83.3	-	-	-	-	-	-	-
	30 歳代	17	52.9	29.4	11.8	5.9	11.8	5.9	17.6	5.9
	40 歳代	31	67.7	38.7	16.1	9.7	9.7	9.7	6.5	3.2
	50 歳代	42	76.2	26.2	23.8	11.9	9.5	11.9	4.8	4.8
	60 歳代	31	74.2	35.5	22.6	16.1	3.2	9.7	6.5	9.7
	70 歳代	27	37.0	11.1	18.5	3.7	11.1	11.1	7.4	7.4
	80 歳以上	14	50.0	28.6	14.3	-	7.1	-	21.4	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	55.0	30.0	20.0	5.0	5.0	10.0	10.0	-
	ひとり暮らし以外	154	63.6	26.0	18.2	9.1	8.4	8.4	7.8	6.5
就業状態別	有業	118	64.4	28.0	19.5	10.2	10.2	11.0	7.6	5.9
	無業	56	57.1	23.2	16.1	5.4	3.6	3.6	8.9	5.4
精神状態別	高い	96	64.6	25.0	16.7	5.2	8.3	9.4	6.3	6.3
	低い	77	57.1	29.9	19.5	10.4	7.8	7.8	11.7	3.9

		回答者数(n)	教育費	その他	わからない	無回答
全体		176	2.8	2.8	16.5	1.1
性別	男性	68	1.5	2.9	17.6	-
	女性	103	2.9	1.9	13.6	1.9
	その他	3	33.3	33.3	33.3	-
年齢別	18・19 歳	2	-	50.0	50.0	-
	20 歳代	6	-	-	16.7	-
	30 歳代	17	5.9	5.9	29.4	-
	40 歳代	31	3.2	-	16.1	3.2
	50 歳代	42	2.4	-	11.9	-
	60 歳代	31	3.2	-	9.7	-
	70 歳代	27	-	7.4	14.8	-
	80 歳以上	14	-	-	14.3	7.1
世帯構成別	ひとり暮らし	20	-	-	20.0	-
	ひとり暮らし以外	154	2.6	2.6	15.6	1.3
就業状態別	有業	118	3.4	1.7	16.9	0.8
	無業	56	-	3.6	16.1	1.8
精神状態別	高い	96	2.1	3.1	14.6	1.0
	低い	77	2.6	2.6	19.5	1.3

注)濃い網掛けは全体より10ポイント以上高い項目、薄い網掛けは5ポイント以上高い項目(回答者数が15件未満の場合は網掛けなし)

